

A区第70号住居跡（第195図・第196図）

F-5・6、G-5・6区に所在する。第52号住居跡を切っており、また第57号住居跡、第44号土壇とも重複関係にあるが、新旧関係は明かでない。

大小のピットが直径7.4mの範囲に分布するもので、壁・壁溝等は検出されなかった。従って本住居跡の規模・平面形は不明である。

炉跡は住居跡推定ラインのほぼ中央に位置する。不正円形の地床炉で、上面にトレンチャーによる攪乱を被っている。直径58cm、遺構検出面からの深さは16cmを測る。

ピットは重複関係にあるものも含めて8本が検出された。住居跡推定ラインに沿って巡っており、壁柱穴を構成するものとみられる。深さ45~74cmを測る。

本住居跡からは縄文時代中期後葉を中心とした土器がごく少量出土している。

出土土器（第196図）

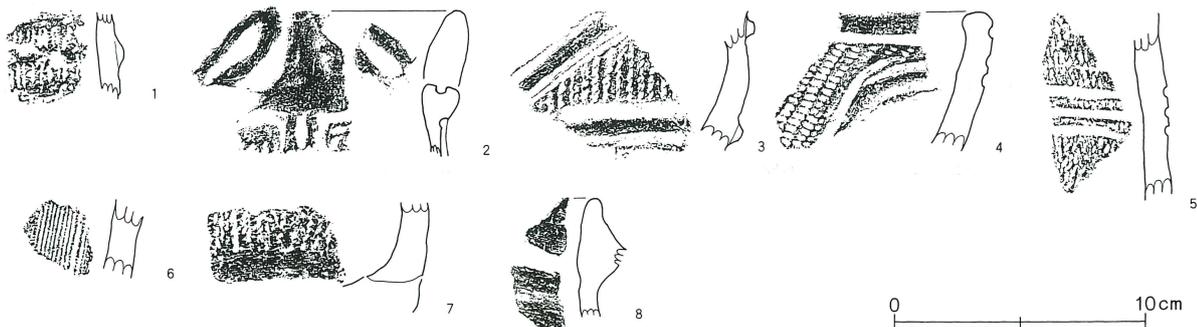
1はキャタピラ文が施文される。2は水平口縁上に山形の突起が付される。口縁下には隆帯による方形の区画が構成される。3はキャリパー類深鉢の口縁部文様帯である。

4は口縁直下に1条の沈線が巡り、胴上半部に逆U字の擦り消しモチーフが描かれる。

5は連弧文系の個体で、胴部中段を横位の三本沈線で区画するものであろう。6は条線のみ破片、7は縦位の撚糸文が施文される底部である。8は口縁直下に横位の隆帯が巡る。

A区第71・99号住居跡（第197図・第198図）

D・E-3区に所在し、北半部分が調査区域外に掛
第196図 A区第70号住居跡出土土器



かっている。第71号が第99号を切っており、第89号住居跡とも重複するが、新旧関係は不明である。

第71号住居跡は直径約5mの円形を呈する。壁高は17cmを測る。炉跡は床面中央北東寄りに位置している。直径43cmの円形の地床炉である。ピットは10本が検出された。

第99号住居跡は一辺約2.5mの隅丸方形を呈する。壁高は残りの良い部分で20cmを測る。炉跡・ピット類は発見されなかった。

遺物は縄文時代中期後葉から末葉の土器が出土している。第71号住居跡の遺物が混じる可能性がある。

出土土器（第198図）

1はキャリパー類深鉢の口縁部である。4・5は連弧文系の深鉢胴部である。6・7は磨消し懸垂文、8は無文の胴部である。9は梶山類の深鉢胴部である。

A区第72号住居跡（第199図）

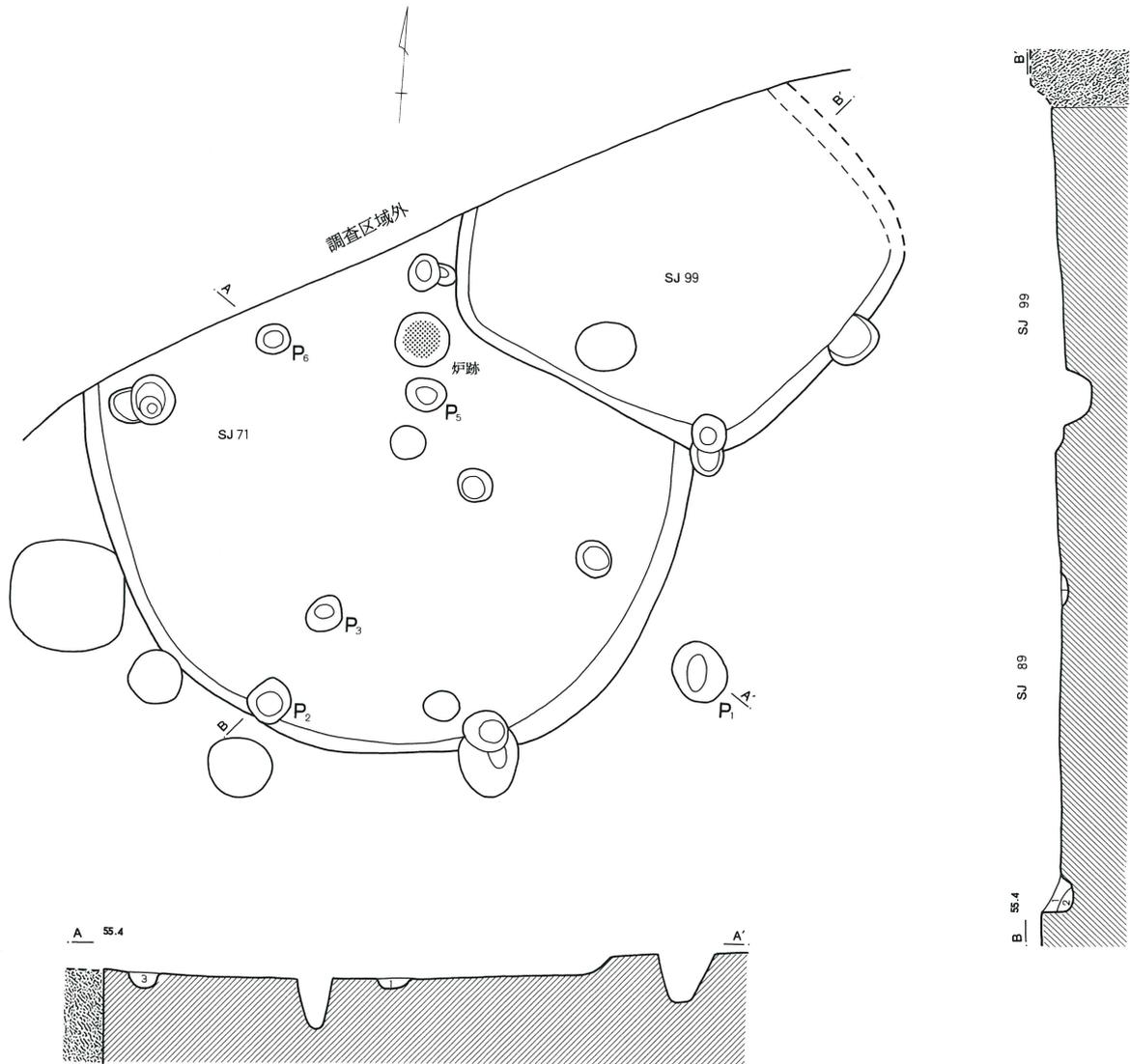
F-3・4、G-3・4区に所在する。炉跡を中心に大小のピットが集中するもので、規模・平面形・柱穴配置は不明である。

炉跡は円形の地床炉である。炉跡の南東2.3mの地点に埋甕を検出した。無文浅鉢胴下半部を正位に埋設したものであったと思われるが、トレンチャーの攪乱で破壊されている。掘り方は直径60cm、深さ22cmの円形平底のピットで、土器は覆土上面において破片の状態で出土した。炉跡と埋甕を結ぶ線を主軸と仮定した場合、本住居跡の主軸方向はN-52°-Wを指す。

出土土器（第199図）

1は埋甕である。無文の浅鉢で、底部から胴部中段にかけて残存する。底径65cmを測る。

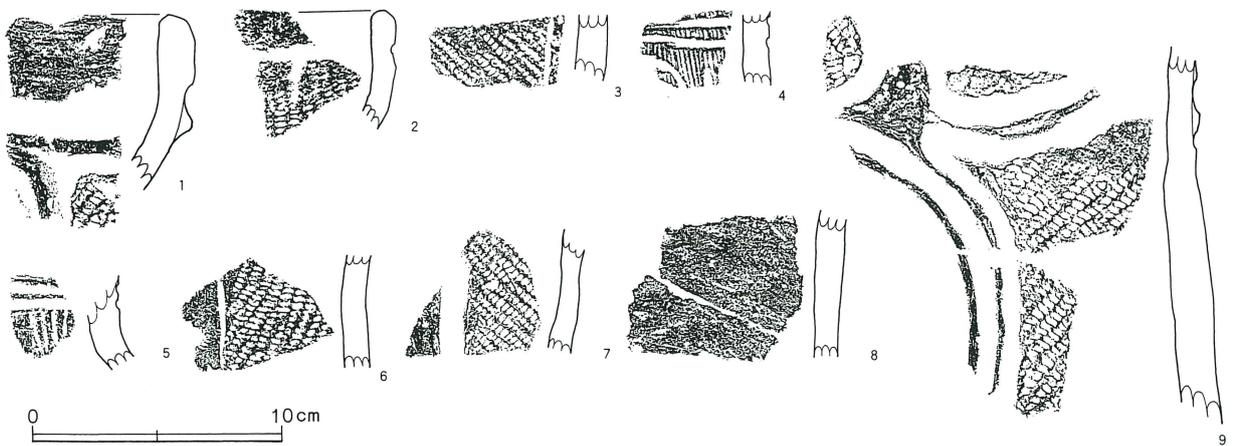
第197図 A区第71・99号住居跡



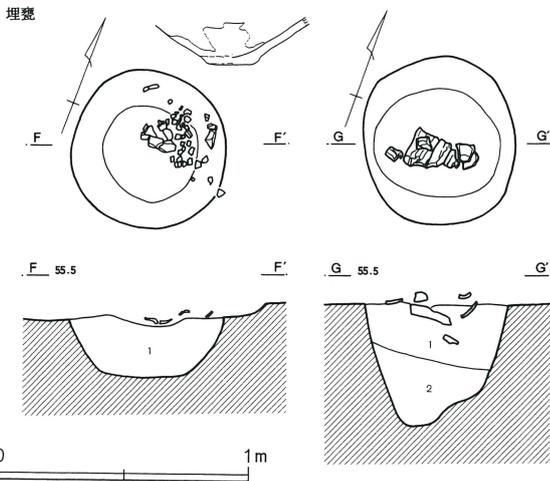
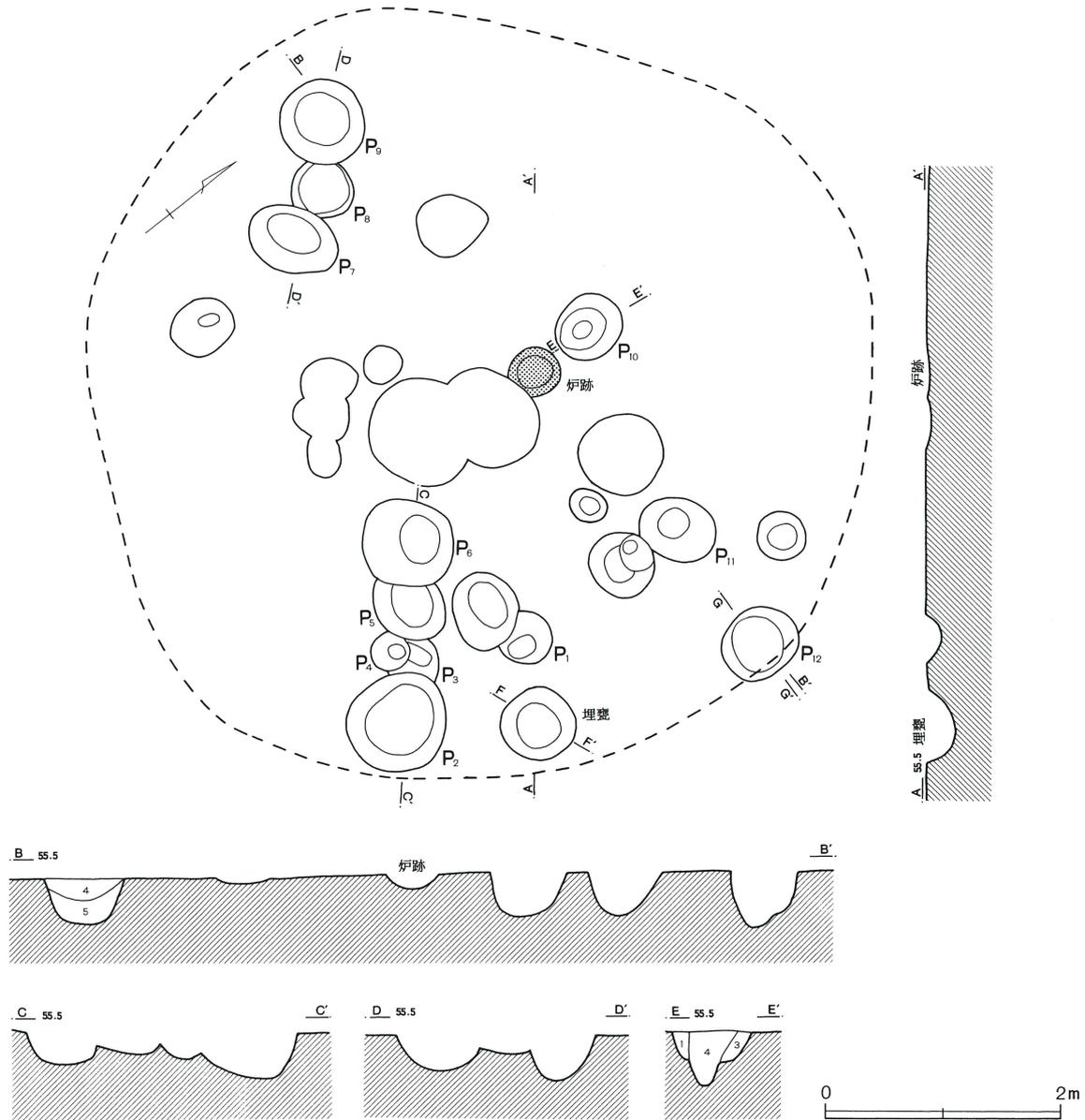
A区SJ 71

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む
- 3 暗褐色土 : ローム粒子少量含む

第198図 A区第99号住居跡出土土器

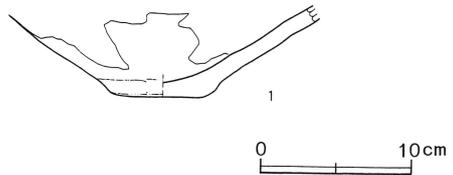


第199図 A区第72号住居跡

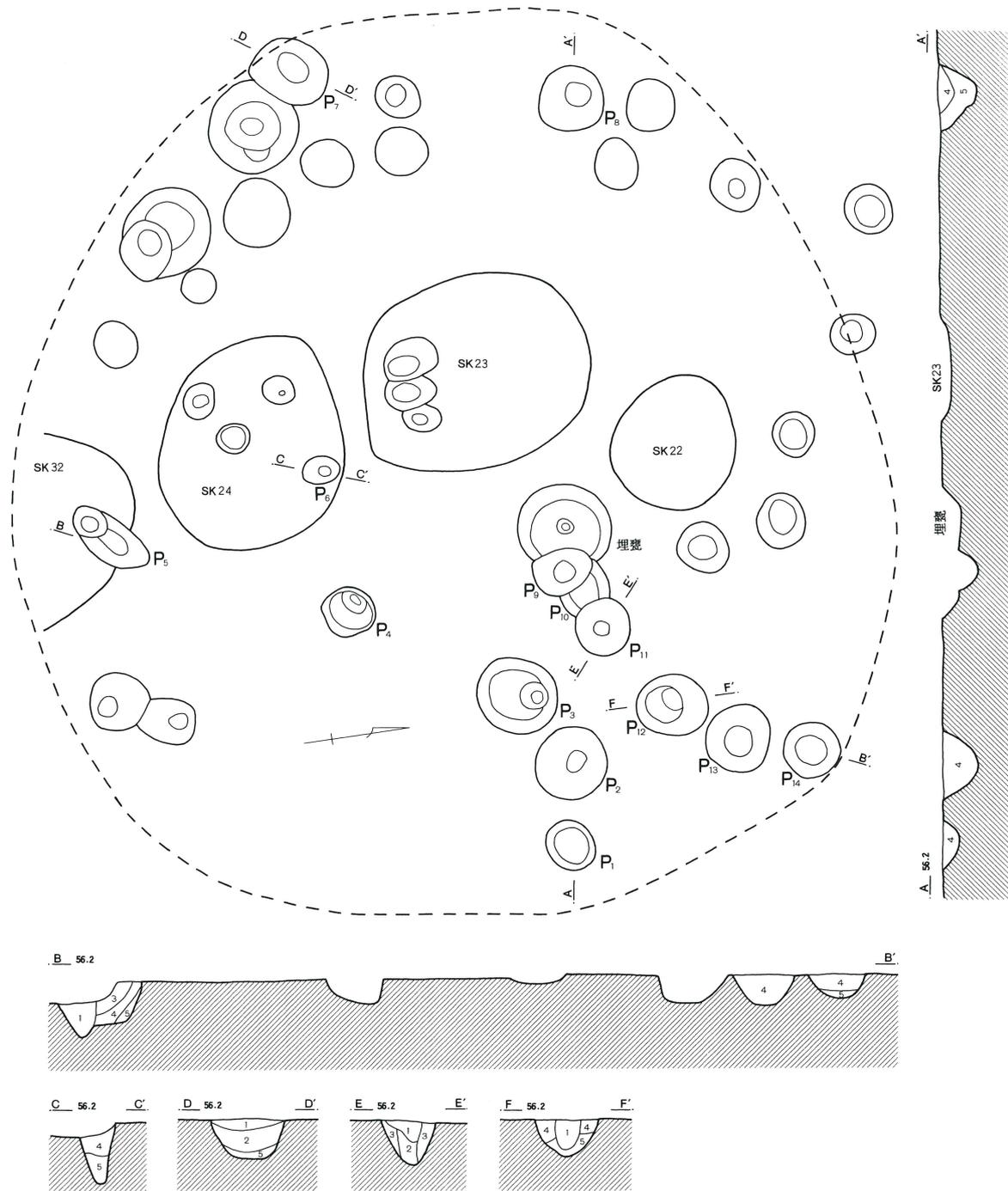


A区S J 7 2

- 1 暗褐色土：ロームブロック少量含む
 - 2 暗褐色土：ローム粒子微量含む 粘性ややあり、締まりよし
 - 3 暗褐色土：ロームブロック・ローム粒子少量含む
 - 4 黒褐色土：ローム粒子微量含む 粘性強
 - 5 黒褐色土：ロームブロック微量含む 粘性強
- A区S J 7 2埋壑
- 1 明褐色土：ローム粒子微量含む 粘性やや欠き、締まりよし



第200図 A区第73号住居跡

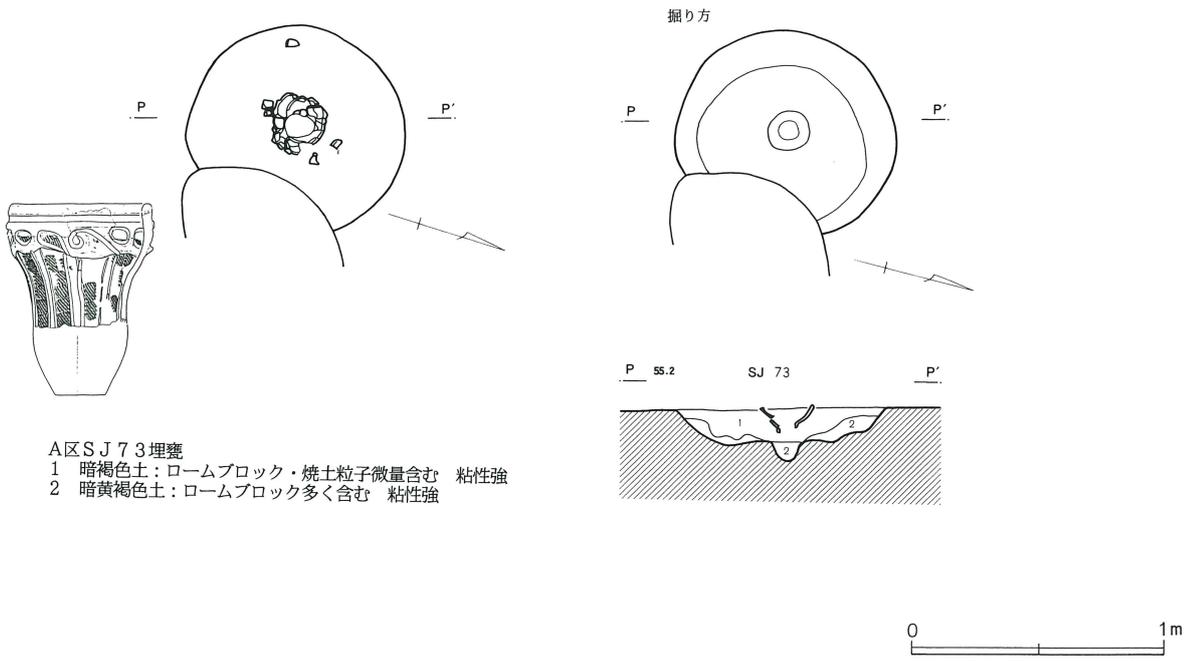


A区SJ73

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む
- 2 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 3 暗黄褐色土 : 再堆積ローム
- 4 暗褐色土 : ロームブロック多く含む
- 5 暗黄褐色土 : 3層に似る

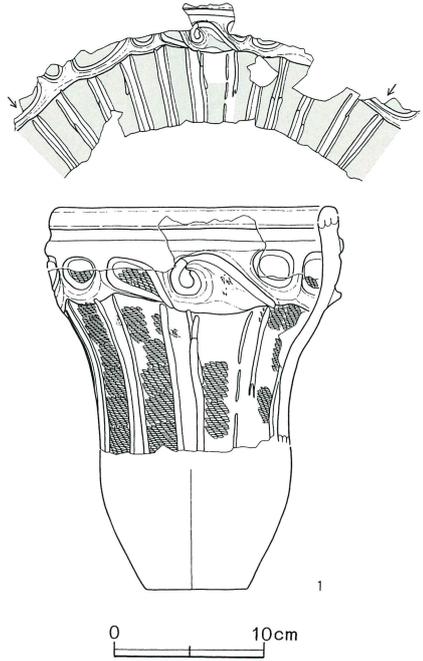
0 2m

第201図 A区第73号住居跡埋甕



A区SJ73埋甕
 1 暗褐色土：ロームブロック・焼土粒子微量含む 粘性強
 2 暗黄褐色土：ロームブロック多く含む 粘性強

第202図 A区第73号住居跡出土土器



A区第73号住居跡（第200図～第202図）

F-8・9、G-8・9区に所在する。大小のピットが径約7.5mの範囲に集中するもので、規模・平面形・主軸方向は不明、複数の遺構が切り合っている可能性もある。炉跡は検出されなかった。

住居跡推定ライン中央からやや東寄りの地点で埋甕を検出した。胴下半部を欠いた深鉢を正位に埋設したものである。掘り方は直径86cm、深さ14cmの平底のピットで、土器下面付近に小ピットを検出した。

前述の埋甕以外に遺物は出土していない。

出土土器（第202図）

1は埋甕である。キャリパー類の深鉢で、口縁部と胴下半部を欠失する。口縁部文様帯は隆帯+沈線の渦巻文が描かれ、胴部には磨消し懸垂文が描かれる。口径推定18cm、現存高15.4cmを測る。

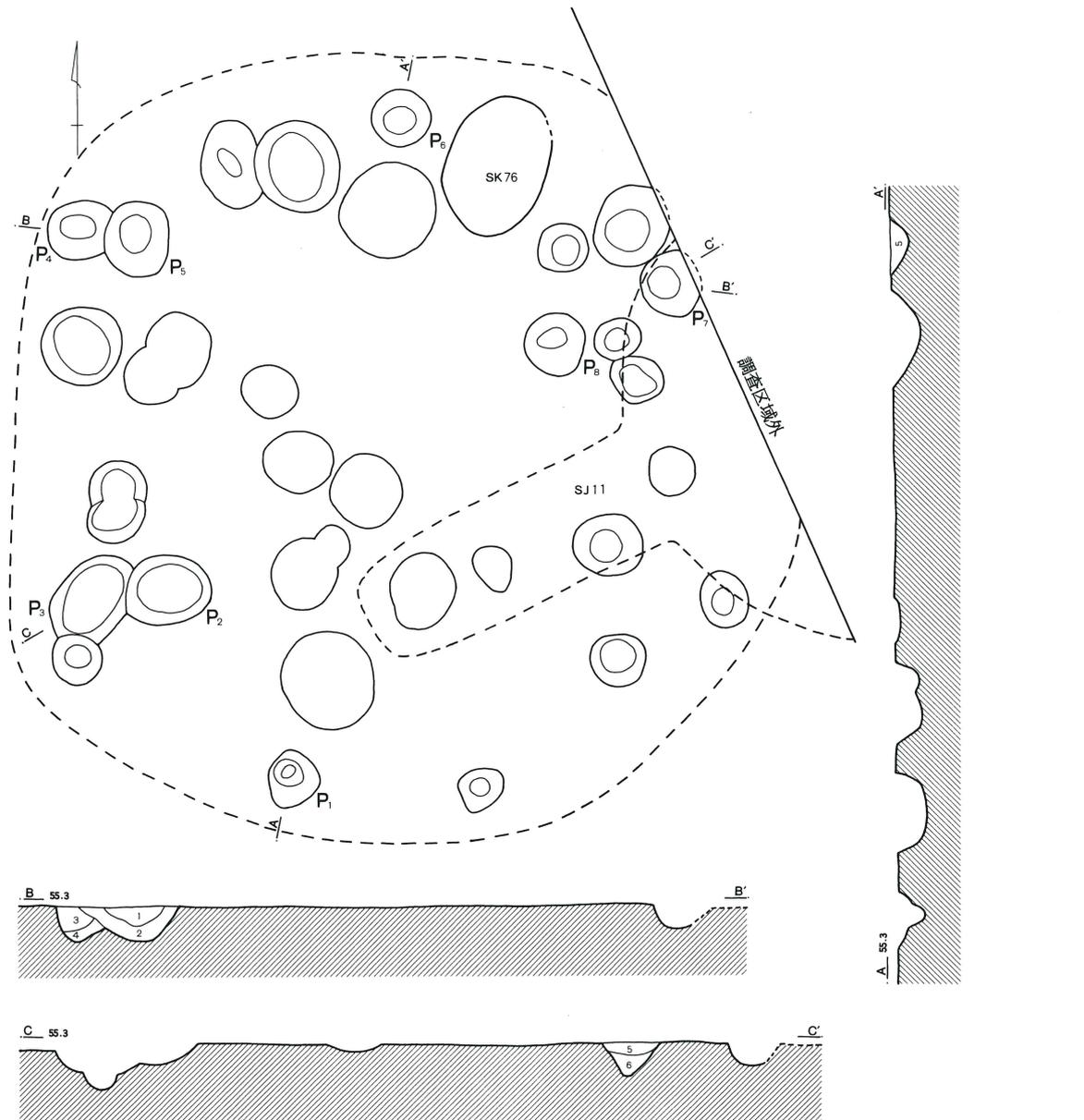
A区第74号住居跡（第203図）

G-6・7、H-6・7区に所在する。北東部分が調査区域外に掛かっている。第11・88号住居跡、第76号土壇等と重複するが、新旧関係は明らかでない。大小のピットが径6.5mの範囲に集中する。壁・壁溝は残存しないため、規模・平面形・主軸方向は不明である。炉跡は検出されなかった。

ピットは住居跡推定ラインに沿って環状に巡り、壁柱穴を構成するものと思われる。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第203図 A区第74号住居跡



A区SJ74

- 1 暗褐色土：ロームブロックやや多く含む 粘性・締まり強
- 2 暗黄褐色土：ロームブロック多く含む 粘性・締まり強
- 3 明褐色土：ローム粒子微量含む
- 4 暗褐色土：ロームブロック多く含む
- 5 暗褐色土：ローム粒子微量含む
- 6 褐色土：ロームブロックやや多く含む 粘性欠く

0 2m

A区第75号住居跡（第204図）

E-5・6、F-5・6区に所在する。第37・39・46・49・95号住居跡、第85・88・93・94・102・103・104号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。

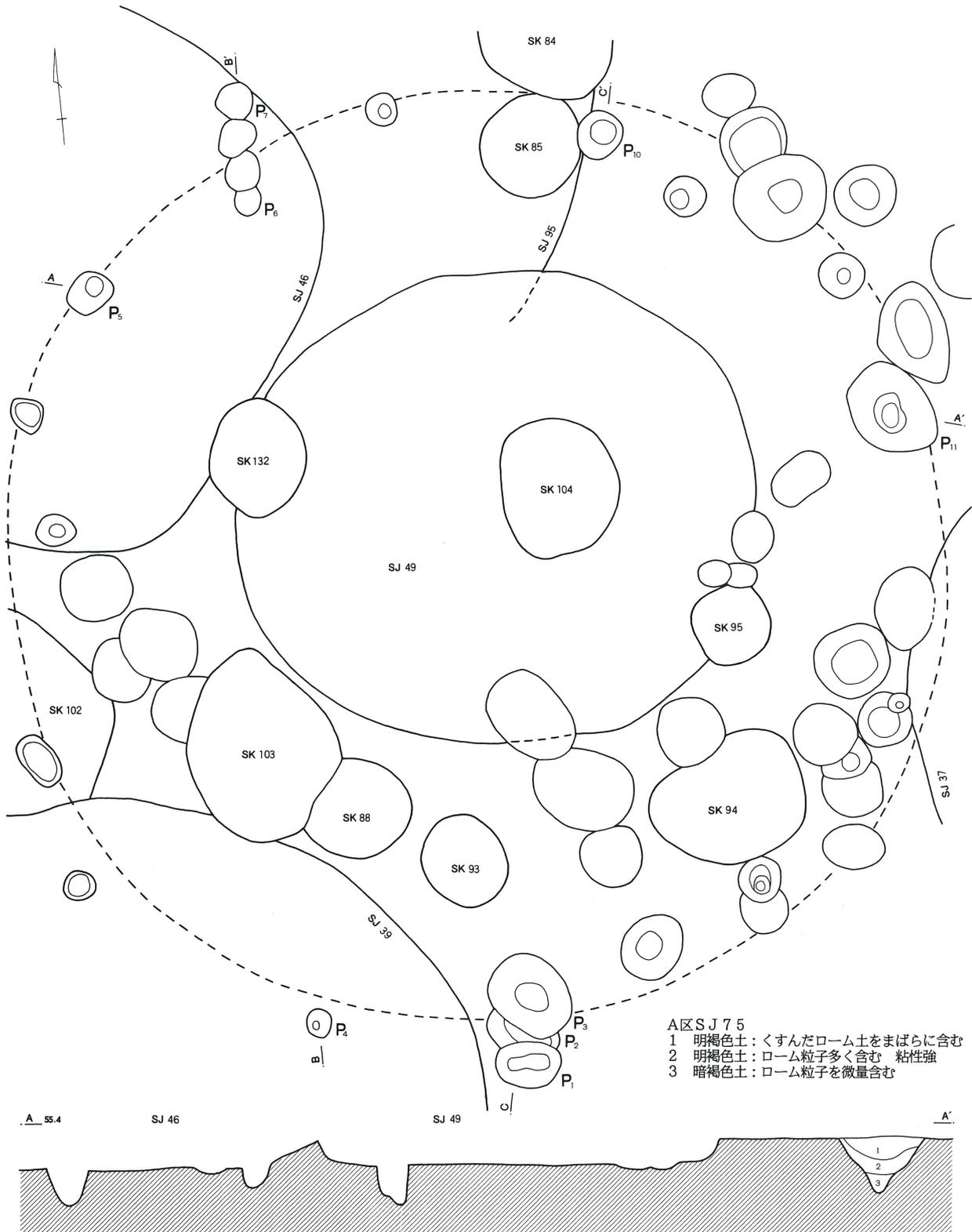
大小のピットが径9.2mの範囲に集中するもので、壁・壁溝は検出されず、規模・平面形・主軸方向は不

明であり、複数の遺構の重複である可能性もある。

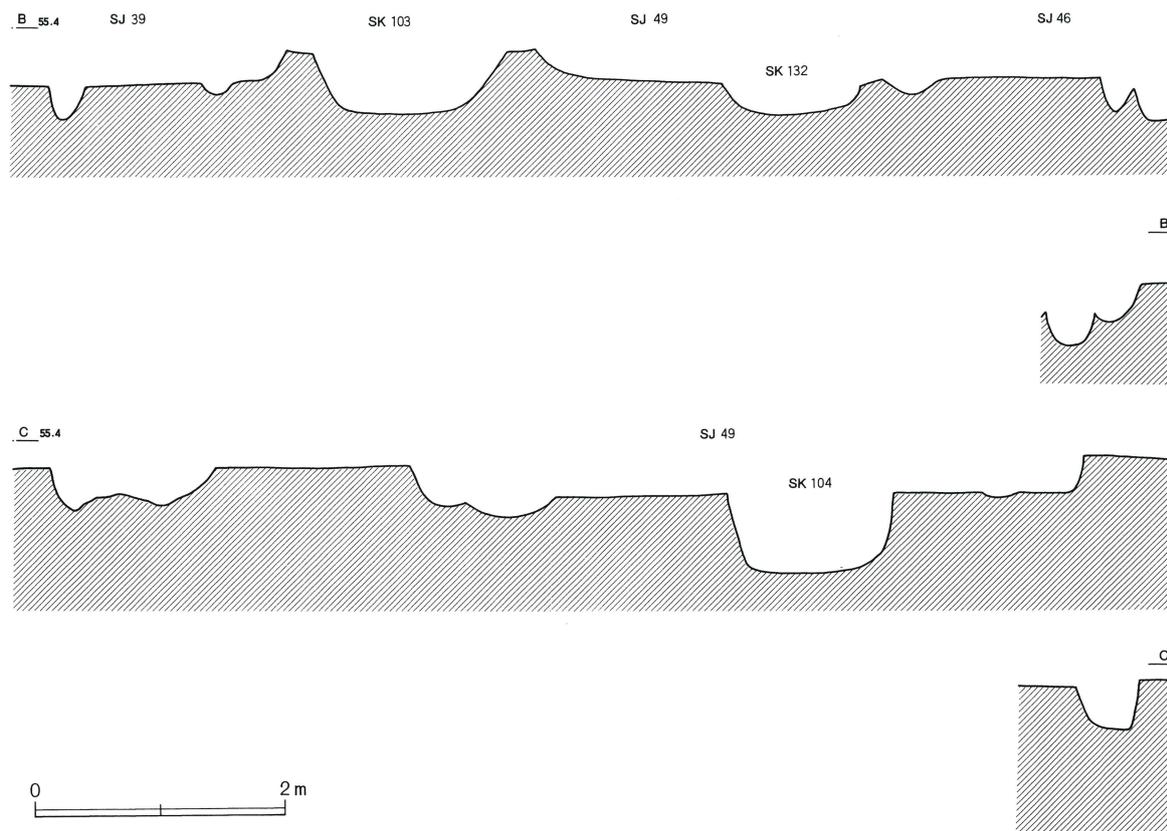
炉跡は検出されず、埋甕などの施設も確認できなかった。ピットは推定ライン上に環状に巡っている。遺構検出面からの深さは40~60cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第204図 A区第75号住居跡(1)



第205図 A区第75号住居跡（2）



A区第76号住居跡（第206図）

F-9区に所在する。第73・78号住居跡、第39・54 A号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。

大小のピットが径6.5mの範囲に集中するもので、壁・壁溝は検出されなかったため、本住居跡の規模・平面形は不明である。

炉跡は検出されず、埋甕などの施設も検出されなかったため、本住居跡の主軸方向は不明である。

ピットは住居跡推定ラインの中に不規則に分布しており、北西部分では密に、南東部分では比較的疎らに検出されている。柱穴配置は不明である。全て1軒の住居跡に伴うものとするのは密度の点からも不自然で、複数の遺構が重複している可能性もある。ピットの深さは26~60cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

A区第77号住居跡（第207図）

F-7・8区に所在する。第15・26・80号住居跡、第28・34・41号土壇と重複するが、新旧関係は明らかでない。

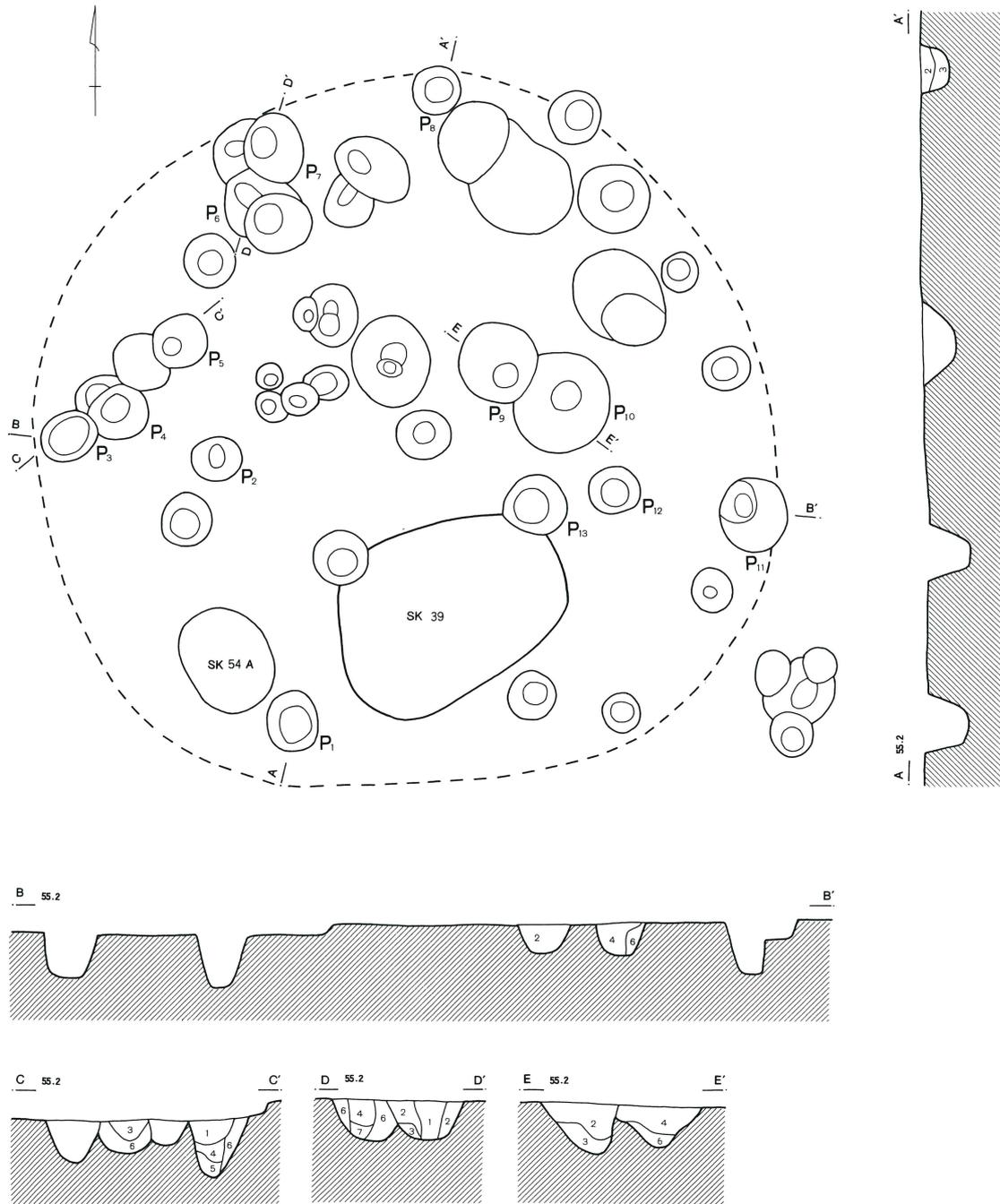
大小のピットが径7.5mの範囲に集中するもので、壁・壁溝は検出されず、本住居跡の規模・平面形は不明である。

炉跡は検出されず、埋甕などの施設も発見されなかったため、本住居跡の主軸方向は不明である。

ピットは住居跡推定ラインの中に不規則に分布しており、柱穴配置は不明である。全て1軒の住居跡に伴うものとするのは密度の点からも不自然で、複数の遺構が重複している可能性もある。ピットの深さは20~58cmを測る。

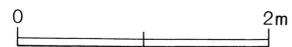
本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第206図 A区第76号住居跡

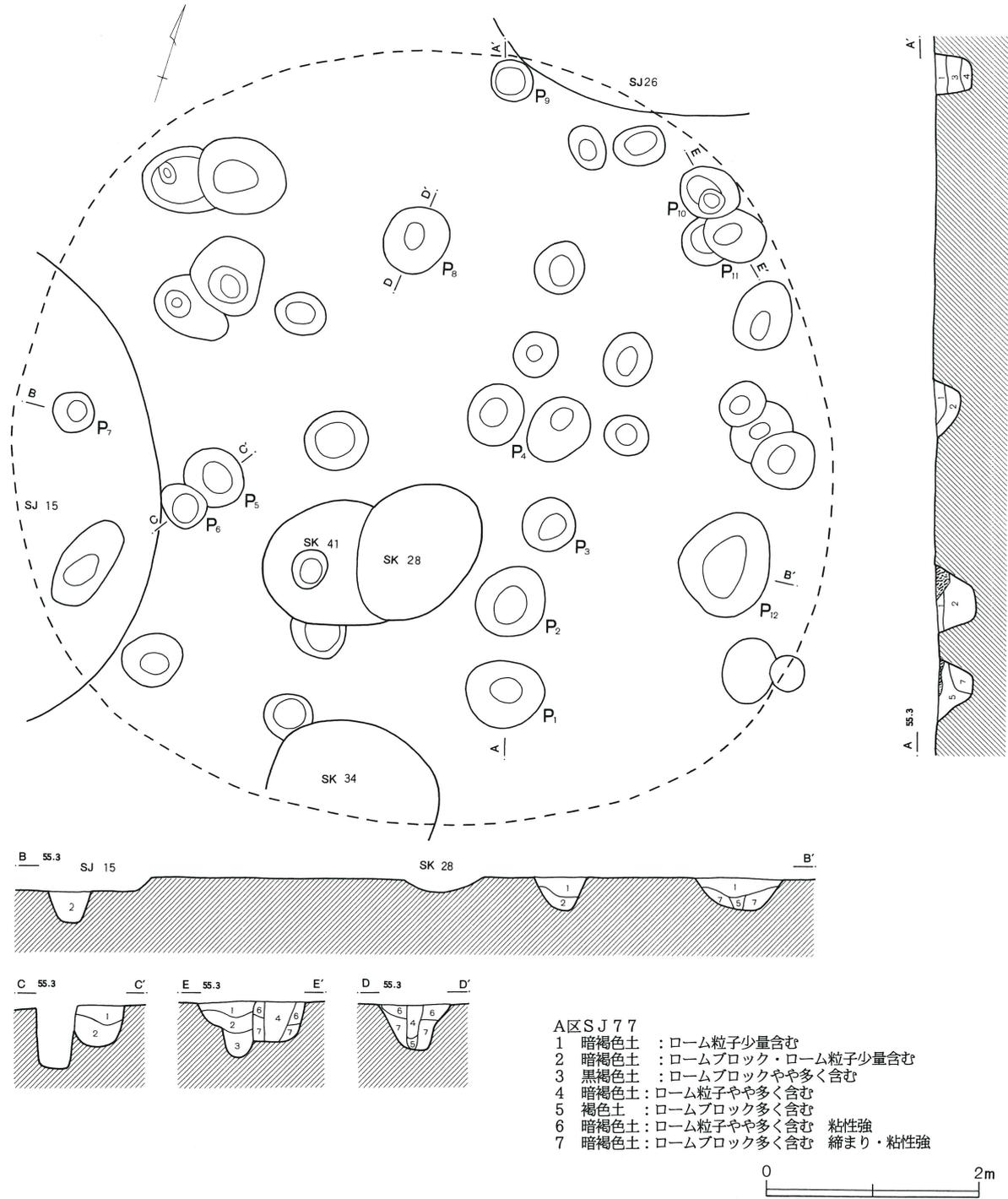


A区S J 76

- 1 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む
- 2 褐色土 : ローム粒子多く含む
- 3 暗黄褐色土 : くすんだローム土
- 4 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む
- 5 暗褐色土 : ローム粒子若干含む
- 6 暗黄褐色土 : くすんだローム土
- 7 褐色土 : ロームブロック多く含む



第207図 A区第77号住居跡



A区第78号住居跡 (第208図)

F-8・9区に所在する。第16・73・76号住居跡、第33・34号土壇等と重複するが、新旧関係は不明である。

大小のピットが径6 mの範囲に集中するが、特に南半部の状況は第76号住居跡との切り合いのためわかり

にくくなっている。壁・壁溝・炉跡等一切検出されおらず、本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。ピットの配置は不規則で、柱穴配置は不明である。ピットの深さは30~40cmである。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第208図 A区第78号住居跡



A区SJ 78
 1 暗褐色土：ローム粒子少量含む 締まり強
 2 暗黄褐色土：くすんだローム土 締まりやや強



A区第79号住居跡（第209図）

E-7・8区に所在する。第15・97号住居跡、第67号土壌等と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが径6.7mの範囲に集中する。壁・壁溝は検出されず、炉跡等の施設も発見できなかった。したがって本住居跡の規模・平面形・主軸方向など一切不明である。

ピットは住居跡推定ラインの縁辺部付近に集中する傾向にあり、壁柱穴を構成するものと思われるが、南縁部分には空白を生じている。ピットの深さは20~45cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

A区第80号住居跡（第210図）

F-7・8、G-7・8区に所在する。第14・26・77号住居跡、第59号土壌等と重複するが、新旧関係は不明である。

大小のピットが径5.5mの範囲に集中するもので、壁・壁溝・炉跡等は一切検出されなかった。したがって本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。

ピットは住居跡推定ライン内部に不規則に分布しており、柱穴配置は不明である。ピットの深さは25~40cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第209図 A区第79号住居跡



- A区SJ79
- 1 黒褐色土 : ローム粒子やや多く含む 締まり強、粘性弱
 - 2 暗褐色土 : ロームブロック若干、ローム粒子少量含む締まり強、粘性弱
 - 3 暗黄褐色土 : ロームを主体とする層 締まりやや強、粘性弱
 - 4 暗褐色土 : ローム粒子多く含む 締まり強、粘性弱
 - 5 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む 締まりやや強、粘性弱



A区第81号住居跡 (第211図)

G・H-7区に所在する。第84号住居跡・第56号住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

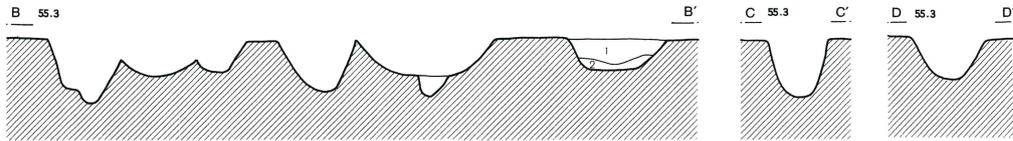
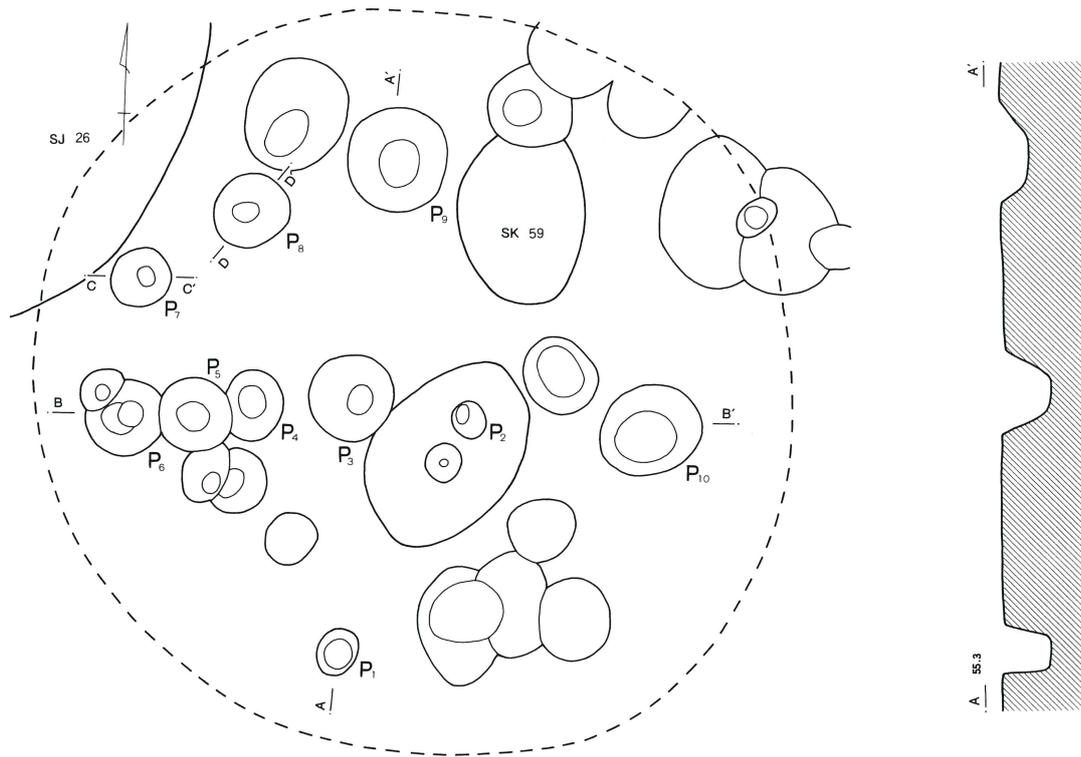
大小のピットが径7mの範囲に集中するもので、壁・壁溝・炉跡等は一切検出されなかった。したがって本住居跡の規模・平面形・主軸方向等は不明であ

る。

ピットは住居跡推定ラインに沿って環状に巡るもので、壁柱穴を構成する可能性がある。ピットの深さは20~30cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第210図 A区第80号住居跡



A区S J 8 0
 1 暗褐色土：ロームブロック少量含む
 2 暗黄褐色土：くすんだローム土



A区第82号住居跡（第212図・第213図）

E・F-7区に所在する。第24・26・67号住居跡、第62～64・81号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。壁・壁溝は検出されなかったため、本住居跡の規模・平面形は不明である。

本住居跡の炉跡は発見されなかった。ピット群の中央やや南東寄りに埋甕が位置している。浅鉢胴下半部を正位に埋設したものと思われるが、トレンチャーの攪乱によって破壊を受けている。

埋甕の掘り方は長径98cm、短径80cmの楕円形のピットである。検出面からの深さは16cmを測る。土器はピット覆土上層から破片の状態出土した。

ピットは住居跡推定ライン内部に不規則に集中し、柱穴配置は不明である。全てが一軒の住居跡に伴うものとするに不自然な密度で、複数の遺構が重複している可能性がある。ピットは深さ20～75cmを測る。

前述の埋甕の他には本住居跡に伴う遺物は出土していない。

出土土器（第213図）

1は埋甕である。浅鉢ないし両耳壺の胴下半部であろう。底部直上で開き、内湾しつつ緩やかな角度で立ち上がる胴張り状の器形である。胴部には櫛歯状工具の条線が縦位に施文され、部分的に波状のモチーフを交える。底径7cm、現存高6.8cmを測る。

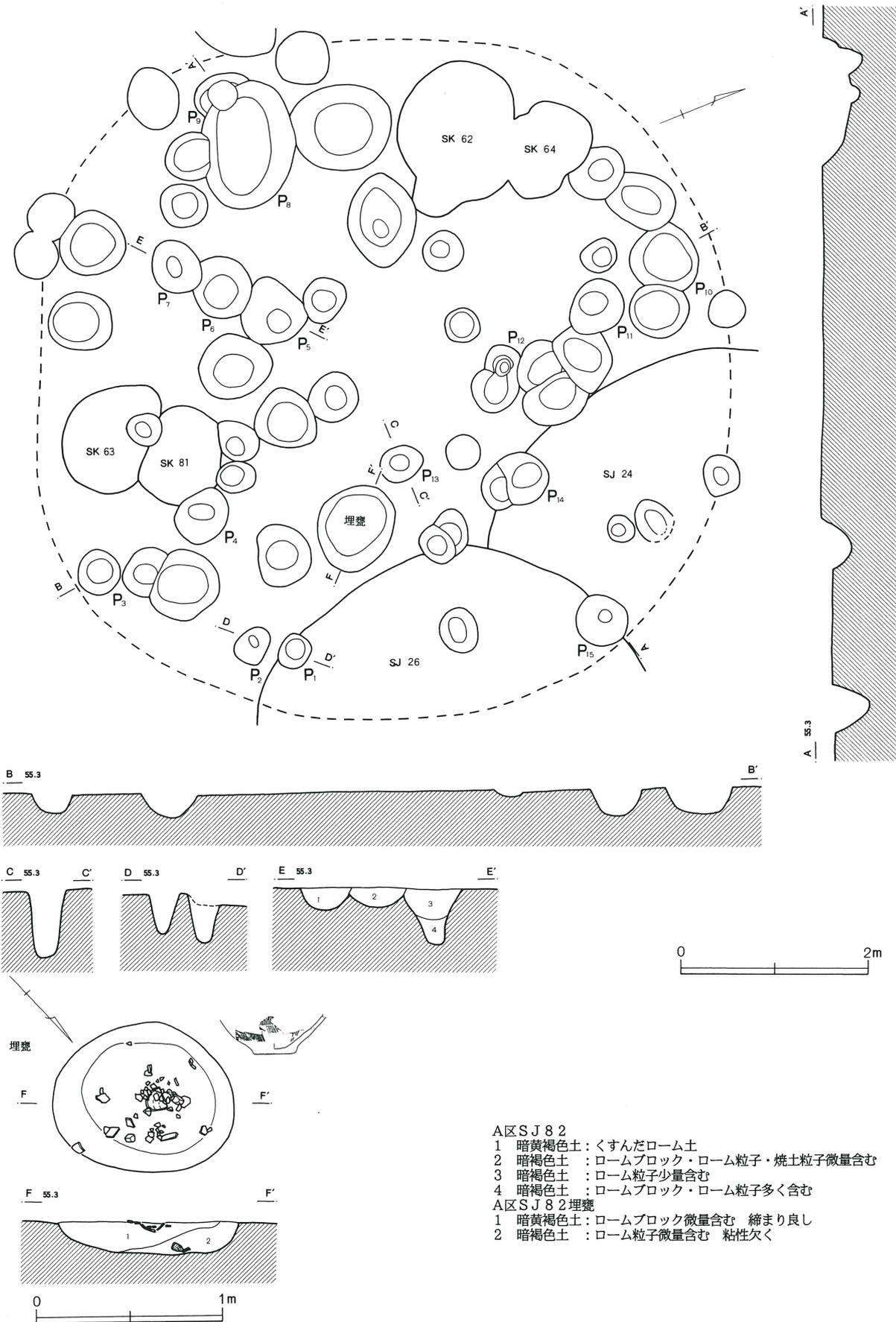
第211図 A区第81号住居跡



- A区S J 8 1
- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む
 - 2 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
 - 3 褐色土 : ローム粒子やや多く含む
 - 4 暗黄褐色土 : くすんだローム土

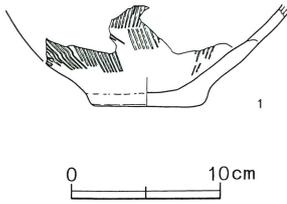


第212図 A区第82号住居跡



- A区S J 8 2
 1 暗黄褐色土：くすんだローム土
 2 暗褐色土：ロームブロック・ローム粒子・焼土粒子微量含む
 3 暗褐色土：ローム粒子少量含む
 4 暗褐色土：ロームブロック・ローム粒子多く含む
 A区S J 8 2埋壙
 1 暗黄褐色土：ロームブロック微量含む 締まり良し
 2 暗褐色土：ローム粒子微量含む 粘性欠く

第213図 A区第82号住居跡出土土器



A区第83号住居跡 (第214図)

G-5区に所在する。第54号住居跡と重複し、これに切られていると考えられる。大小のピットが径約6.5mの範囲に環状に分布している。ピット群の東半

第214図 A区第83号住居跡



A区SJ 83

- 1 明褐色土：ロームブロック多く含む
- 2 暗褐色土：ローム粒子微量含む 均質で締まり強
- 3 褐色土：ロームブロックやや多く含む 締まり欠く

0 2 m

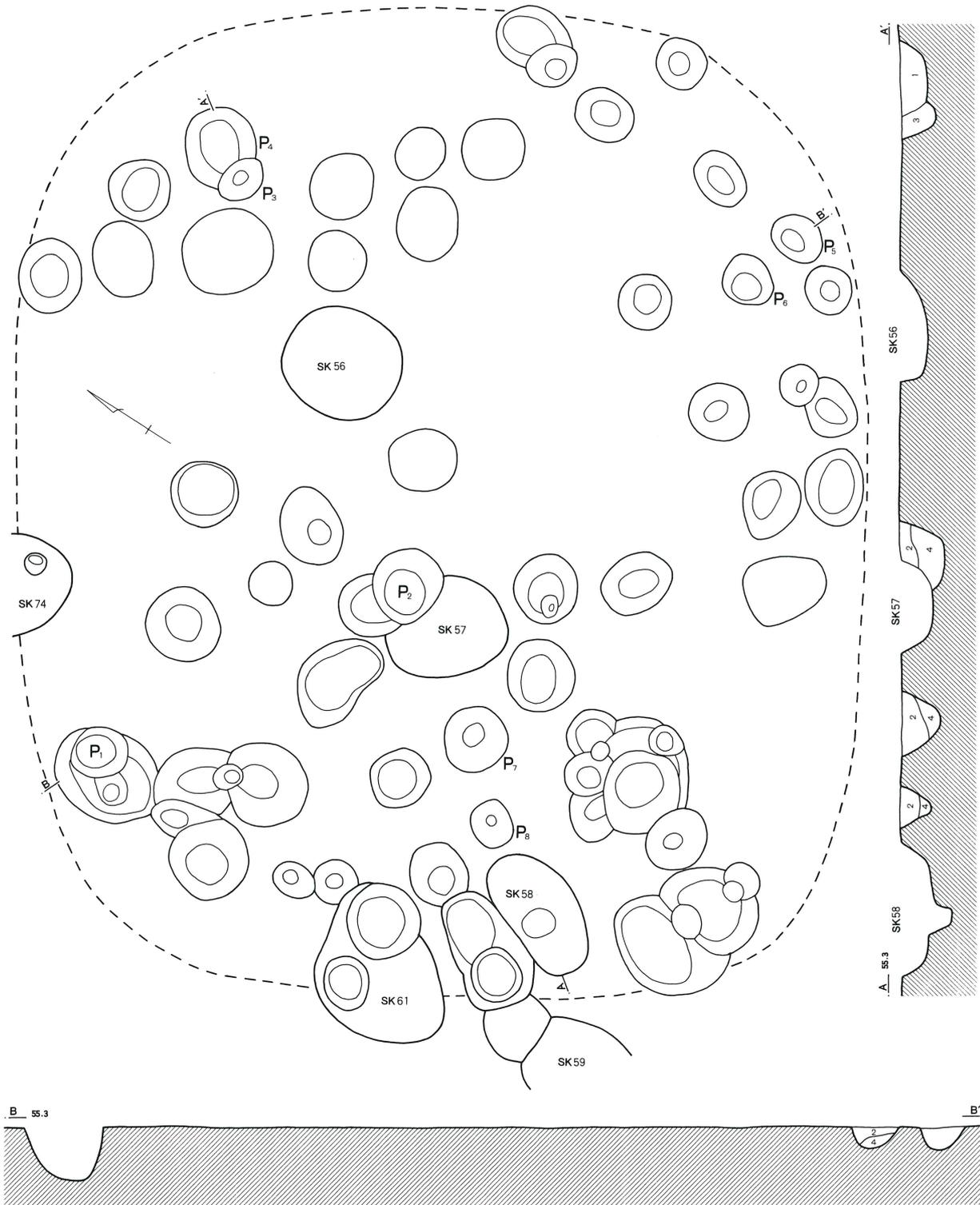
の一部は調査区域外に掛かっているものとみられる。壁・壁溝・炉跡等は検出されなかった。遺物は出土していない。

A区第84号住居跡 (第215図)

G-6・7、H-6・7区に所在する。第81・88号住居跡、第56・57・58・61・74号土壙等に切られるが、新旧関係は不明である。大小のピットが径8mほどの範囲に不規則に集中するものである。壁・壁溝・炉跡等は一切検出されなかった。

遺物は出土していない。

第215図 A区第84号住居跡

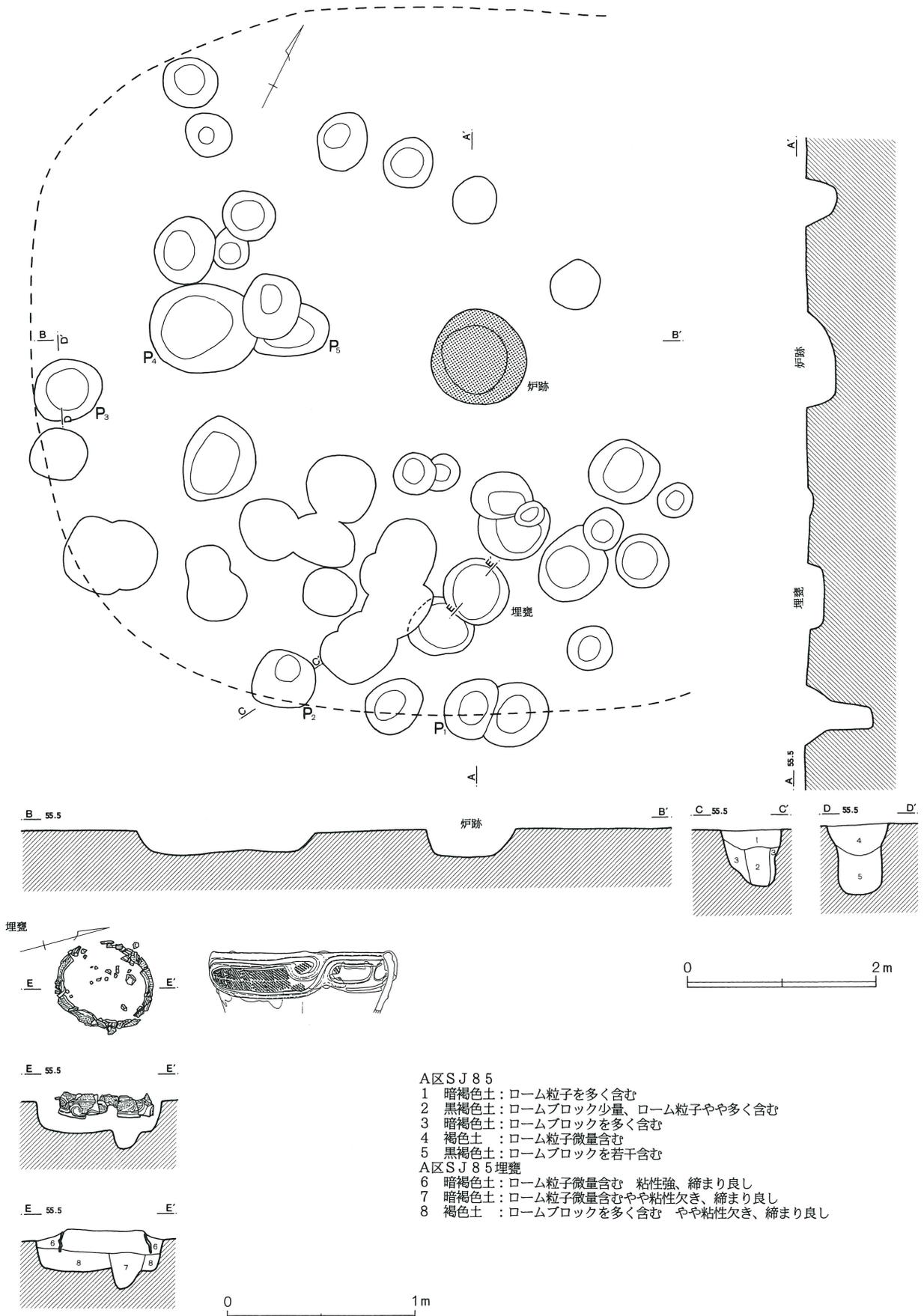


A区S J 8 4

- 1 黒褐色土 : ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量含む 粘性弱、縮まり強
- 2 暗褐色土 : ローム粒子少量、炭化物微量 粘性弱・縮まり強
- 3 褐色土 : ロームブロック少量、ローム粒子やや多く含む 粘性弱、縮まり強
- 4 暗黄褐色土 : ローム主体で褐色土若干含む 粘性弱、縮まり強

0 2 m

第216図 A区第85号住居跡



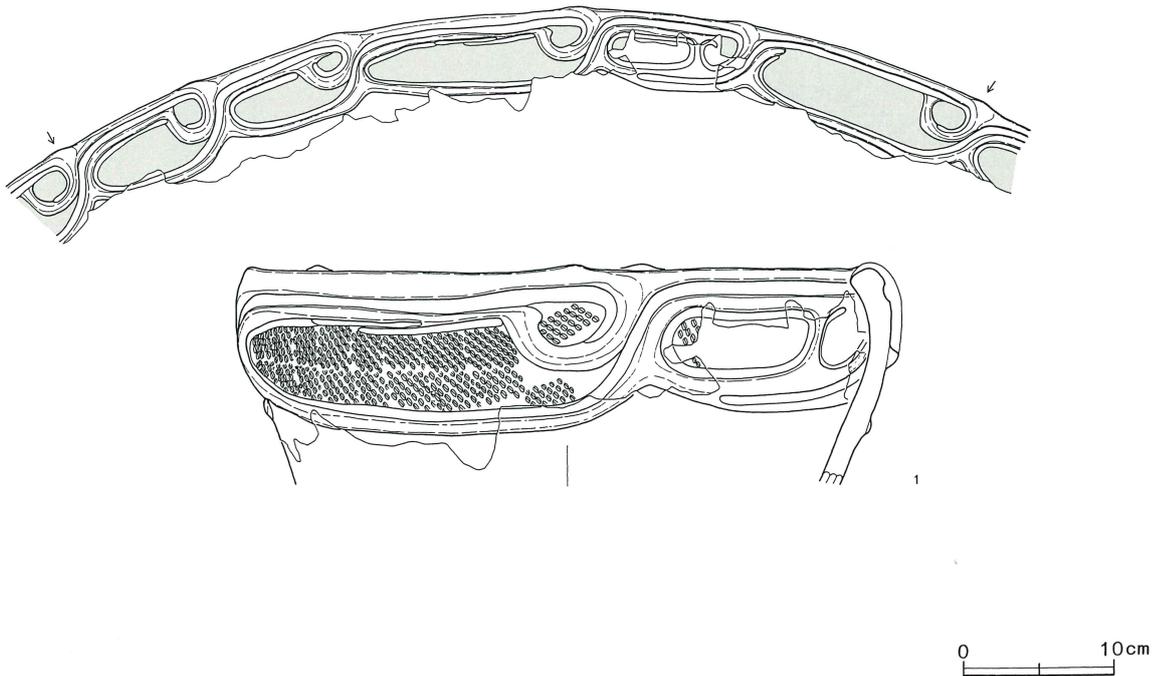
A区SJ 85

- 1 暗褐色土：ローム粒子を多く含む
- 2 黒褐色土：ロームブロック少量、ローム粒子やや多く含む
- 3 暗褐色土：ロームブロックを多く含む
- 4 褐色土：ローム粒子微量含む
- 5 黒褐色土：ロームブロックを若干含む

A区SJ 85埋壙

- 6 暗褐色土：ローム粒子微量含む 粘性強、締まりよし
- 7 暗褐色土：ローム粒子微量含むやや粘性欠き、締まりよし
- 8 褐色土：ロームブロックを多く含む やや粘性欠き、締まりよし

第217図 A区第85号住居跡出土土器



A区第85号住居跡（第216図・第217図）

F-3・4区に所在する。第57・60・72号住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが径6mほどの範囲に集中するものである。壁・壁溝は検出されなかったため、本住居跡の規模・平面形は不明である。

炉跡はピット群のほぼ中央に位置している。円形の地床炉で、直径1.1m、深さ24cmを測る。

炉跡の南西1.7m程の地点で埋甕を検出した。深鉢の口縁部を逆位に埋設したものである。掘り方は埋設土器本体より一回り大きな円形平底のピットである。直径60cm、深さ16cmを測る。土器はこのピットの底面から6cm程浮いた状態で埋設されていた。

炉跡と埋甕を結ぶ線を住居の主軸と仮定した場合、主軸方向はN-26°-Wを指す。

ピットの一部分が炉跡を中心とした環状に並び、壁柱穴を構成する可能性がある。深さ28~80cmを測る。

前述の埋甕以外に本住居跡に伴う遺物は出土してい

ない。

出土土器（第217図）

1は埋甕である。キャリパー類の深鉢で、頸部以下を欠失している。隆帯+沈線により入り組み状の渦巻き文が描かれ、渦巻き部分では水平口縁上に小突起が付される。地文はRLR複節の縄文が横位回転で施文される。口径39cmを測る。

A区第86号住居跡（第218図）

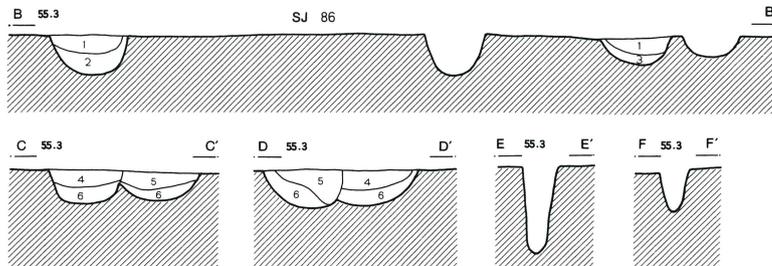
F-6・7区に所在する。第24・92号住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

大小のピットが径5.5mの範囲に集中する。壁・壁溝・炉跡等一切検出されなかったため、本住居跡の規模・平面形・主軸方向などは不明である。

ピットは第24号住居跡と切り合う南半部分では疎らであるが、北半部分では弧状に巡り、壁柱穴を構成する可能性がある。ピットはP12が深さ70cmを測るが、大半は15~30cmの浅いものである。

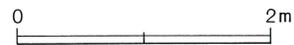
本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第218図 A区第86号住居跡



A区S J 8 6

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 暗黄褐色土 : 再堆積ローム 締まり強
- 3 暗黄褐色土 : 再堆積ローム 締まり強 焼土粒子微量含む 粘性・締まり強
- 4 褐色土 : ロームブロック少量含む
- 5 明褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性強
- 6 暗褐色土 : ローム粒子微量含む



A区第87号住居跡 (第219図)

G-5・6、H-5・6区に所在する。東半分が調査区域外に掛かっている。

第31号住居跡、第83号土壙等と重複しているが、新旧関係は明らかでない。大小のピットが径5.5~6 mの範囲に集中するもので、壁・壁溝・炉跡等一切検出

されなかったため、本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。

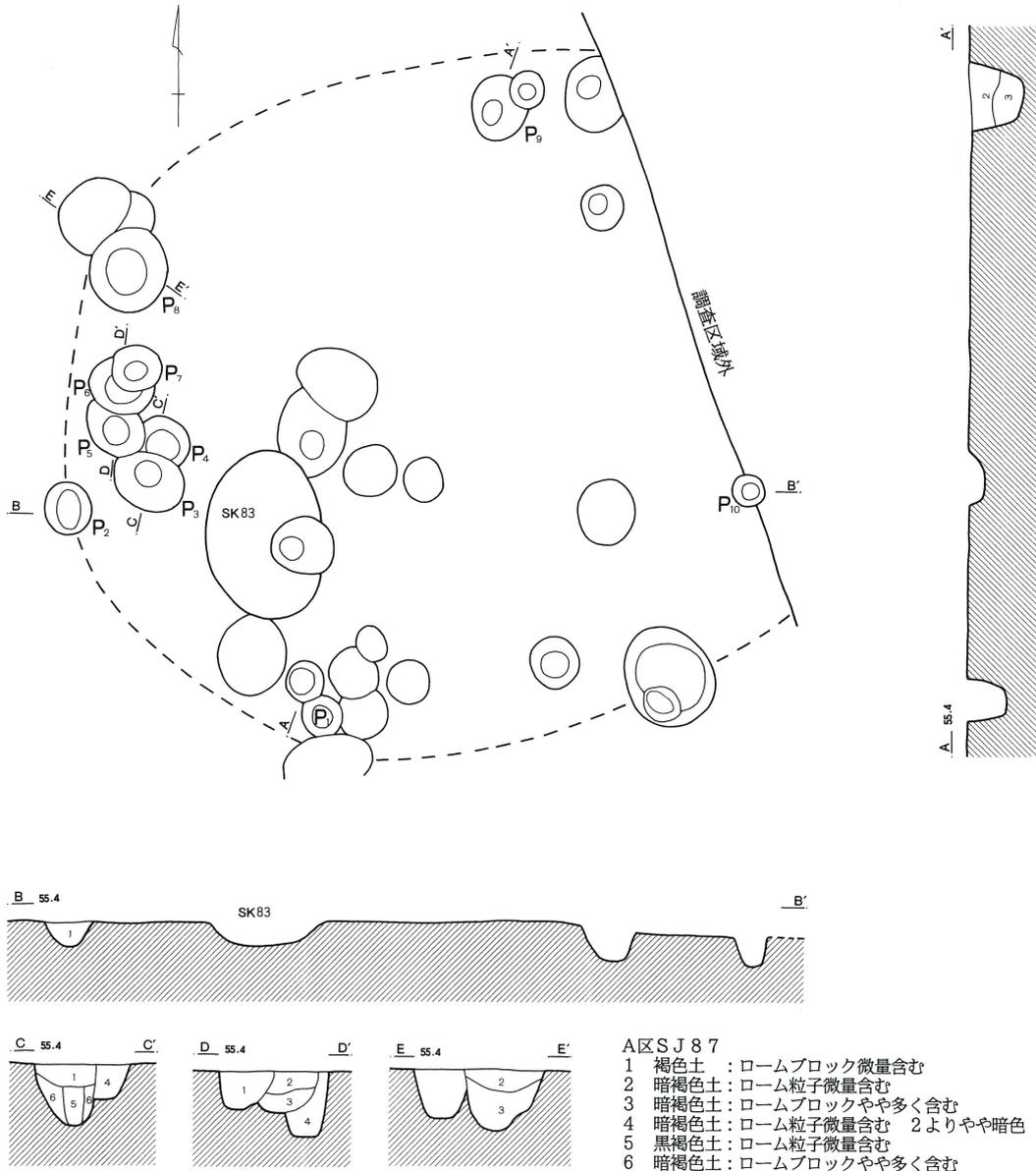
ピットはいくつかのブロックに別れて住居跡推定ライン上に並んでいる。ピットは深さ20~50cmを測る。柱穴配置は不明である。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

A区第88号住居跡（第220図）

G-6・7、H-6・7区に所在する。第74・84号住居跡、第73・76号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが径7mの範囲に集中するもので、壁溝・壁・炉跡等一切検出されず、本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。複数の遺構が重複している可能性もある。本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第219図 A区第87号住居跡

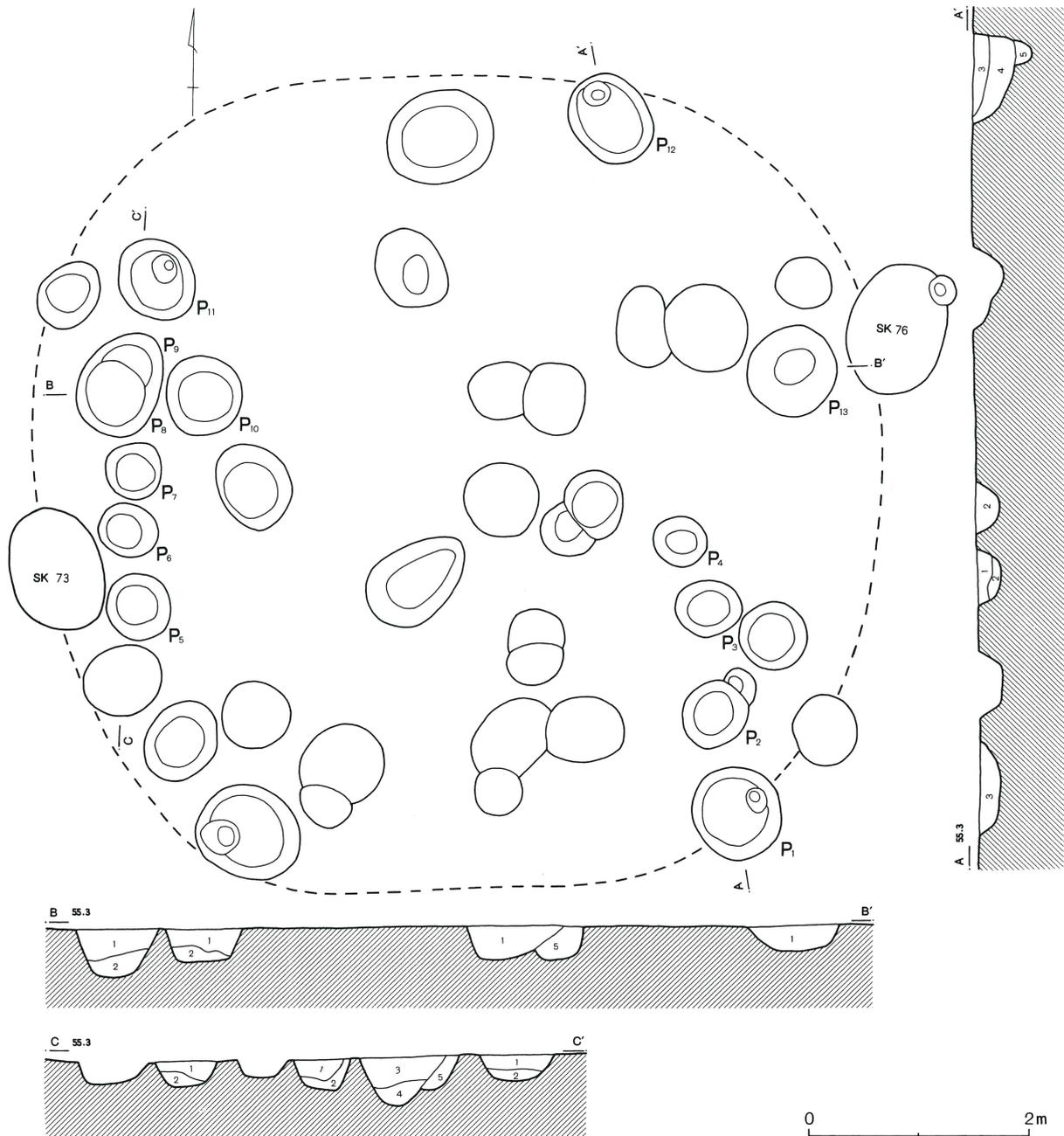


A区第89号住居跡（第221図）

D・E-3区に所在する。北西部分が調査区域外に掛かっているものと思われる。第66・71・99号住居跡等と重複するが、新旧関係は明らかでない。

大小のピットが径6mの環状に巡るもので、壁・壁溝・炉跡等一切検出されておらず、規模・平面形・主軸方向は不明である。本住居跡に伴う遺物は出土していない。

第220図 A区第88号住居跡



A区S J 8 8

- 1 暗褐色土 : ロームブロックやや多く含む 締まり・粘性強
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む 締まり・粘性強
- 3 暗褐色土 : ローム粒子微量含む 強く締まっている
- 4 黒褐色土 : ロームブロック微量含む 強く締まっている
- 5 褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性やや欠く

A区第90号住居跡（第222図）

E-4・5、F-4・5区に所在する。第57・59号住居跡、第112・113・114号土壇、第2・3・4号掘立柱建物跡等と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが径6mの範囲に集中するもので、壁・壁溝は検出されなかった。したがって本住居跡の規模・平面形は不明である。

炉跡はピット群中央に位置している。円形の地床炉で、直径60cm、深さ15cmを測る。

ピットは炉跡を中心とした環状に並ぶ。ピットの深さは25cm~60cmを測る。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

A区第91号住居跡（第223図）

E-5・6、F-5・6区に所在する。第46・75号

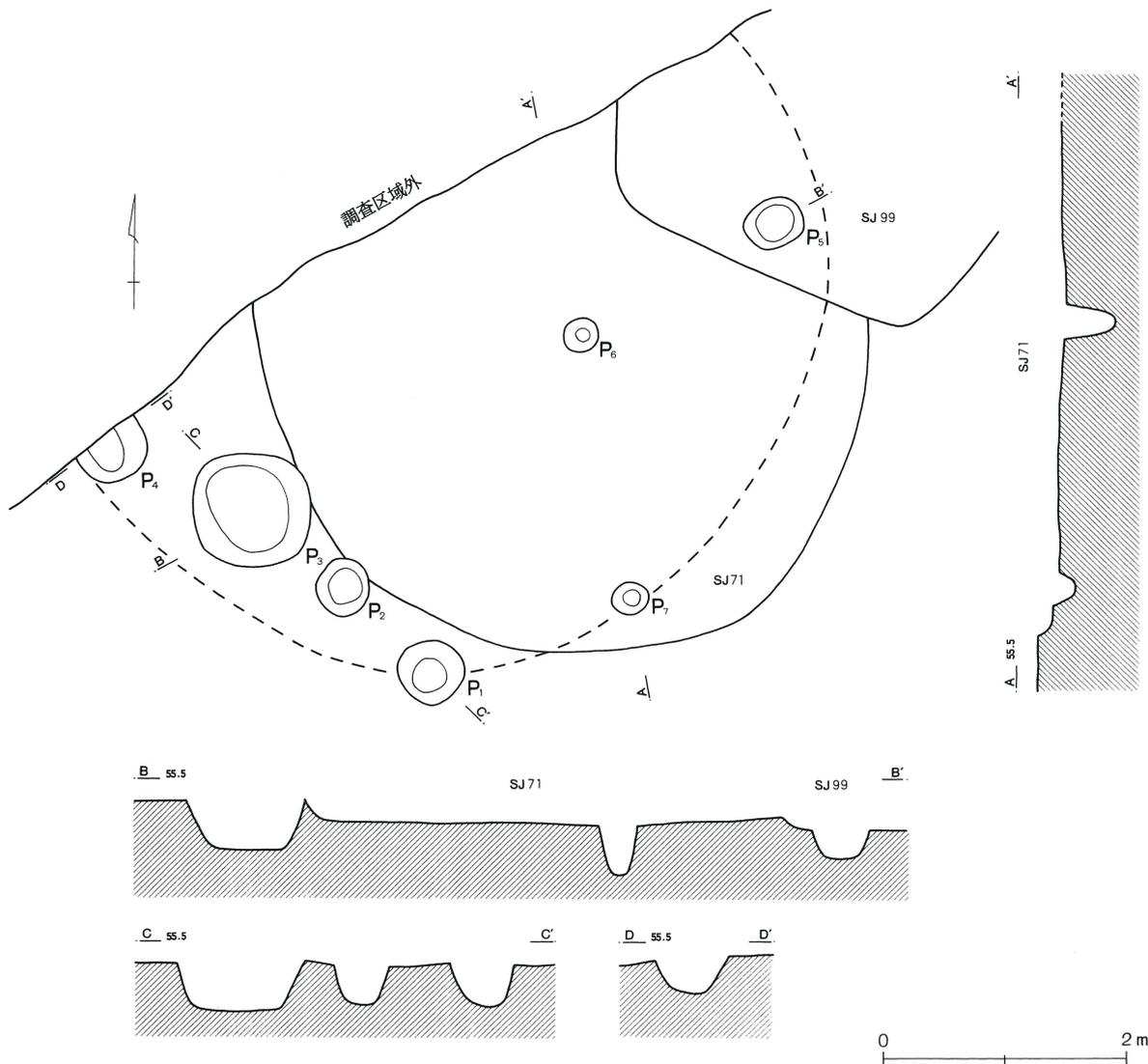
第221図 A区第89号住居跡

住居跡、第213号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが長径6m、短径5.5mの環状に並ぶもので、壁・壁溝・炉跡等は検出されていない。したがって本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。

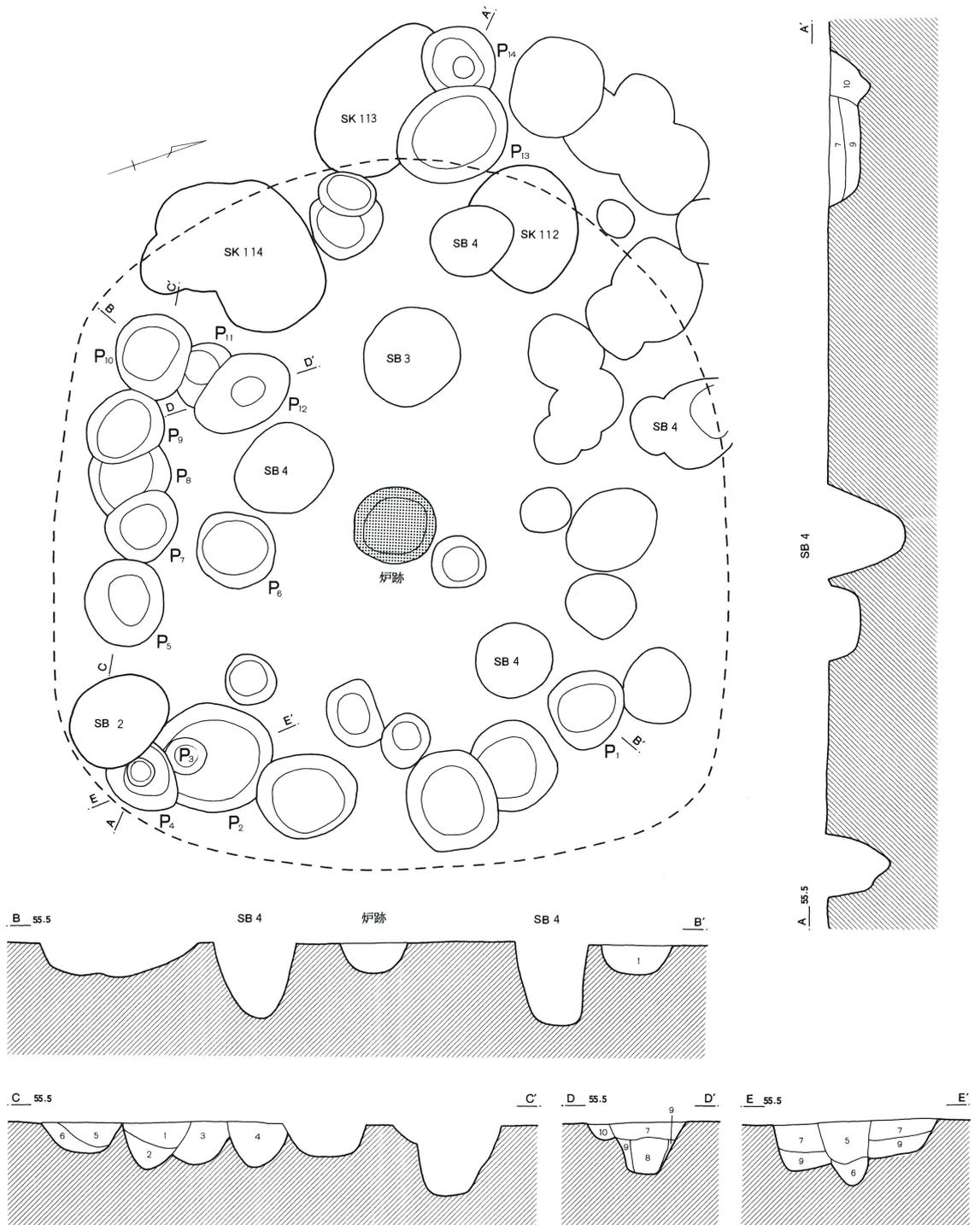
本住居跡に伴う遺物は出土していない。

A区第92号住居跡（第224図）

F・G-6区に所在する。第37・75・86号住居跡、第71・77A号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが長径10m、短径8mの範囲に集中するもので、複数の遺構の切り合いである可能性がある。壁・壁溝・炉跡等は検出されず、規模・平面形・主軸方向等は不明である。遺物は出土していない。



第222図 A区第90号住居跡

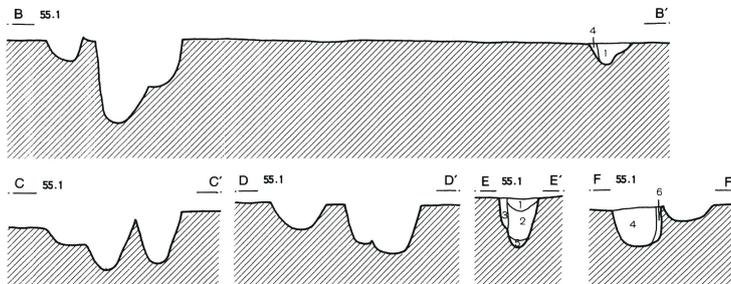
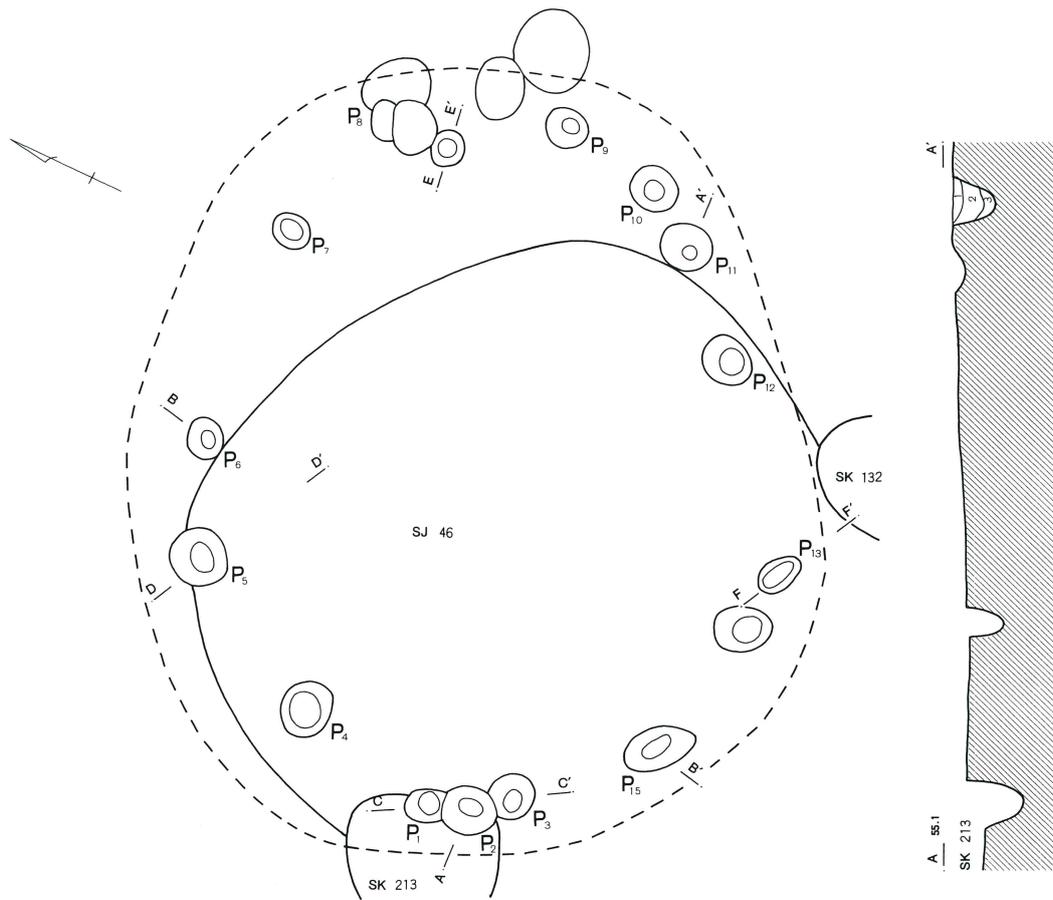


A区SJ90

- 1 明褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性やや有、締まりよし
- 2 暗黄褐色土 : 埋め戻しと思われるローム質土
- 3 明褐色土 : 1層に似るがやや明度落ちる
- 4 明褐色土 : 1層に似るがやや明度落ちる
- 5 褐色土 : ローム粒子微量含む
- 6 褐色土 : ロームブロックやや多く含む
- 7 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む
- 8 黒褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む 粘性強
- 9 褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性強
- 10 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む 5層より明色

0 2m

第223図 A区第91号住居跡



- A区SJ 91
- 1 褐色土 : ロームブロック・ローム粒子若干含む やや粘性欠く
 - 2 暗褐色土 : ロームブロック微量含む やや粘性欠く
 - 3 明褐色土 : ローム粒子微量含む
 - 4 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む
 - 5 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
 - 6 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む



A区第94号住居跡 (第225図)

F-5区に所在する。第53・75・95号住居跡、第72・84・85号土壌等と重複するが、新旧関係は不明である。

大小のピットが径5.5mの範囲に集中するもので、壁・壁溝・炉跡等は検出されていない。したがって本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。

ピットは直径30~40cm、深さ50cm前後と、規模の似

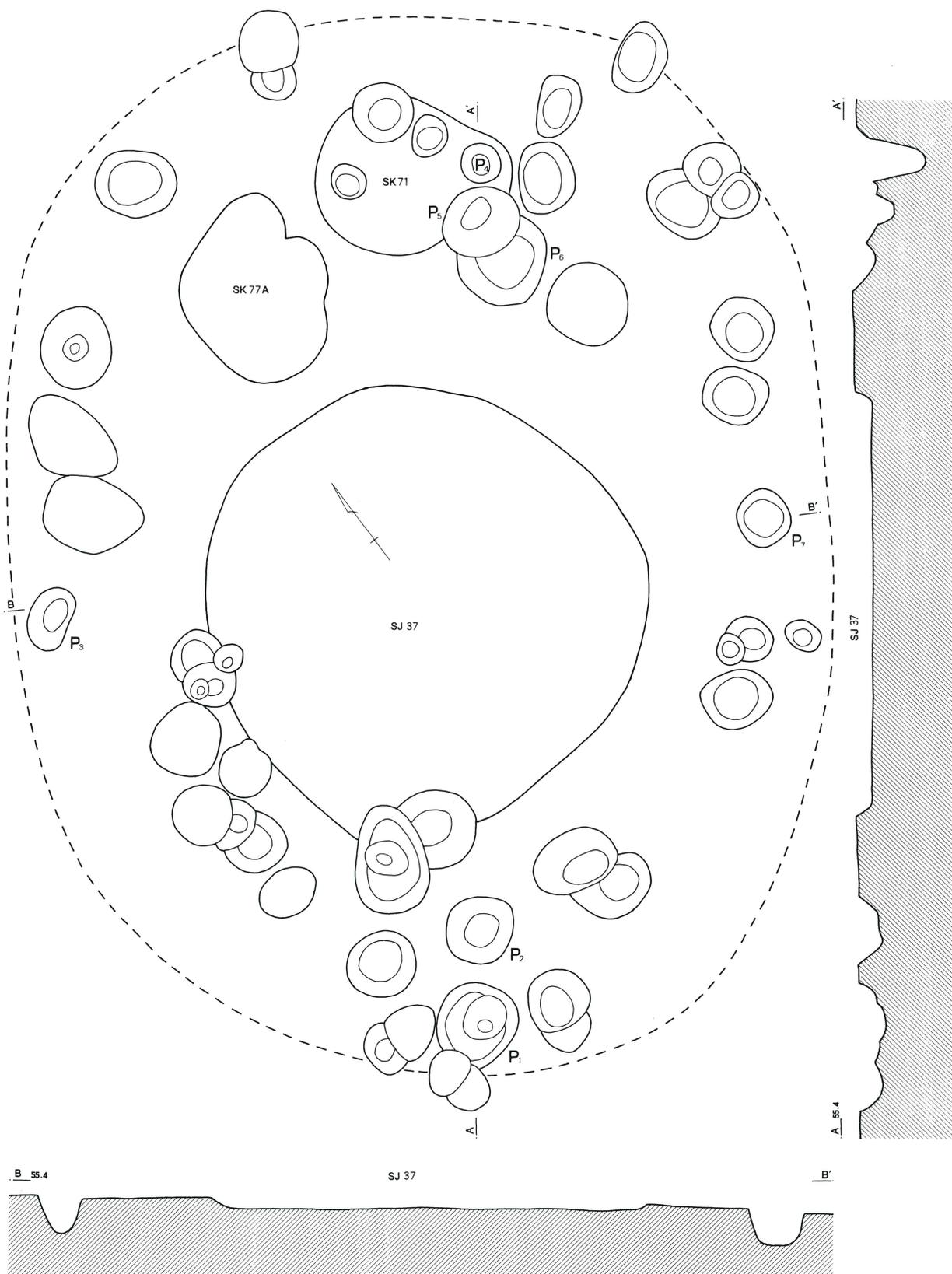
通ったものが住居跡推定ラインに沿って環状に並んでおり、壁柱穴を構成する可能性がある。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

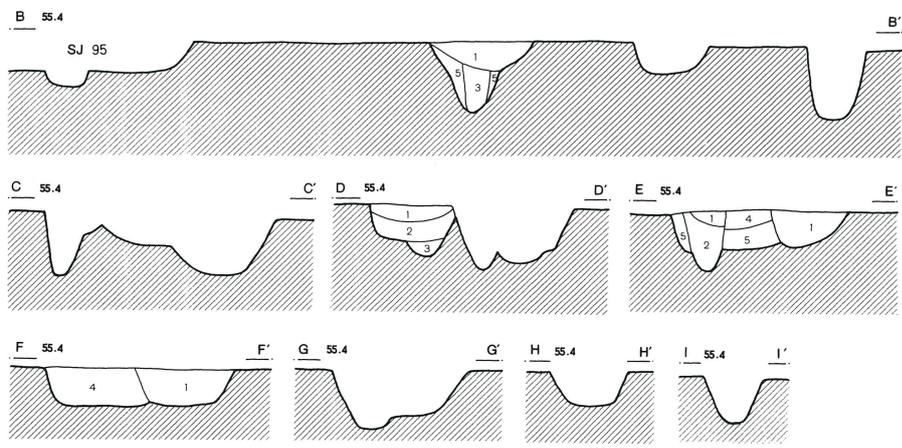
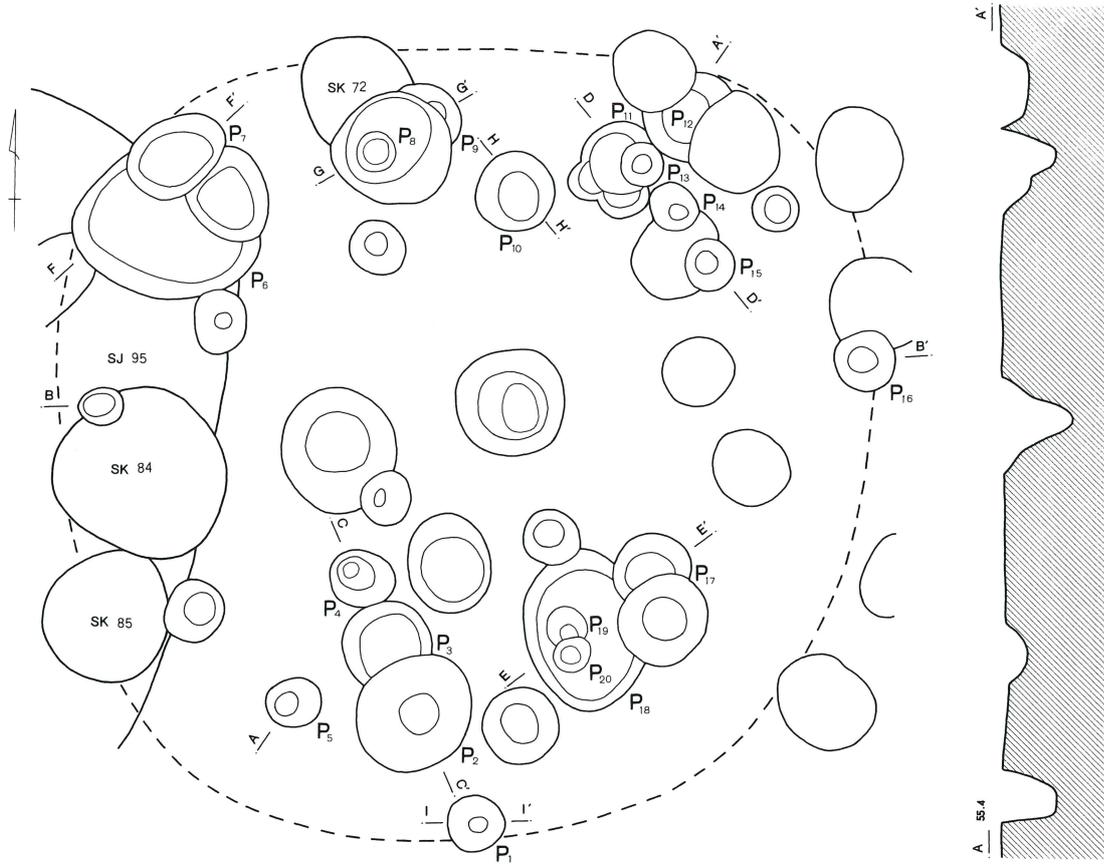
A区第95号住居跡 (第226図・第227図)

E・F-5区に所在する。第46・49号住居跡、第84・85・115・117号土壌に切られる。また、第95号住居跡とも重複するが、新旧関係は不明である。

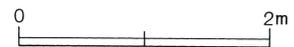
第224图 A区第92号住居跡



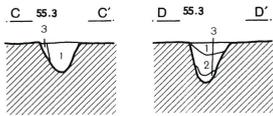
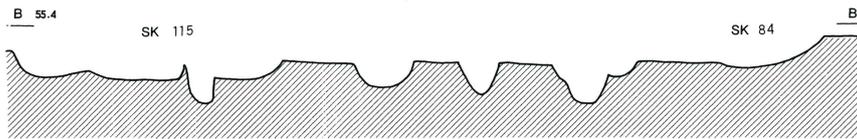
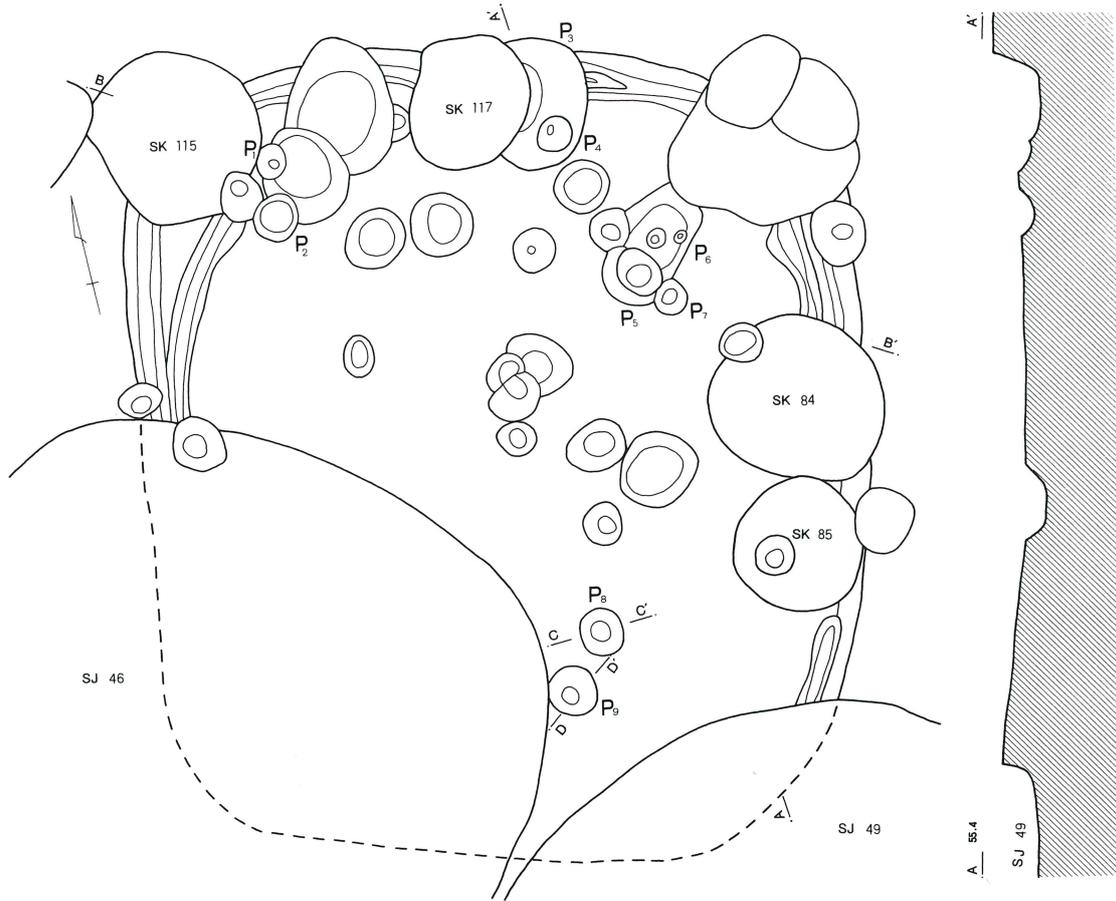
第225図 A区第94号住居跡



- A区SJ94
- 1 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む 締まり良し
 - 2 暗褐色土 : ローム粒子少量
 - 3 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む
 - 4 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性あり、締まり良し
 - 5 暗褐色土 : ロームブロック多く含む



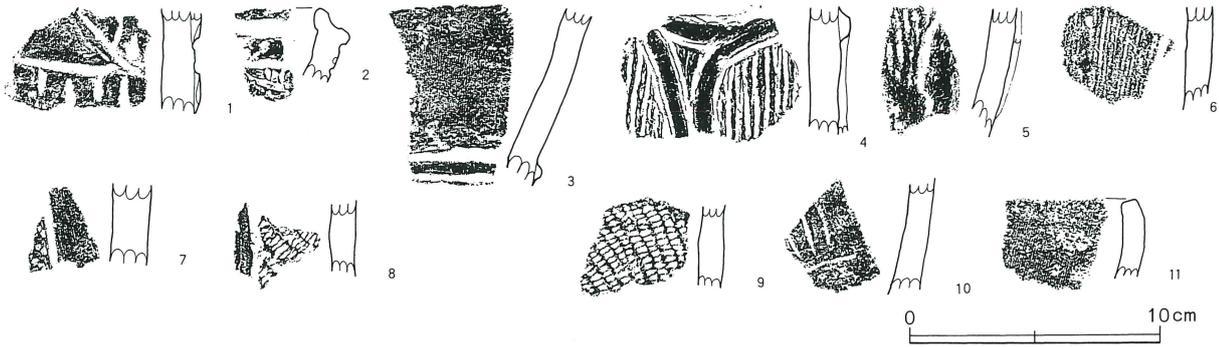
第226図 A区第95号住居跡



- A区SJ95
 1 暗褐色土 : ローム粒子や多く含む
 2 黒褐色土 : ロームブロックや多く含む
 3 暗黄褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む



第227図 A区第95号住居跡出土土器



隅丸長方形の竪穴住居跡で長径は不明、短径6mを測る。壁高は18cmを測る。

壁溝は西壁から北東壁にかけて2重に巡っている。炉跡は検出されなかった。床面上に多数のピットを検出した。いずれも小規模で、配置も不規則であるため、本住居跡の柱穴配置は不明である。

覆土中からは縄文時代中期後葉を中心とした土器片が出土している。

出土土器 (第227図)

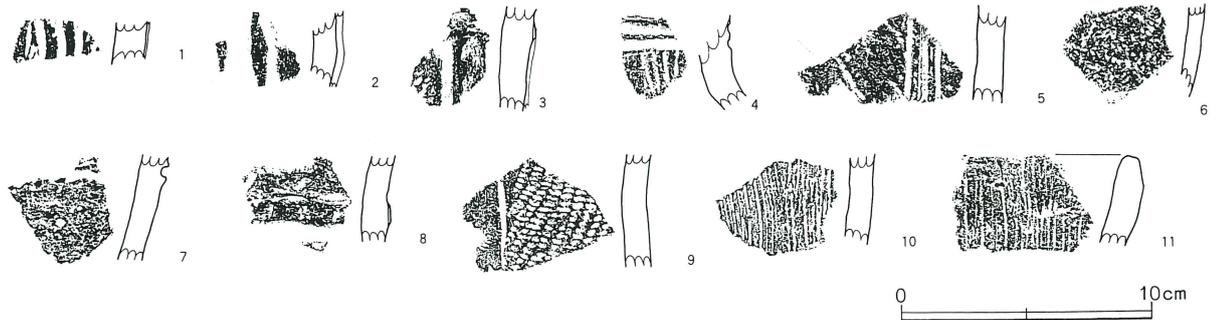
1は刻みを伴った扁平な隆帯によって三角形の区画を描くものである。2はキャリパー類の口縁部である。3は同じくキャリパー類深鉢の頸部無文帯である。4～6は胴部破片で、隆帯による懸垂文である。

7・8は磨消し懸垂文の胴部である。9はLR単節の縄文だけが施文される。10は半裁竹管状工具の沈線がみられる。11は無文の口縁部である。

A区第96号住居跡 (第229図)

E-7区に所在する。東壁部分を除いた大半が調査区域外に存在している。第28号住居跡に切られ、第97号住居跡を切っている。第67号住居跡とも重複するが、

第228図 A区第96号住居跡出土土器



新旧関係は不明である。

北東-南西に主軸を持つ隅丸長方形を呈するものとみられるが、部分的な調査であるため確証がない。長径は不明、短径は約3.2m、壁高は27cmを測る。床面はほぼ平坦である。

壁溝は東壁南寄りでごく断片的に検出された。重複はみられない。炉跡は検出されず、東壁中央の小ピットを除いて柱穴らしきものも発見されなかった。遺物は縄文時代中期後葉の土器片が少量出土している。

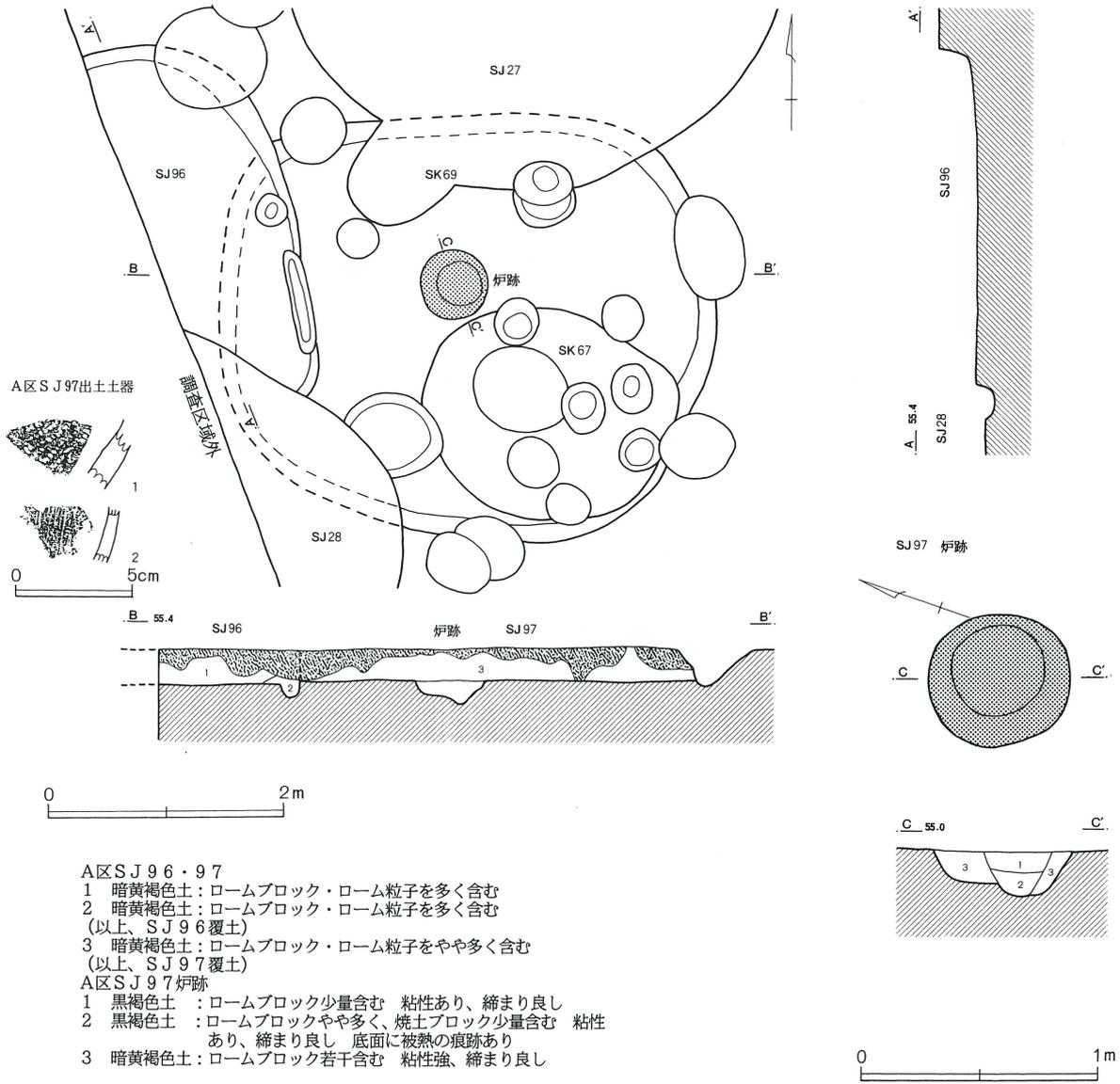
出土土器 (第228図)

1・2は隆帯懸垂文の胴部である。3は口縁部文様帯下端を区画する横位の隆帯区画から隆帯懸垂文が垂下する。

4は横位の平行沈線で器面を上下に分帯するものである。5は三本沈線の懸垂文の左右に斜行する平行沈線によって樹枝状のモチーフを描くものである。

7・8はキャリパー類深鉢の頸部無文帯である。9は磨消し懸垂文の胴部、10・11は櫛歯状工具による縦位の条線が施文される。

第229図 A区第96・97号住居跡



A区第97号住居跡 (第229図)

E-7・8区に所在する。第28・96号住居跡、第67号土壇に切られており、また第67号住居跡とも重複するが新旧関係は不明である。

隅丸長方形の竪穴住居跡とみられ、長径は不明、短径は約3.5mを測る。主軸方向はN-81.5°-Wを指すものとみられる。壁高は26cmを測る。壁溝は検出されなかった。床面中央で炉跡を検出した。円形の地床炉で、直径58cm、深さ18cmを測る。

遺物は縄文時代中期後葉の土器片が出土している。
出土土器 (第229図)

1は連弧文が描かれ、地文はRL単節の縄文である。

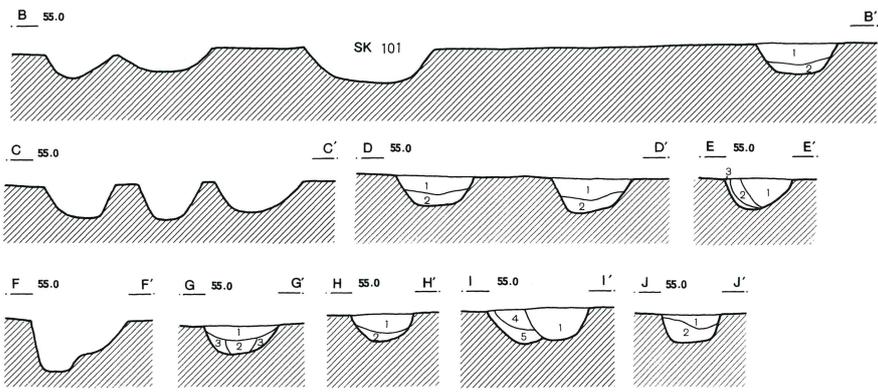
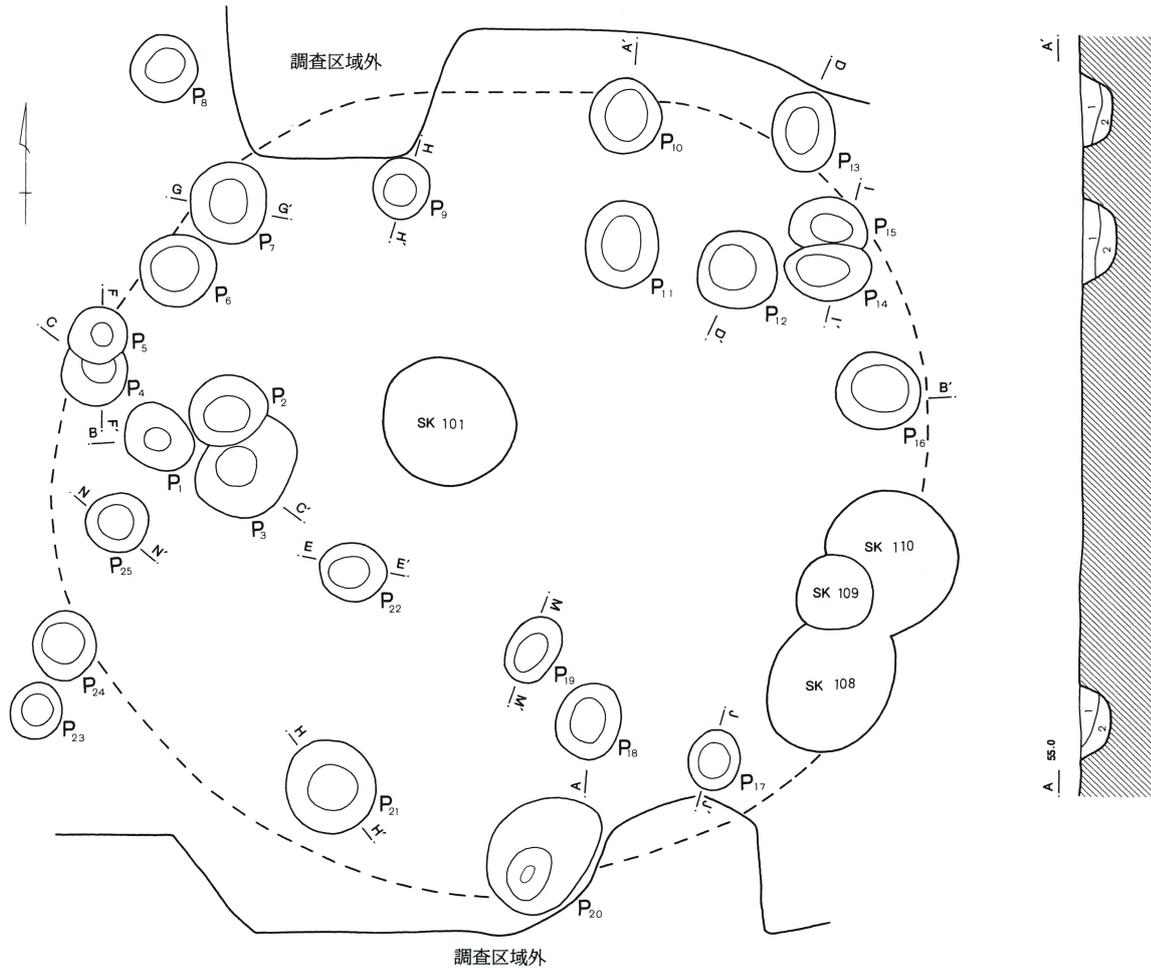
2は櫛歯状工具による縦位の条線だけが施文される。

A区第100号住居跡 (第230図)

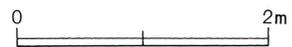
K-13、L-13区に所在する。第101・108・109・110号土壇と重複するが、新旧関係は不明である。大小のピットが径約6.5mの範囲に集中するもので、壁・壁溝・炉跡等は一切検出されず、本住居跡の規模・平面形・主軸方向は不明である。複数の遺構の重複である可能性もある。ピットはP5が深さ45cmを測るが、他は20~30cm止まりの小規模なものである。

本住居跡に伴う遺物は出土していない。

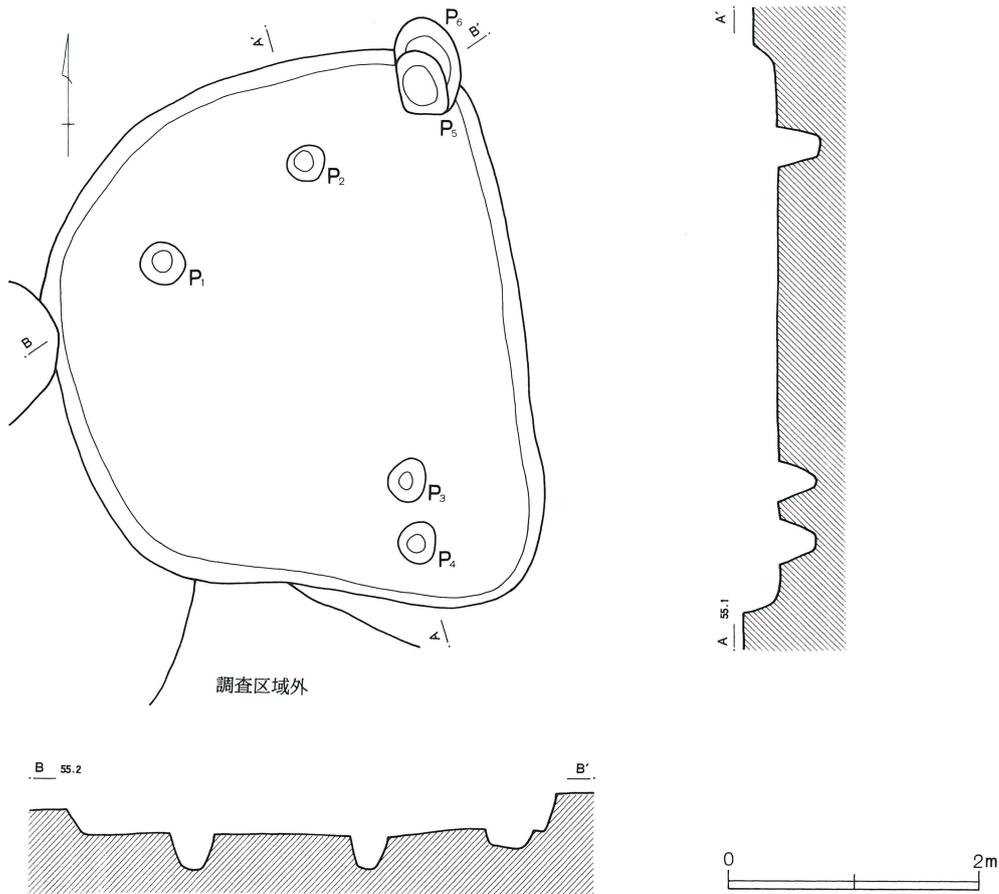
第230図 A区第100号住居跡



- A区SJ100
- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや締まり欠く
 - 2 褐色土 : ローム粒子やや多く含む やや締まり欠く
 - 3 暗褐色土 : ローム粒子若干含む やや締まり欠く
 - 4 褐色土 : ローム粒子やや多く含む やや締まり欠く
 - 5 暗黄褐色土 : ローム粒子多く含む



第231図 A区第3号住居跡状遺構



A区第3号住居跡状遺構（第231図）

L-13区に所在する。第110号土壙と重複するが、新旧関係は不明である。長径4.5m、短径3.7mの不整楕円形の落ち込みである。壁高28cmを測る。壁溝は検出されなかった。床面は平坦で、北東壁付近は一段高くなっている。

炉跡は検出されなかった。床面上から4本のピットが検出された。深さは25~40cmを測る。

本住居跡状遺構に伴う遺物は出土していない。

（2）掘立柱建物跡

A区第1号掘立柱建物跡（第232図）

E・F-3区に所在する。第25号埋甕に切られ、第55号住居跡等とも重複するが、新旧関係は不明である。4本の柱穴が長辺3.2m、短辺2.6mの長方形に並ぶもので、主軸方向はN-42.5°-Wを指す。柱穴の検出面からの深さは0.9~1.2mを測る。P1~3において柱穴の重複が観察されることから、最低1度の建て替

えを経験している可能性がある。

時期判定可能の遺物は出土していないが、埋甕25との切り合い関係から、本建物跡の所属時期は縄文時代中期末葉以前に位置づけられる。

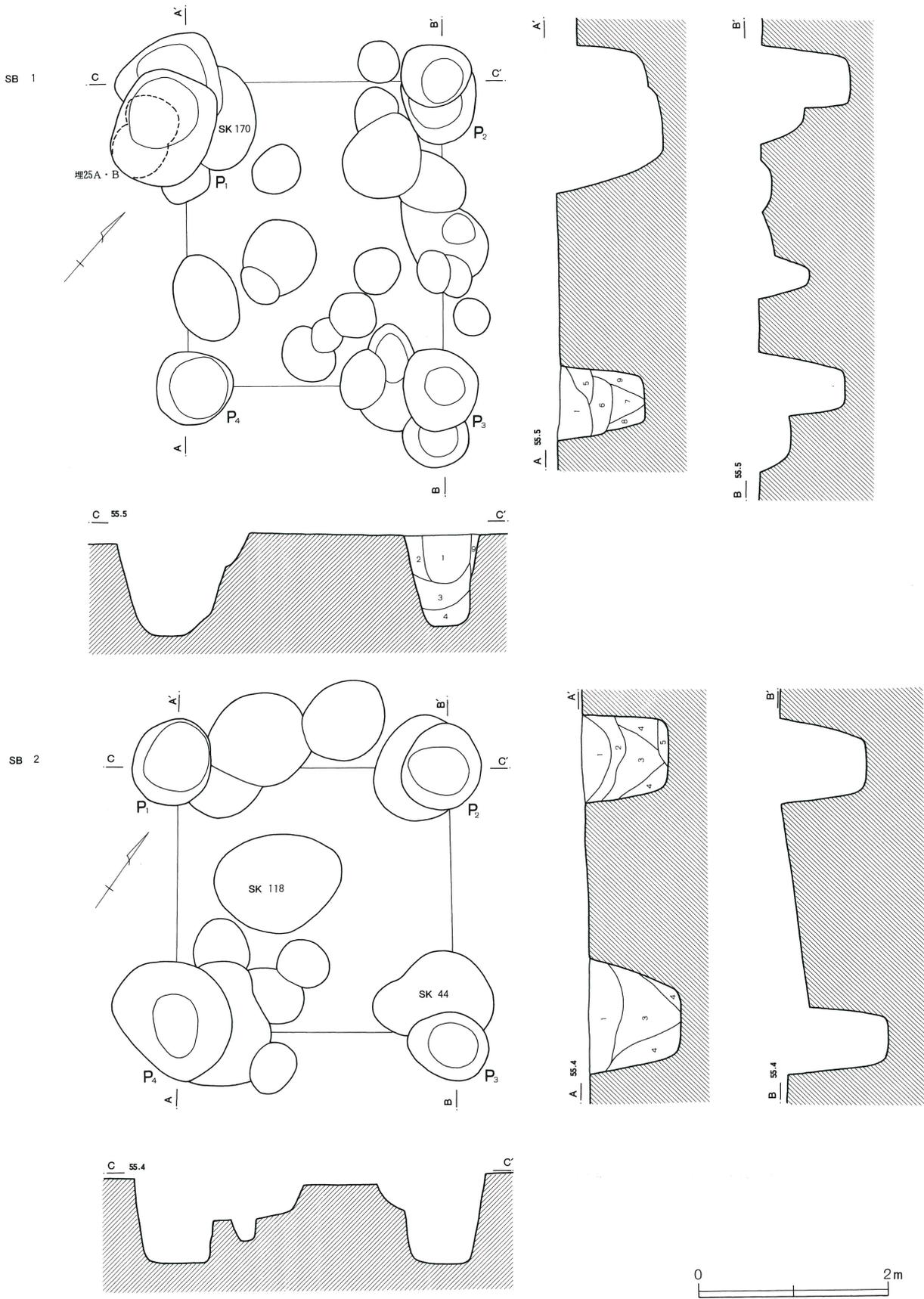
A区第2号掘立柱建物跡（第232図）

F-4・5区に所在する。第70号住居跡、第44・118号土壙等と重複するが、新旧関係は不明である。4本の柱穴が一辺2.8mの方形に並ぶもので、主軸方向はN-35°-Wを指す。柱穴の検出面からの深さは0.9~1mを測る。

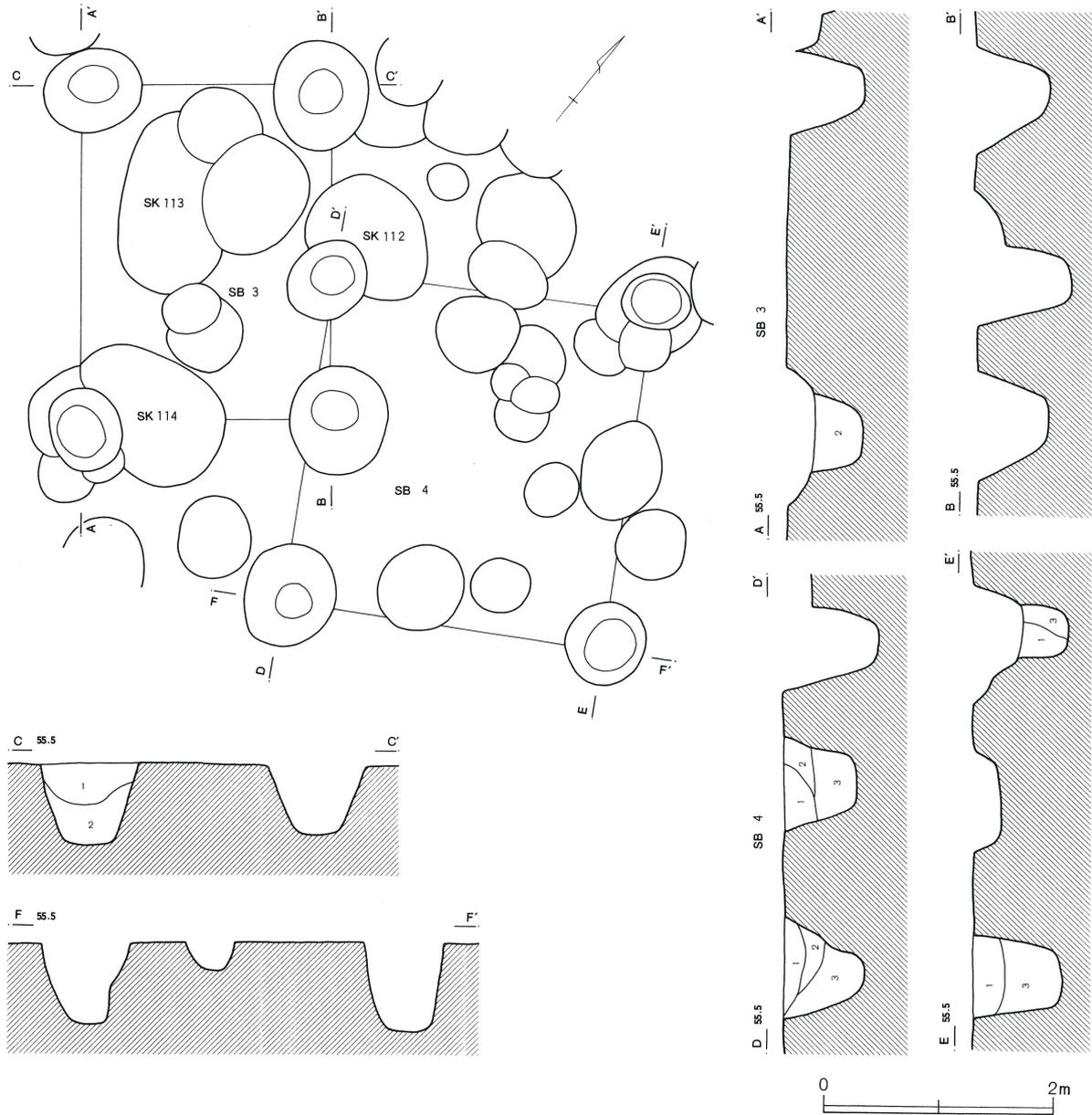
A区第3号掘立柱建物跡（第233図）

E-4区に所在する。第59・90号住居跡、第112・113・114号土壙、第4号掘立柱建物跡等と重複するが、新旧関係は不明である。4本の柱穴が長径2.9m、短径2.2mの長方形に並ぶもので、主軸方向はN-38°-Wを指す。柱穴の検出面からの深さは0.9~1mを測る。

第232图 A区第1·2号掘立柱建物跡



第233図 A区第3・4号掘立柱建物跡



A区SB 1

- 1 暗褐色土 : ロームブロック若干、ローム粒子・焼土粒子微量含む 堅く締まっている
- 2 暗褐色土 : 1層に似るがやや明色 粘性やや有、堅く締まっている
- 3 黒褐色土 : ロームブロックやや多く含む やや締まり欠く
- 4 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや締まり欠く
- 5 暗褐色土 : ロームブロック多量、ローム粒子少量含む 粘性強、締まりよし
- 6 黒褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性強、締まりよし
- 7 黒褐色土 : ロームブロック若干、炭化物少量含む 粘性強、締まりよし
- 8 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや締まり欠く
- 9 暗褐色土 : ロームブロック多量、ローム粒子少量含む 粘性強、締まりよし

A区SB 2

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性・締まり強
- 2 暗褐色土 : ロームブロック微量、ローム粒子若干含む 粘性強
- 3 暗褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性・締まり強
- 4 暗褐色土 : ロームブロック多く含む、堅く締まっている
- 5 暗黄褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む 粘性・締まり強

A区SB 3

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性あり、締まり強
- 2 黒褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性強
- 3 黒褐色土 : ロームブロック若干含む 粘性強、締まりよし

A区SB 4

- 1 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む
- 2 黒褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性強
- 3 黒褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む 粘性強

A区第4号掘立柱建物跡（第233図）

E・F-4区に所在する。第59・90号住居跡、第112号土壇、第3号掘立柱建物跡等と重複するが、新旧関係は不明である。4本の柱穴が長径2.9m、短径2.8mの方形ないし長方形に並ぶもので、主軸方向はN-29°-Wを指す。柱穴の検出面からの深さは0.7~0.8mを測る。

（3）土壇

A区からは193基の土壇が出土した。分布は調査区域のほぼ全域に及んでおり、中期後葉の住居跡が密集するD・E-5・6区周辺で特に密になっている。

時期的には縄文時代中期後葉から後期初頭の土器が主体をなしており、住居跡群の時期と概ね重なるものとみられる。前期や後期前葉の土器片が混じるが、これは覆土中への混入であろう。

平面形は円形・楕円形・隅丸方形など様々である。底面に特殊な施設を伴うものはみられない。小規模なピットを検出する例はあるが、これは別個の遺構との切り合いによるものであろう。

個別の土壇の計測値などは後段の表を参照していただくとして、ここでは特徴的なものについて記載することとする。

第19号土壇（第235図）

H-7・8区に所在する。直径約2.2mの不正円形の土壇で、深さは25cmを測る。

覆土中から復元個体を含む中期末葉の土器大型破片多数が出土している。

第46号土壇（第238図）

F-9・10区に所在する。長径1.55m、短径1.4mの略円形で、深さ30cmの平底の土壇である。覆土中から上層で後期初頭に属する3点の土器の一括セットが出土した。

第66号土壇（第239図）

E-7区に所在する。第65号土壇を切っているが、掘り込みの深さ自体は第65号の方が若干深い。長径1.15mの楕円形で、深さ40cmを測る。土壇底面から伏甕が出土した。胴部中段から下を欠失する深鉢を逆位

に設置するもので、土器埋設に伴う掘り込みなどは確認されなかった。

第89号土壇（第241図）

E-7区に所在する。第100号土壇と重複し、これに切られるものと思われる。直径約1mの不整円形で、深さは20cmを測る。覆土下層から浅鉢胴下半部が逆位に潰れた状態で出土している。

第98号土壇（第241図）

E-6区に所在する。長径1.35m、短径1.2mの楕円形で、深さ1.1mを測る。覆土下層から中期後葉の土器の大破片がまとまって出土した。形態的に掘立柱建物跡の柱穴にも類似するが、これと組み合うべき柱穴が発見されなかったため単独の土壇と判断した。

第121号土壇（第243図）

E-6区に所在する。第40号住居跡中に位置しており、第120号土壇に切られている。また、上面に第42号住居跡の炉跡が存在する。長径1.65mの長楕円形を呈し、深さは30cmを測る。覆土中から3点の復元個体を含む中期後葉（磨消し連弧文段階）の土器の一括セットが出土した。

第152号土壇（第245図）

D・E-6区に所在する。第47号住居跡を切っており、第132A号土壇とも重複するが、新旧関係は不明である。長径2m、短径1.1mの楕円形で、深さ60cmを測る。覆土中から縄文時代中期後葉の土器片若干が出土しているが、壇底付近からヒスイ製の垂飾1点が出土しており、副葬品と考えられる。

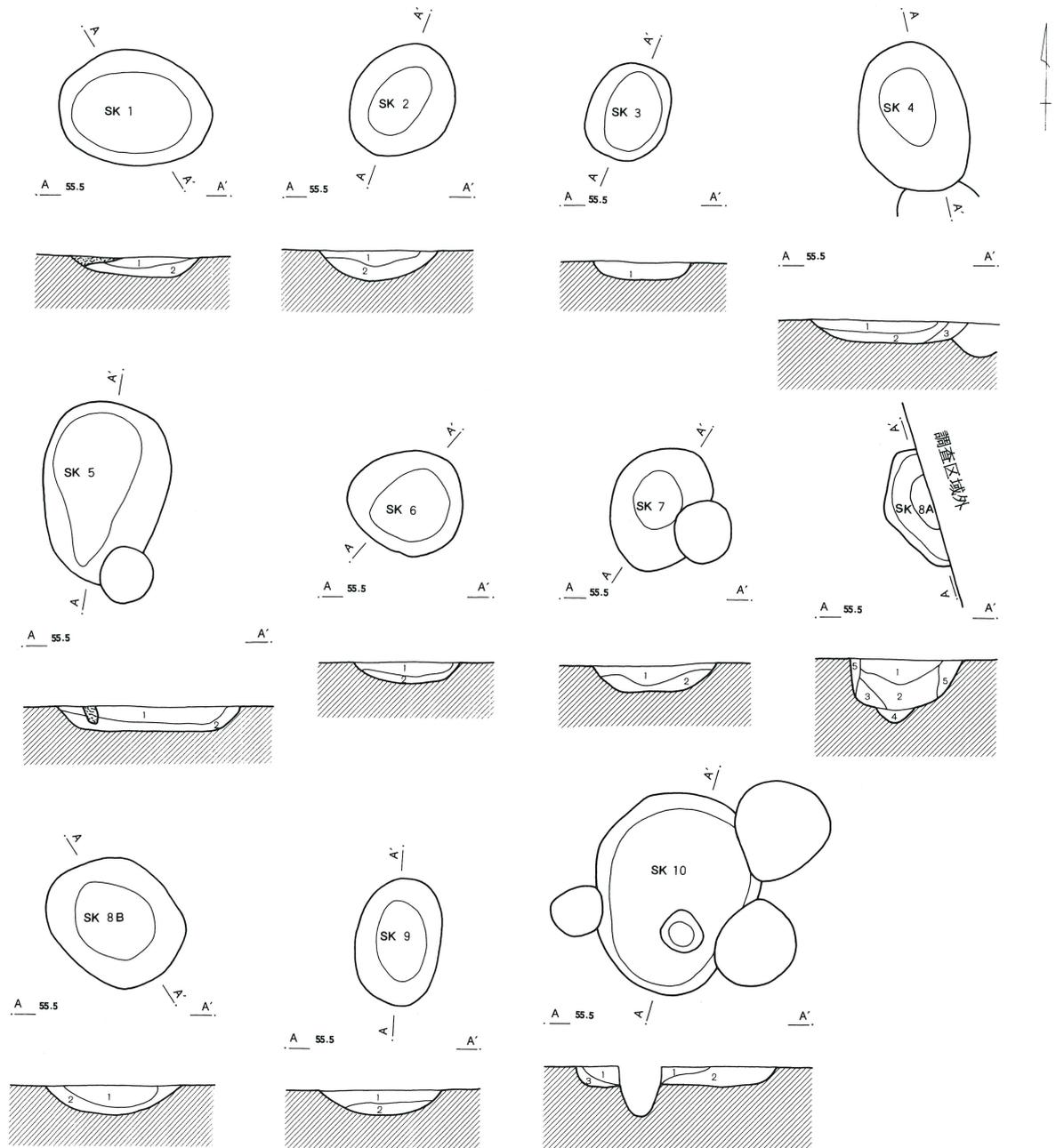
第154号土壇（第246図）

E-3区に所在する。後期初頭の第55号住居跡を切るが、覆土中の遺物は中期後葉の土器小破片である。長径1.65m、短径1.4mの不整楕円形で、深さ50cmを測る。覆土中に多量のロームブロックを混入する、人為的な埋め戻しを思わせる埋没状態を示す。

第194号土壇（第248図）

D-3区に所在する。長径1.55m、短径1.37mの楕円形で、深さは42cmを測る。遺構検出面に10点程の礫の集積が観察された。

第234図 A区土壌(1)



A区SK 1

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK 2

- 1 黒褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 暗褐色土 : ローム粒子微量含む

A区SK 3

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む

A区SK 4

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性ややあり、締まりよし
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む 粘性あり、締まりよし

A区SK 5

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性あり、締まりよし

A区SK 6

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む
- 2 褐色土 : ロームブロックやや多く、粘性欠く

A区SK 7

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK 8 A

- 1 暗褐色土 : ローム粒子・焼土粒子・炭化物含む 粘性弱、締まり強
- 2 暗褐色土 : 1層に似るが混入物全体に少ない 粘性弱、強く締まっている
- 3 暗灰褐色土 : ロームブロック多く、ローム粒子・焼土粒子・炭化物含む 粘性弱、締まり強
- 4 暗灰褐色土 : くすんだローム土 粘性強、締まり強
- 5 暗黄褐色土 : ロームブロック・ローム粒子極めて多く含む 粘性・締まり弱

A区SK 8 B

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック少量、ローム粒子微量含む

A区SK 9

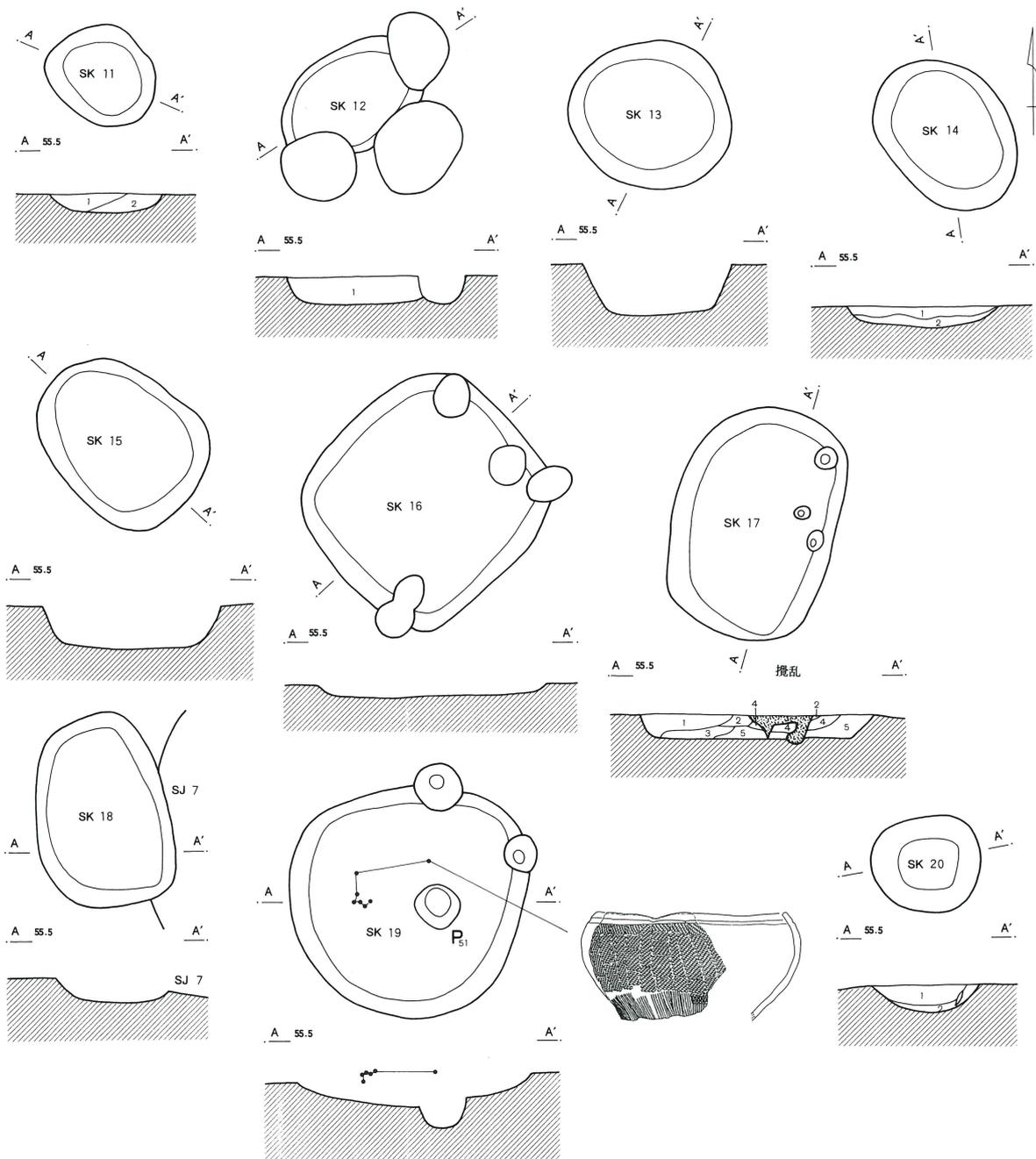
- 1 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む 粘性やや強、締まり強
- 2 暗黄褐色土 : くすんだローム土 粘性強、締まりやや強

A区SK 10

- 1 黒褐色土 : ローム粒子・焼土粒子・炭化物含む 粘性弱、締まりやや強
- 2 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、炭化物少量含む 粘性やや強、締まり強
- 3 暗黄褐色土 : ロームを主体とする。粘性・締まりやや強



第235図 A区土壌(2)



A区SK11

- 1 黒褐色土 : ローム粒子少量、炭化物若干含む 粘性弱、締まり強
- 2 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む 粘性やや強、締まり強

A区SK12

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む

A区SK14

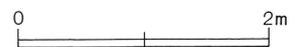
- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む 粘性ややあり、締まり良し
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性ややあり、締まり良し

A区SK17

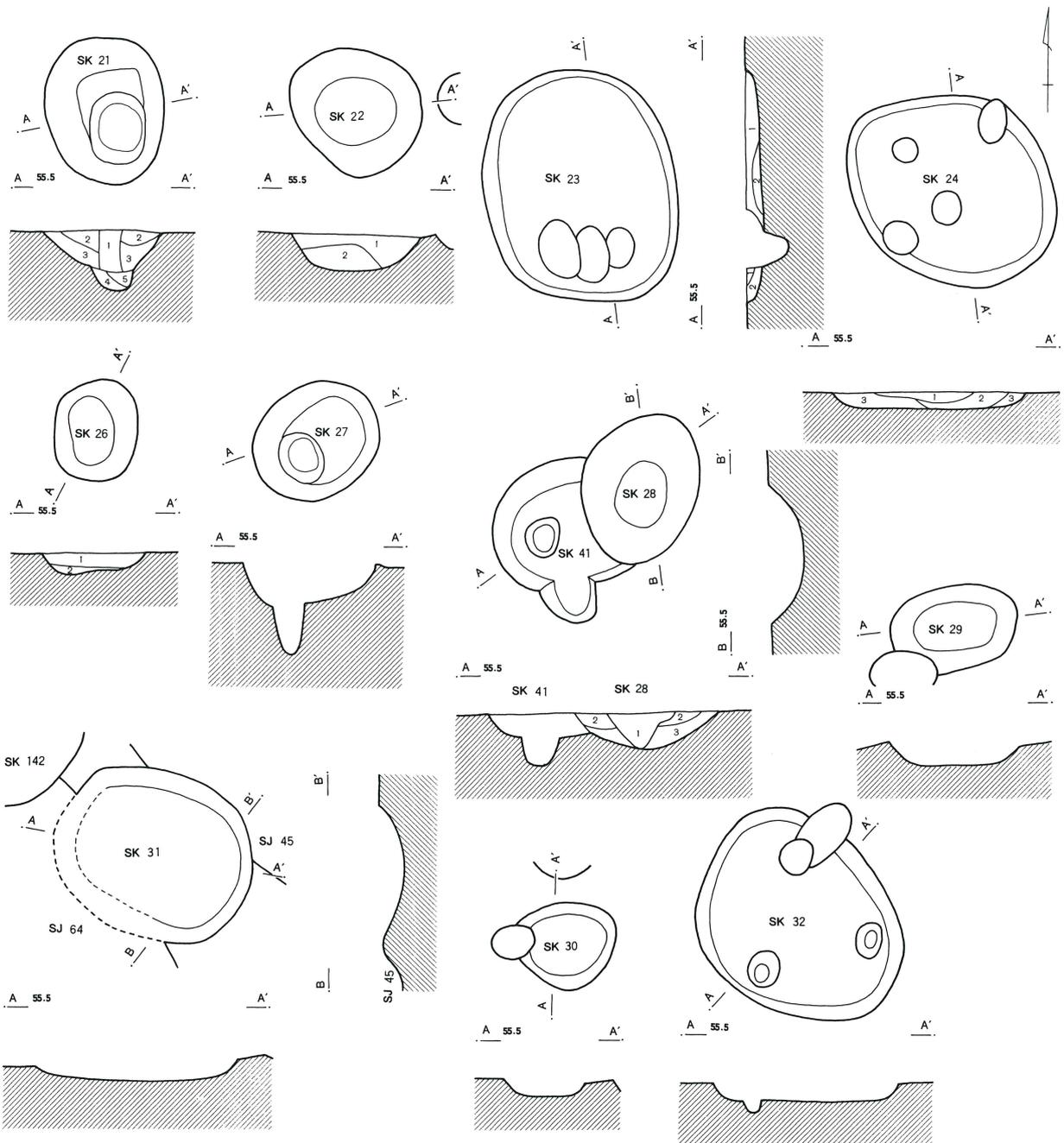
- 1 黒褐色土 : ロームブロック少量、ローム粒子微量含む
- 2 黒褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック・ローム粒子多く含む
- 4 暗褐色土 : ロームブロック微量含む
- 5 暗褐色土 : ロームブロック少量含む

A区SK20

- 1 暗褐色土 : ローム粒子少量含む
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロックを多く含む



第236図 A区土壌(3)



A区SK 21

- 1 黒褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 3 暗褐色土 : ロームブロック微量含む
- 4 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む
- 5 黒褐色土 : ロームブロック少量含む

A区SK 22

- 1 灰褐色土 : ロームブロック微量含む 粘性ややあり、締まりよし
- 2 暗黄褐色土 : ローム粒子少量含む 粘性ややあり、締まりよし

A区SK 23

- 1 暗褐色土 : ローム粒子少量含む 粘性弱、締まりあり
- 2 褐色土 : ローム粒子多量、炭化物少量含む 粘性弱、締まりよし

A区SK 24

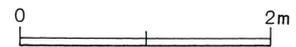
- 1 黒褐色土 : ローム粒子多く含む 粘性弱、締まりよし
- 2 暗褐色土 : ローム主体に1層を含む 粘性弱、締まりよし
- 3 黒褐色土 : ローム粒子・炭化物少量含む 粘性弱、締まりよし

A区SK 26

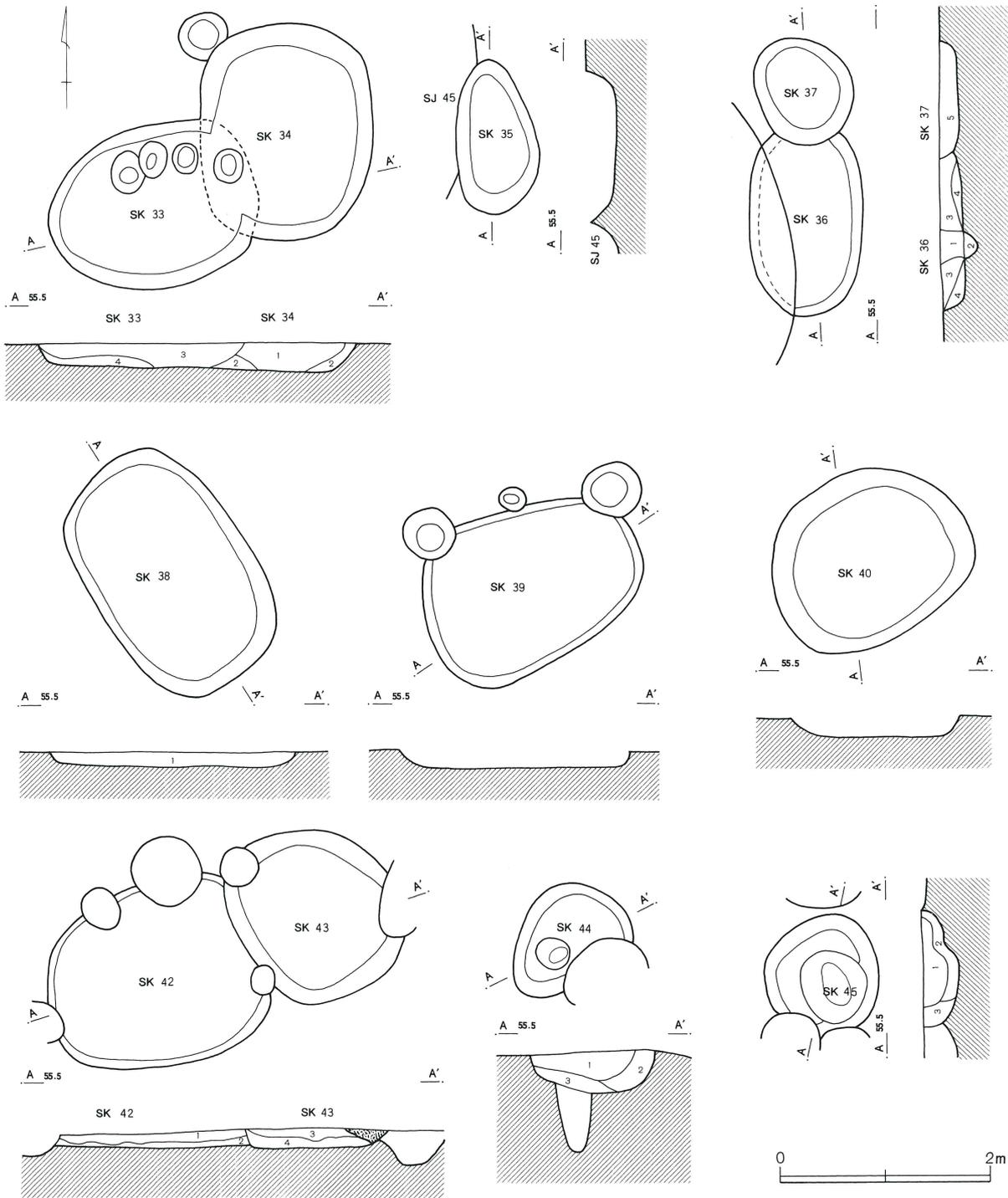
- 1 黒灰褐色土 : ローム粒子少量含む 粘性ややあり、締まり欠く
- 2 灰黄褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性・締まり欠く

A区SK 28

- 1 黒灰褐色土 : ローム粒子微量含む 粘性ややあり、締まり欠く
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック微量、ローム粒子やや多く含む 粘性あり、締まりよし
- 3 暗黄褐色土 : ローム粒子多く含む 粘性あり、締まりよし



第237図 A区土壌(4)



A区SK 33・34

- 1 暗褐色土：ローム粒子やや多く含む 粘性弱、締まり強
- 2 暗黄褐色土：くすんだローム土 粘性やや強、締まり弱
- 3 褐色土：ローム粒子やや多く含む 粘性弱、締まり強
- 4 暗黄褐色土：ローム粒子多く含む 粘性弱、締まり強

A区SK 36・37

- 1 暗褐色土：ローム粒子・焼土粒子微量含む 締まり良し
- 2 褐色土：ロームブロックやや多く含む 粘性欠く
- 3 暗褐色土：ローム粒子微量含む
- 4 暗黄褐色土：ロームブロック多く含む やや締まり欠く
- 5 褐色土：ロームブロック多く、焼土粒子微量含む

A区SK 38

- 1 暗褐色土：ロームブロック・ローム粒子やや多く含む 粘性弱、締まり強

A区SK 42・43

- 1 黒褐色土：ローム粒子少量含む
- 2 暗褐色土：ロームブロックを多く含む やや粘性欠く
- 3 褐色土：ロームブロックやや多く含む
- 4 暗黄褐色土：ロームブロック集積

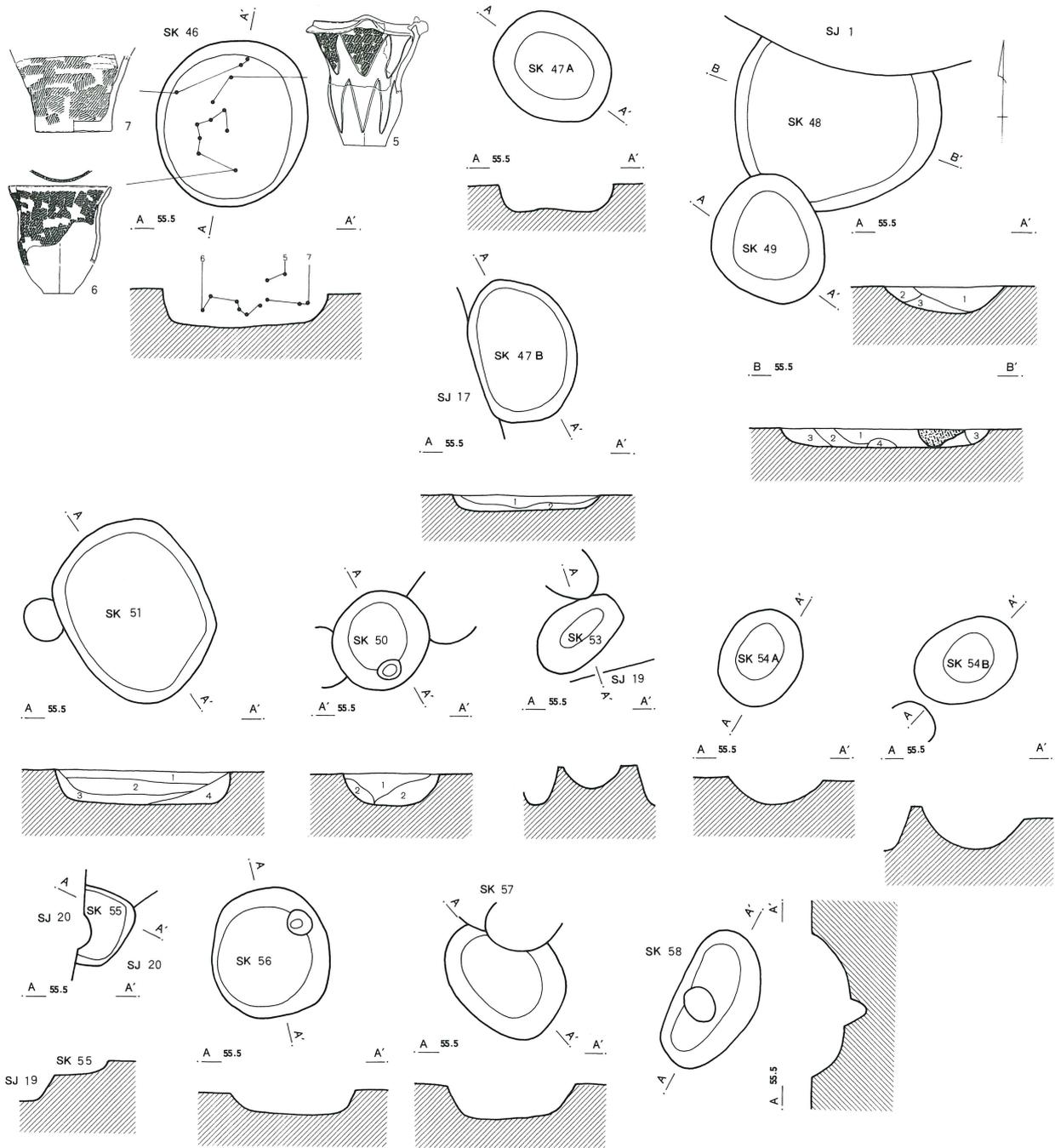
A区SK 44

- 1 褐色土：ロームブロック微量含む
- 2 暗褐色土：ローム粒子微量含む
- 3 暗褐色土：ロームブロックやや多く含む

A区SK 45

- 1 黒褐色土：ローム粒子・焼土粒子微量含む 締まり強
- 2 暗褐色土：ローム粒子多く含む 締まりやや強
- 3 暗黄褐色土：くすんだローム主体 締まりやや強

第238図 A区土壌 (5)



A区SK47B

- 1 暗褐色土 : ローム粒子や多く、焼土粒子・炭化物微量含む 粘性弱・締まり強
- 2 暗黄褐色土 : ローム主体に1層を混土 粘性弱、締まり強

A区SK48

- 1 暗褐色土 : ロームブロック微量含む
- 2 褐色土 : ロームブロックや多く含む
- 3 暗褐色土 : ローム粒子や多く含む 締まり欠く
- 4 黄褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK49

- 1 黒褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック少量含む
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK50

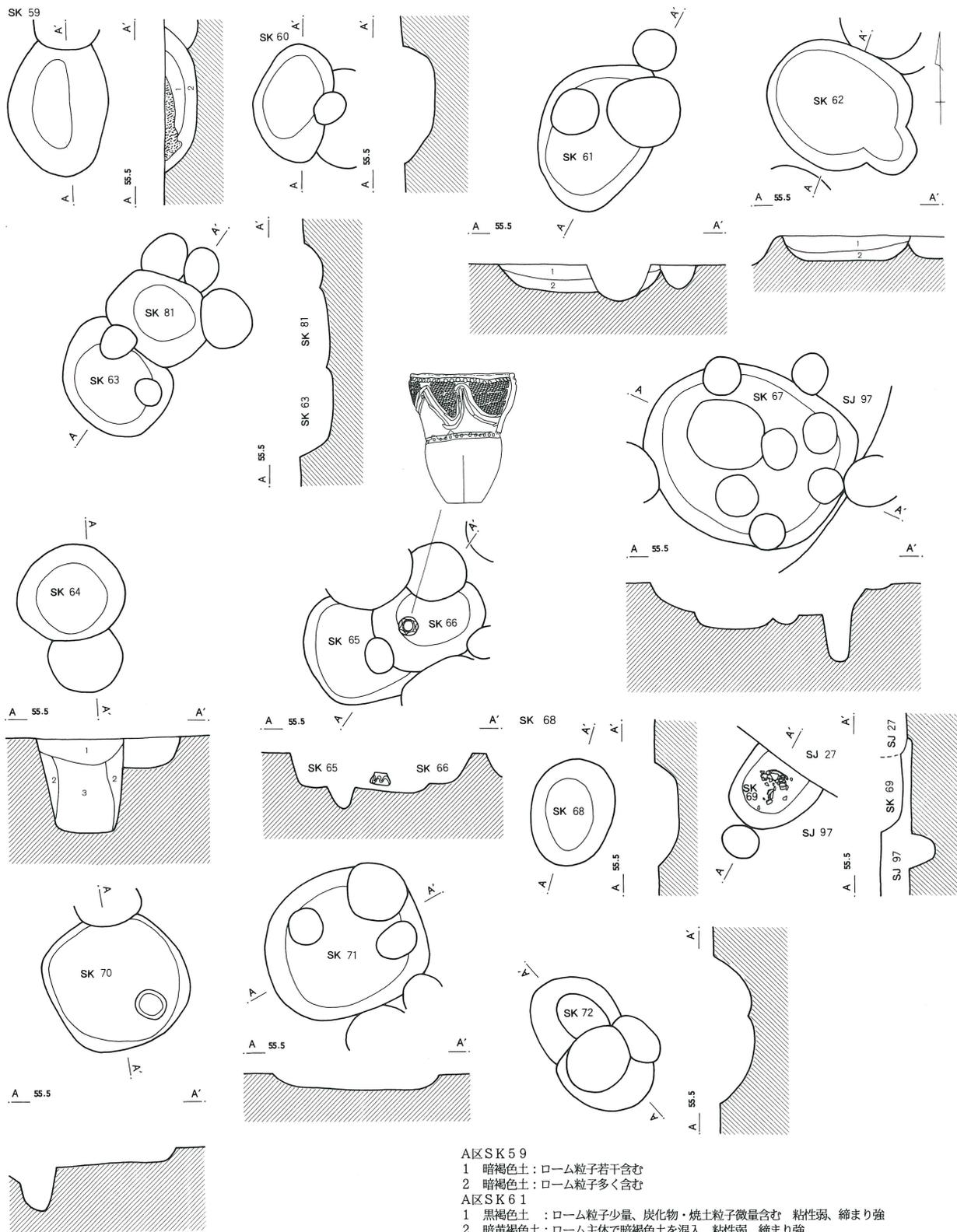
- 1 暗褐色土 : ロームブロックや多く含む
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK51

- 1 暗褐色土 : ロームブロックや多く含む 締まりやや欠く
- 2 褐色土 : ロームブロック多く含む
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む
- 4 暗褐色土 : ロームブロックや多く含む 締まりやや欠く



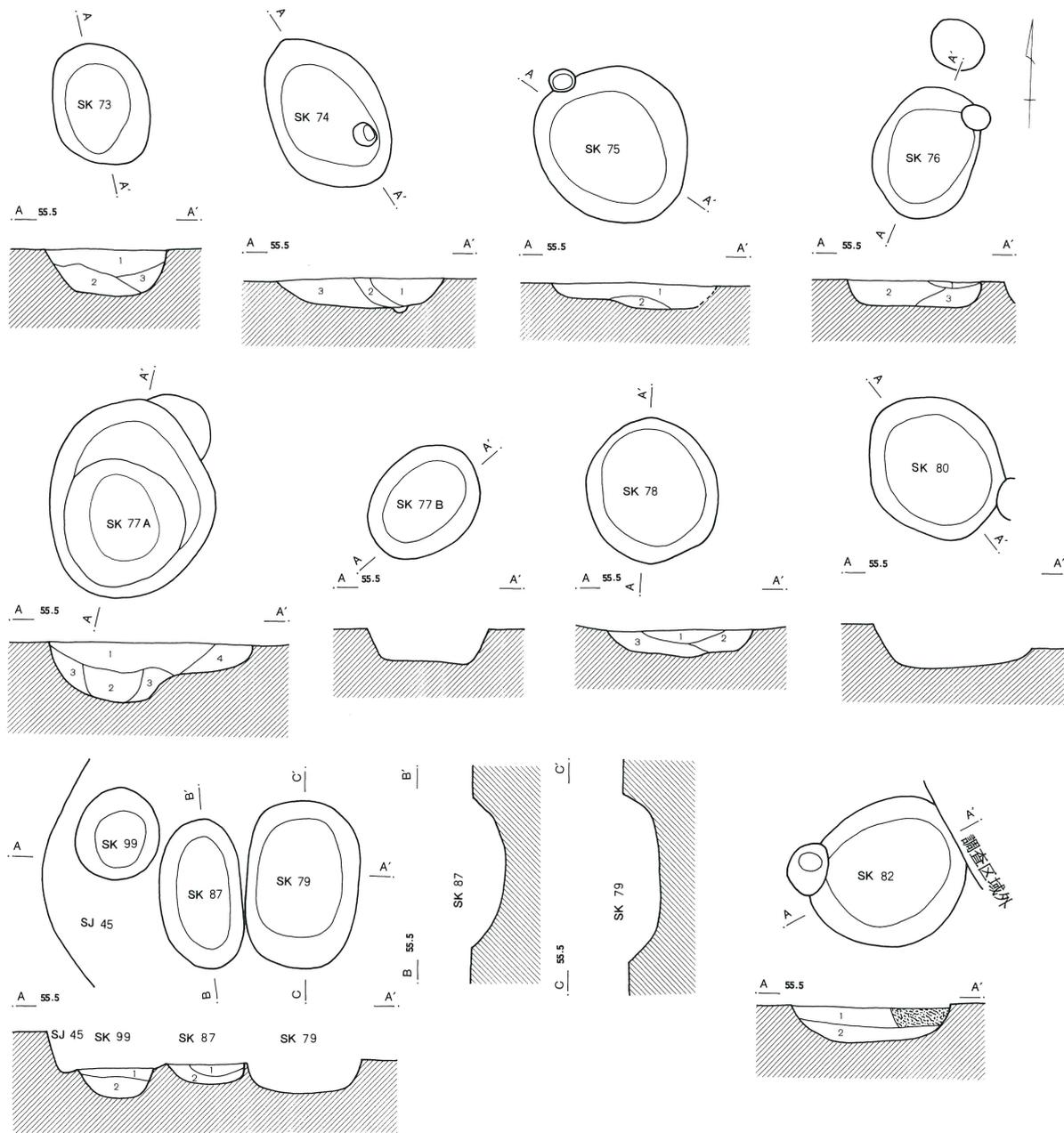
第239図 A区土壌(6)



- A区SK 59
 1 暗褐色土：ローム粒子若干含む
 2 暗褐色土：ローム粒子多く含む
 A区SK 61
 1 黒褐色土：ローム粒子少量、炭化物・焼土粒子微量含む 粘性弱、締まり強
 2 暗黄褐色土：ローム主体で暗褐色土を混入 粘性弱、締まり強
 A区SK 62
 1 暗褐色土：ローム粒子やや多く、炭化物、焼土粒子少量
 2 暗黄褐色土：ローム粒子多く、ロームブロック多く含む
 A区SK 64
 1 暗褐色土：ローム粒子微量含む 締まり良く、粘性高し
 2 暗褐色土：ロームブロック多く含む 壁の崩壊土と思われる 堅く締まっている
 3 暗褐色土：ローム粒子まばらに、ロームブロックを微量に含む 埋め戻し土か 粘性強い



第240図 A区土壌(7)



A区SK73

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子・焼土粒子微量含む 粘性欠く
- 2 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 3 明褐色土 : ロームブロック微量、ローム粒子多く含む

A区SK74

- 1 暗褐色土 : ロームブロック多く含む
- 2 褐色土 : ローム粒子やや多く含む やや締まり欠く
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック主体 粘性やや強

A区SK75

- 1 褐色土 : ロームブロック少量含む
- 2 褐色土 : ロームブロック多く含む

A区SK76

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む 締まりを欠く
- 2 褐色土 : ロームブロック多く、ローム粒子微量含む 締まりを欠く
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック多く、ローム粒子微量含む 締まりを欠く

A区SK77A

- 1 暗褐色土 : ロームブロック微量、ローム粒子少量、焼土粒子微量含む
- 2 褐色土 : ロームブロック・ローム粒子やや多く含む やや締まり欠く
- 3 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む 粘性強
- 4 暗褐色土 : ロームブロック多量、炭化物微量含む 粘性強

A区SK78

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む やや粘性欠き、締まり良し
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック多く含む やや粘性欠き、締まり良し
- 3 褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性欠き、締まり良し

A区SK82

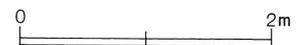
- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性欠く
- 2 暗褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性に富む

A区SK87

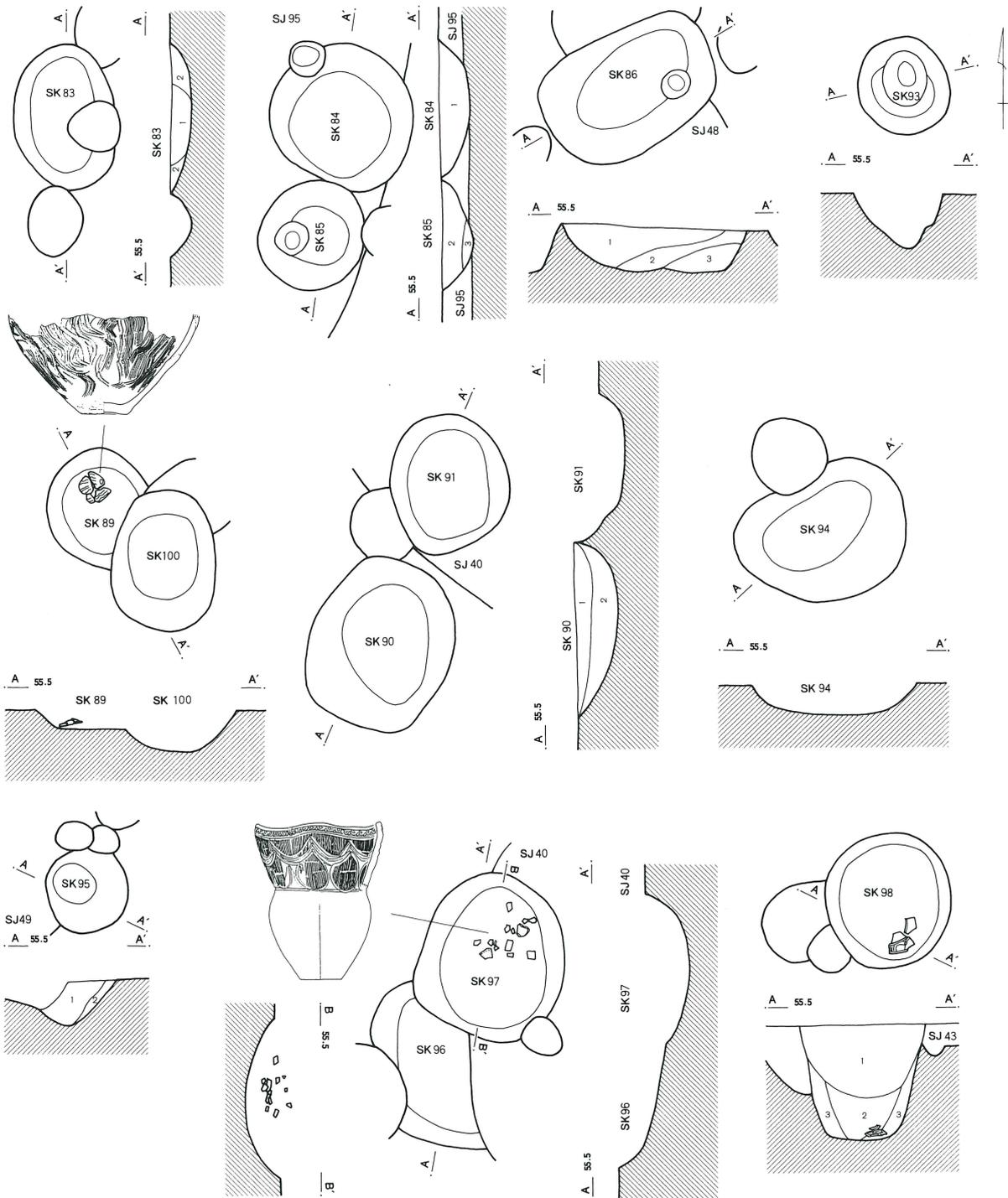
- 1 暗褐色土 : ロームブロック多。ローム粒子多。締まり強。
- 2 暗褐色土 : ローム粒子多。炭化物微量。締まり強。

A区SK99

- 1 黒褐色土 : ローム粒子やや多。炭化物少量。締まり強。
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロック主体に1層混入。締まり強。



第241図 A区土壌(8)



A区SK83

- 1 褐色土 : ロームブロックを多く含む 締まり良く、粘性やや欠く
- 2 暗黄褐色土 : ロームブロックを多く含む

A区SK84・85

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子微量含む 締まり良く、粘性やや有り
- 2 暗褐色土 : ローム粒子微量含む 締まり良く、粘性やや有り
- 3 褐色土 : ロームブロックやや多く含む 締まり良く、粘性やや強

A区SK86

- 1 褐色土 : ロームブロック・ローム粒子やや多く、焼土粒子微量含む 粘性やや強
- 2 褐色土 : 1層より明色 ローム粒子多く含む 粘性やや有り、締まりよし
- 3 褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性やや有り、締まりよし

A区SK90

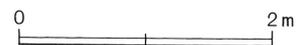
- 1 暗褐色土 : 2層より暗いロームブロックを微量に含む 締まりやや欠く
- 2 暗褐色土 : ローム粒子を少量含む 粘性やや強

A区SK95

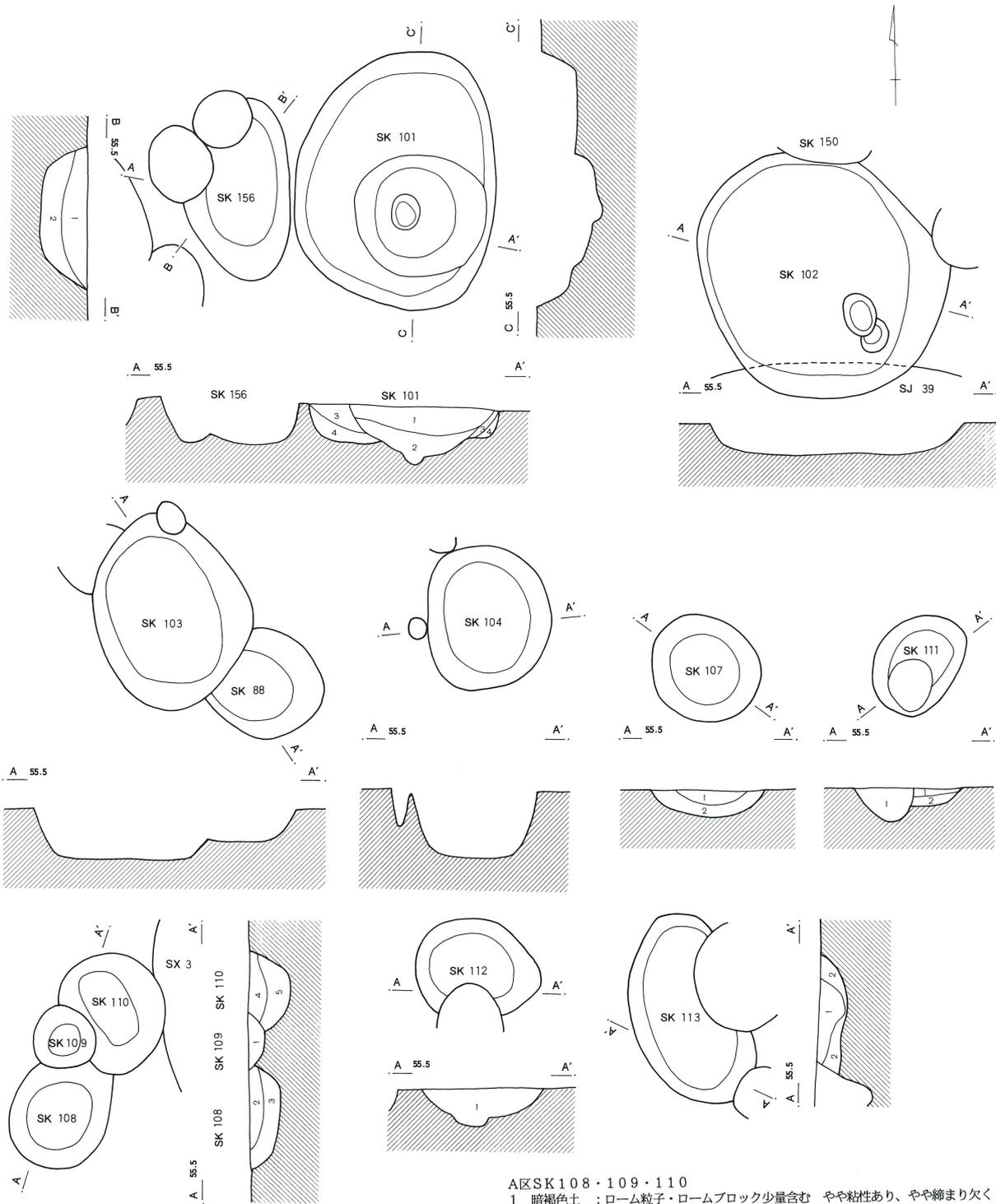
- 1 黒褐色土 : 微細ローム粒子少量 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子多く含む 1層と混土し斑状 締まり強。

A区SK98

- 1 黒褐色土 : 多量のローム粒子、少量の炭化物・焼土粒子含む 締まり強
- 2 暗黄褐色土 : 多量のローム粒子・ロームブロック、少量の炭化物含む 埋土 締まり強
- 3 暗褐色土 : 多量のローム粒子、少量の炭化物含む



第242図 A区土壌(9)



A区SK101

- 1 黒褐色土 : ローム粒子少量、焼土粒子・炭化物微量含む やや粘性あり、締まりよし
- 2 黒褐色土 : 1層より明度が落ちる ローム粒子少量、焼土粒子微量、炭化物やや多く含む やや粘性あり、堅く締まっている
- 3 褐色土 : ローム粒子少量含む やや粘性あり、堅く締まっている
- 4 褐色土 : ローム粒子多く含む やや粘性あり、堅く締まっている

A区SK156

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック若干含む 人為的埋め戻し

A区SK107

- 1 黒灰褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性強、締まりよし
- 2 暗黄褐色土 : ぐすんだローム土 粘性強、締まりよし

A区SK108・109・110

- 1 暗褐色土 : ローム粒子・ロームブロック少量含む やや粘性あり、やや締まり欠く
- 2 黒褐色土 : ローム粒子少量含む やや粘性あり、締まり欠く
- 3 明褐色土 : ローム粒子やや多く含む やや粘性あり、締まり欠く
- 4 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性あり、締まり欠く
- 5 褐色土 : ロームブロック多く含む やや粘性あり、締まり欠く

A区SK111

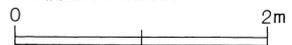
- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性あり、締まりよし
- 2 暗黄褐色土 : ぐすんだローム土主体 やや粘性あり、締まりよし

A区SK112

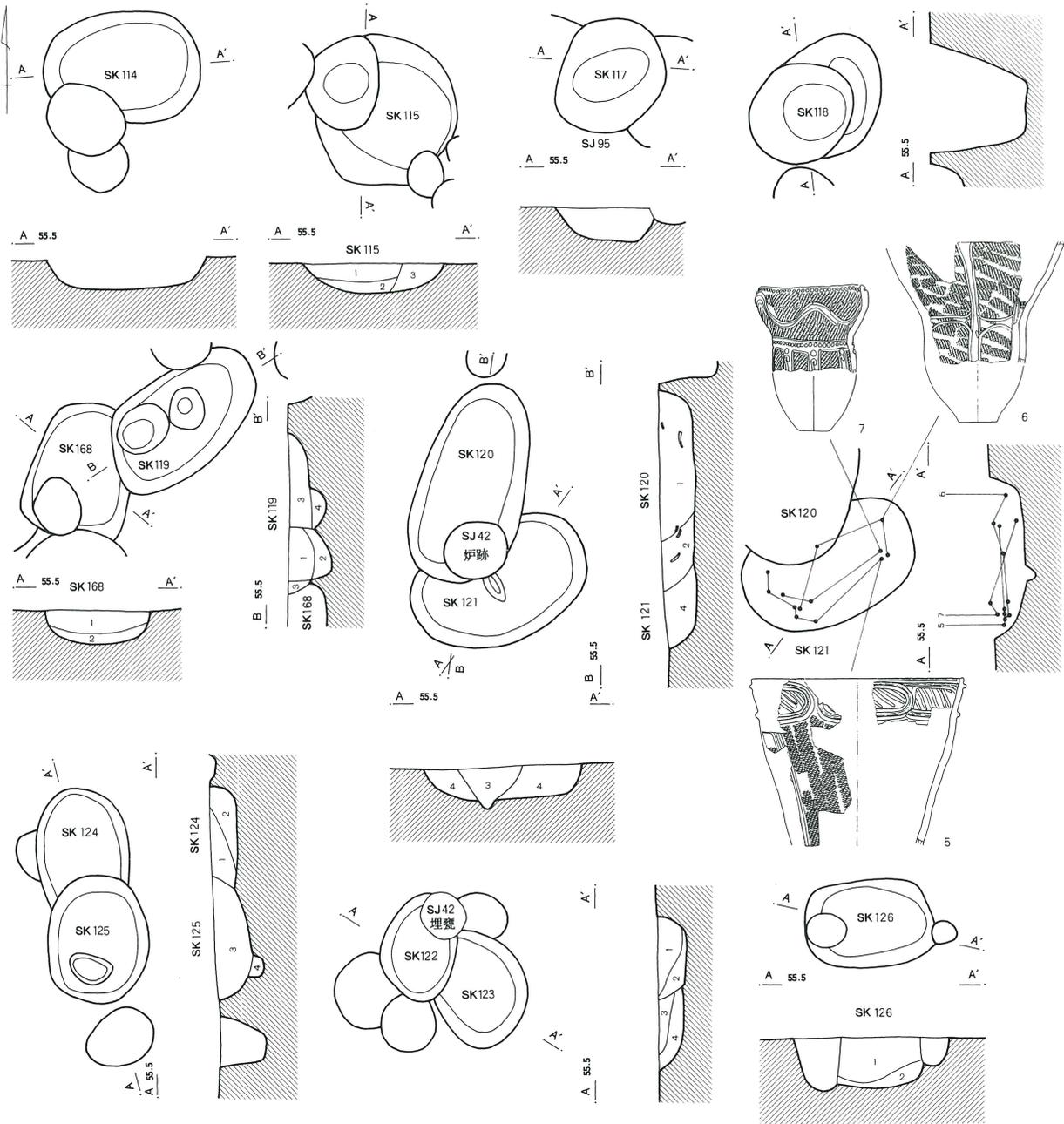
- 1 暗褐色土 : ローム粒子多く含む やや粘性あり、締まりよし

A区SK113

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや粘性あり、締まりよし
- 2 暗褐色土 : ローム粒子やや多く含む やや粘性あり、締まりよし



第243図 A区土壌 (10)



A区SK115

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量
- 2 暗褐色土 : ロームブロック多く、粘性強し
- 3 暗褐色土 : ロームブロック微量 締まり強い 堅く締まっている

A区SK119

- 1 黒褐色土 : ローム粒子多く、焼土粒子・炭化物少量含む 締まりよし
- 2 暗黄褐色土 : ローム主体に褐色土を含む 締まり強 崩落土
- 3 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む 締まり強
- 4 褐色土 : 褐色土とローム混土 埋土 締まり強

A区SK168

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、焼土粒子を少量含む 締まり良く、粘性高い
- 2 暗褐色土 : ロームブロックを多く含む 締まり良く、粘性高い

A区SK120・121

- 1 黒褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、焼土粒子やや多く含む
- 2 黒褐色土 : ローム粒子・ロームブロック・焼土粒子多く含む
- 3 黒褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、焼土粒子やや多く含む
- 4 暗褐色土 : ローム粒やや多く、ロームブロック多く、焼土ブロック少量含む

A区SK122・123

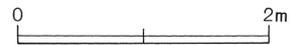
- 1 黒褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック少量、炭化物少量含む
- 2 暗黄褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック少量、炭化物微量含む
- 3 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、ロームブロック少量、炭化物微量含む
- 4 暗黄褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック微量、炭化物微量含む

A区SK124・125

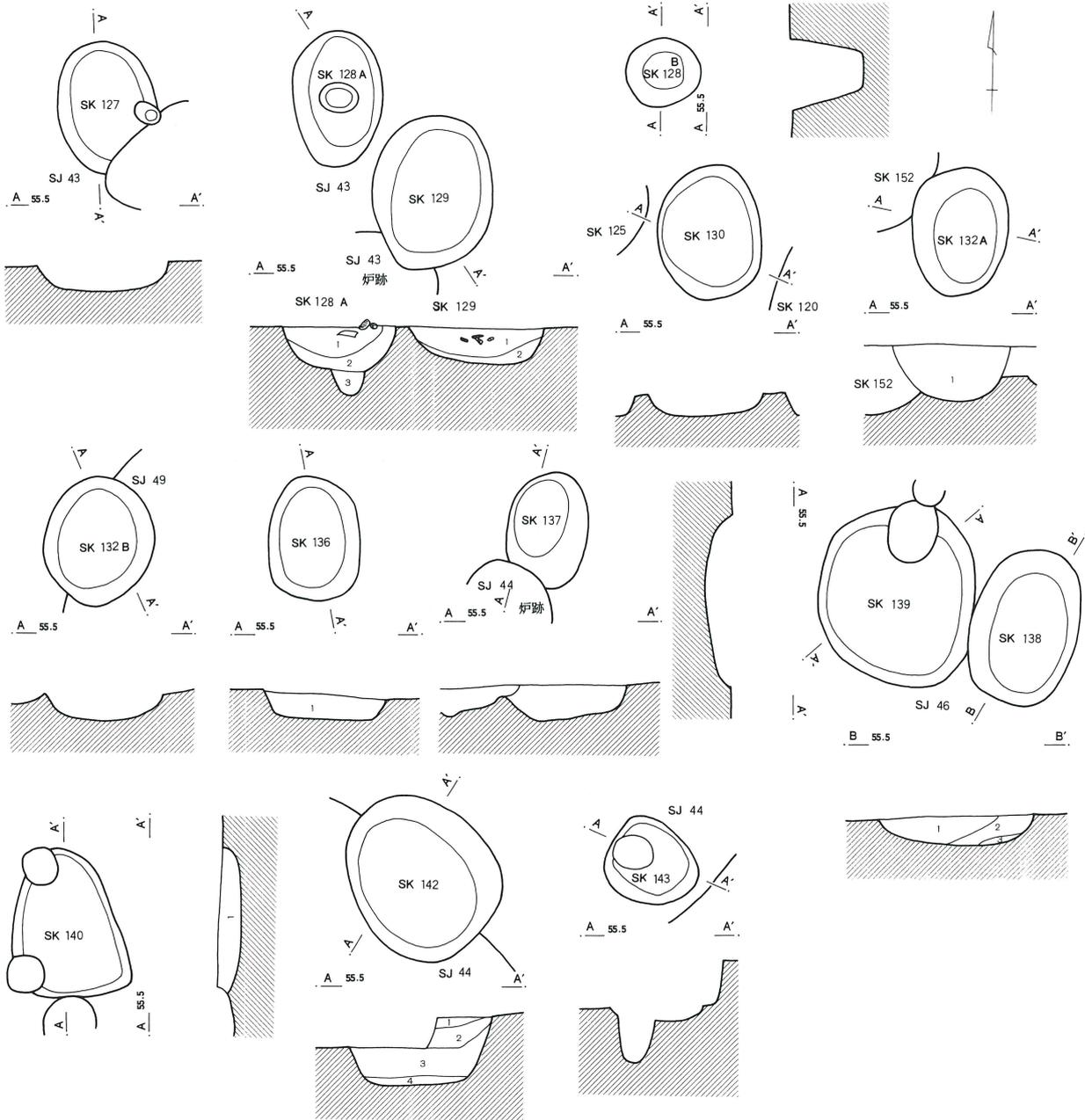
- 1 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、ロームブロック、炭化物少量含む
- 2 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、焼土粒子、炭化物微量含む
- 3 黒褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、焼土粒子少量含む
- 4 暗褐色土 : ローム粒子・ロームブロック多く、焼土粒子少量、含む

A区SK126

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、炭化物少量含む 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、炭化物少量含む 締まり強



第244図 A区土壌 (11)



A区SK128A

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック少量、炭化物少量含む 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック少量、炭化物微量含む 締まり強
- 3 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、ロームブロック少量、焼土粒子微量、炭化物少量含む 締まりやや強

A区SK129

- 1 暗褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック少量、焼土粒子、炭化物微量含む 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く、焼土粒子、炭化物微量含む 締まり強

A区SK132A

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量、ロームブロック少量含む 埋め戻し土 締まり良く、粘性やや有

A区SK136

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック少量、焼土ブロック微量含む 強く締まっている

A区SK138

- 1 黒褐色土 : ロームブロック多く、炭化物少量含む 強く締まっている
- 2 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、ロームブロック、炭化物微量含む
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性強、強く締まっている

A区SK140

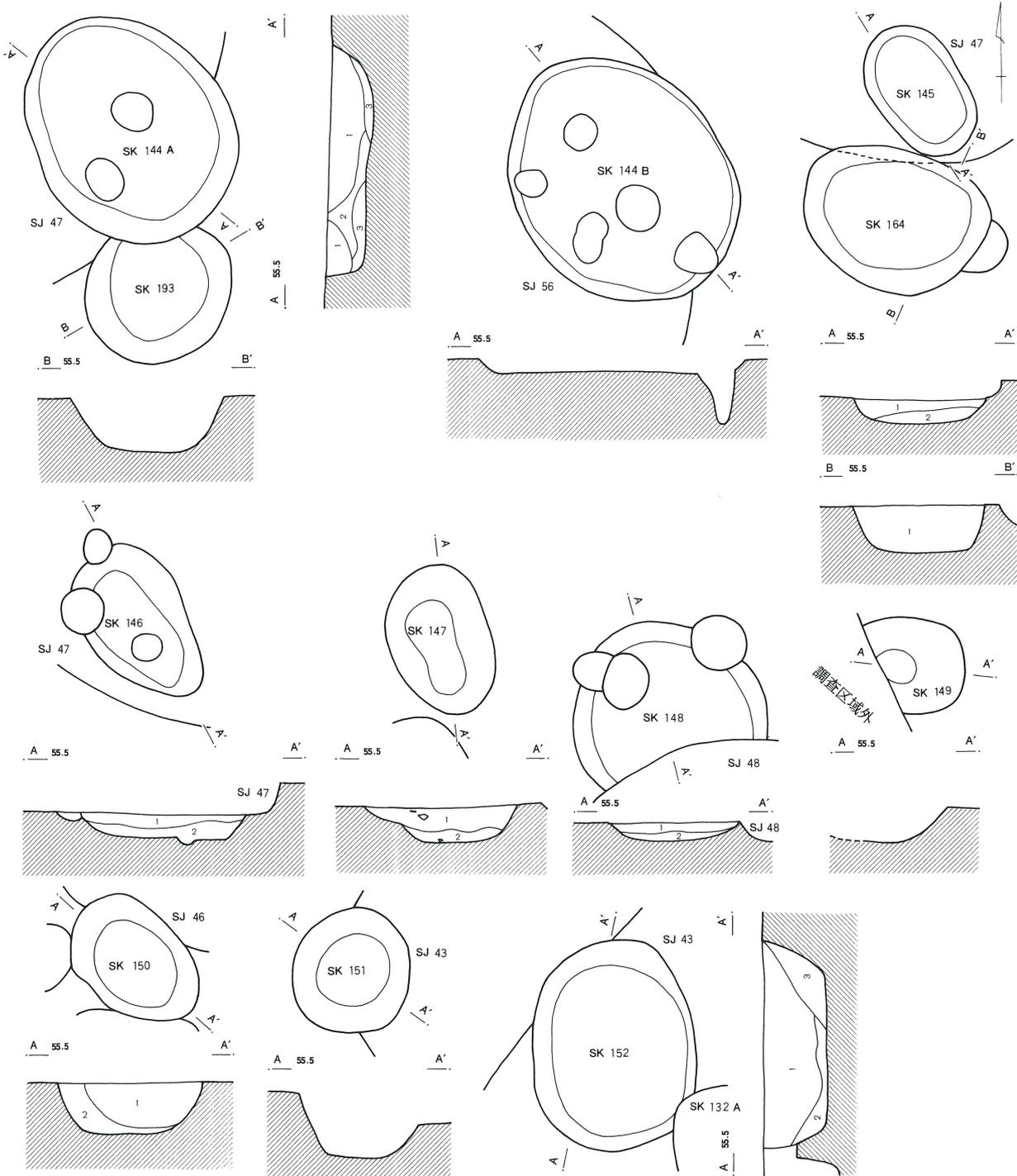
- 1 黒褐色土 : ローム粒子・ロームブロック・焼土粒子微量、炭化物少量含む 締まりやや欠き、粘性有り

A区SK142

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量に含む 締まり、粘性欠
- 2 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック少量含む 締まり良く、粘性やや有
- 3 黒褐色土 : ロームブロック多く、炭化物少量含む 強く締まっている
- 4 暗黄褐色土 : ロームブロックやや多く含む 粘性強、強く締まっている



第245図 A区土壌 (12)



A区SK144A

- 1 黒褐色土 : ロームブロックを含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック、ローム粒子を含む
- 3 暗褐色土 : ロームブロックを多く含む

A区SK145

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロックを少量含む
- 2 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロックを含む

A区SK164

- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロックを含む 締まり強 埋土

A区SK146

- 1 黒褐色土 : ロームブロックを含み、ローム粒子、焼土粒子を極少量含んでいる S J 4 7 構築時に上面を固めてある
- 2 黒褐色土 : ローム粒子を含む

A区SK147

- 1 黒褐色土 : ローム粒子多く含み、ロームブロックを含む 上面は住居構築時に硬化している
- 2 黒褐色土 : ローム粒子を少量含む

A区SK148

- 1 暗褐色土 : ロームブロック少量含む やや粘性あり、締まりよし
- 2 暗褐色土 : ロームブロック若干含む やや粘性あり、締まりよし

A区SK150

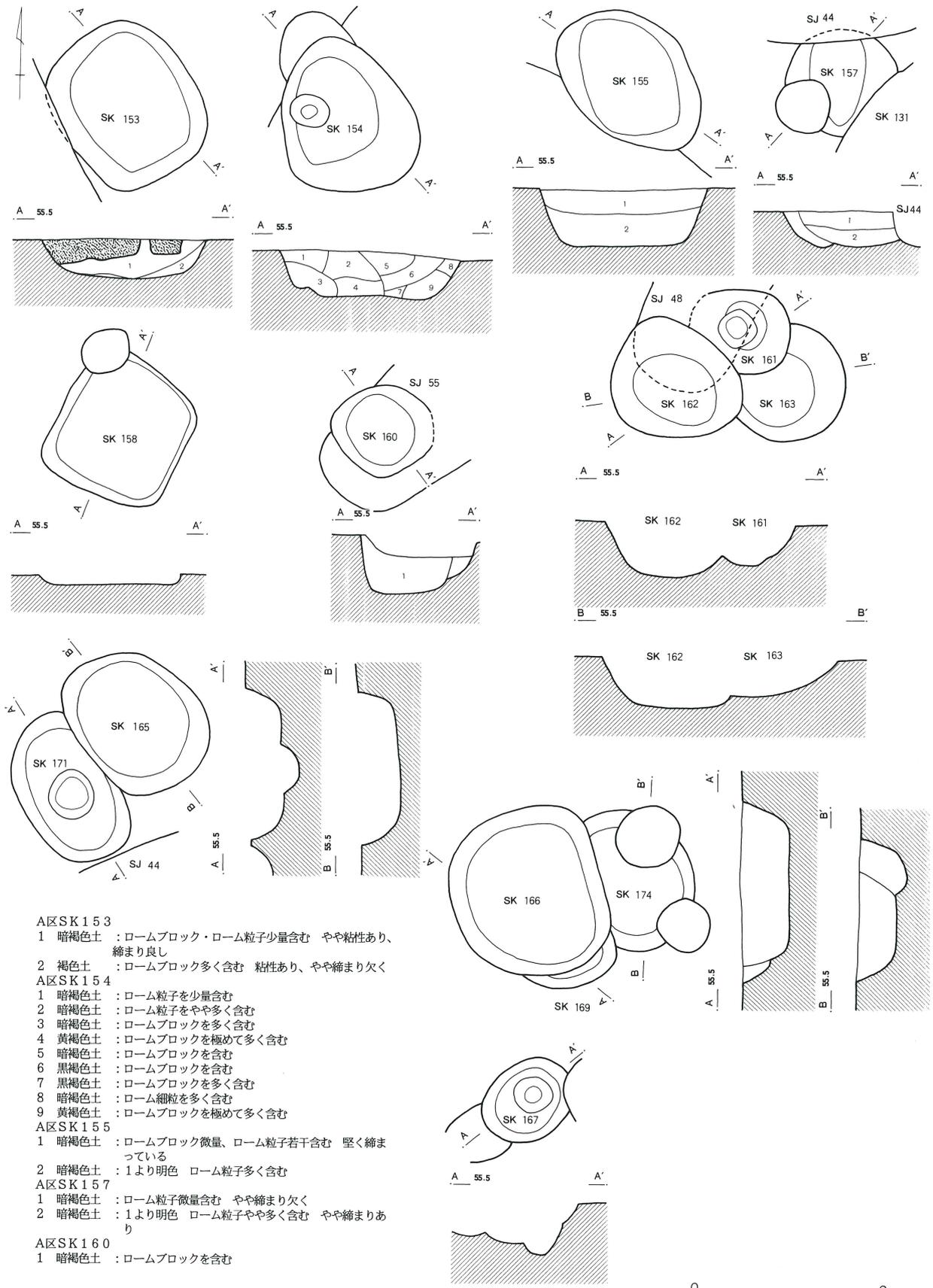
- 1 暗褐色土 : ロームブロック多く、ローム粒子やや多く含み、炭化物含む 締まり強
- 2 暗褐色土 : 1層に似るが包含物少ない 締まり強

A区SK152

- 1 暗褐色土 : ローム粒子を少量に含み、ロームブロック、炭化物を微量含む 締まり良く、粘性やや欠く
- 2 暗褐色土 : ロームブロックをやや多く、ローム粒子を微量含む 埋め戻し土 締まり良く、粘性やや欠く
- 3 褐色土 : ローム粒子、ロームブロック多く含む 締まり良く、粘性やや強



第246図 A区土壌 (13)



A区SK153

- 1 暗褐色土 : ロームブロック・ローム粒子少量含む やや粘性あり、縮まり良し
- 2 褐色土 : ロームブロック多く含む 粘性あり、やや縮まり欠く

A区SK154

- 1 暗褐色土 : ローム粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 : ローム粒子をやや多く含む
- 3 暗褐色土 : ロームブロックを多く含む
- 4 黄褐色土 : ロームブロックを極めて多く含む
- 5 暗褐色土 : ロームブロックを含む
- 6 黒褐色土 : ロームブロックを含む
- 7 黒褐色土 : ロームブロックを多く含む
- 8 暗褐色土 : ローム細粒を多く含む
- 9 黄褐色土 : ロームブロックを極めて多く含む

A区SK155

- 1 暗褐色土 : ロームブロック微量、ローム粒子若干含む 堅く締まっている
- 2 暗褐色土 : 1より明色 ローム粒子多く含む

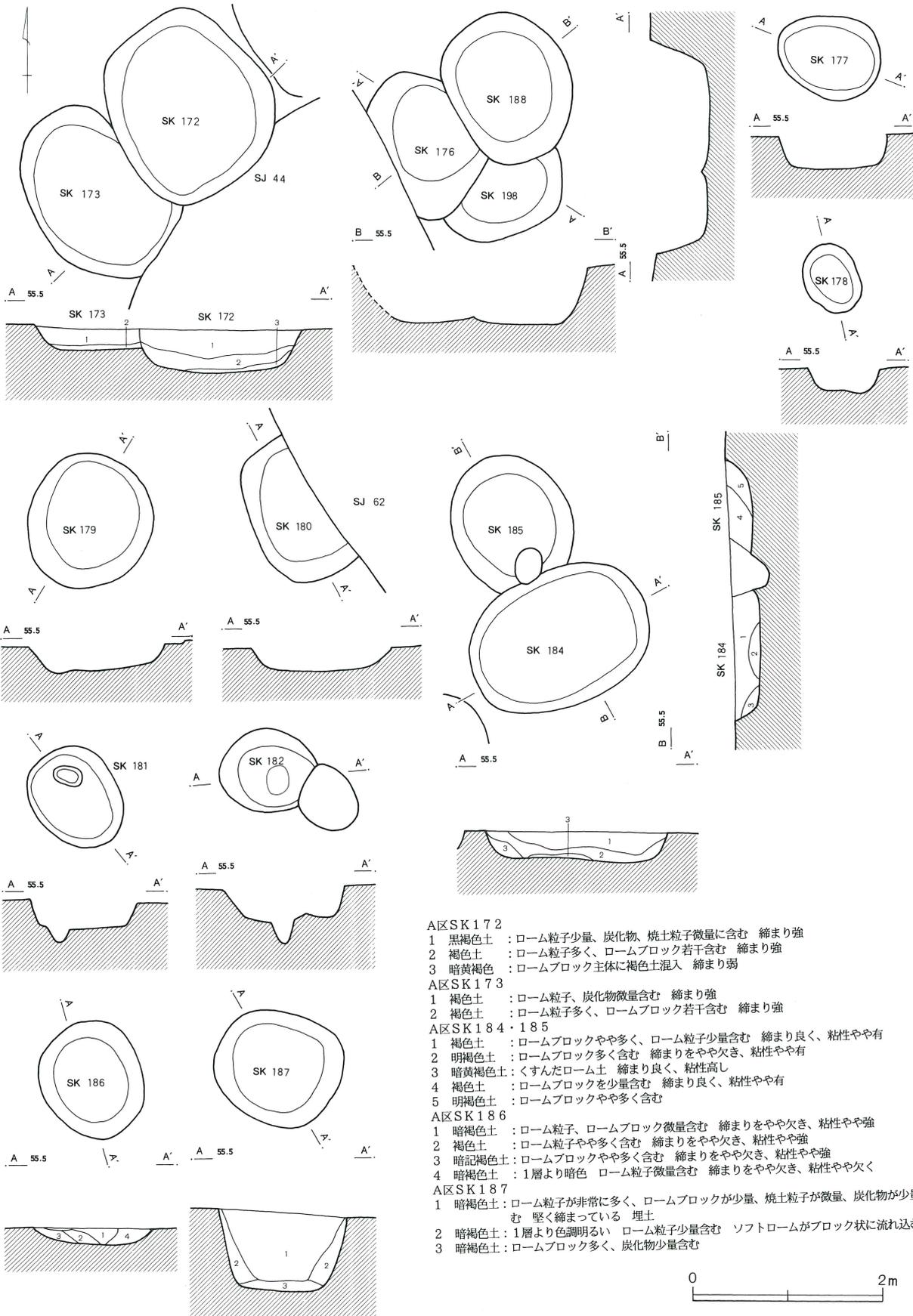
A区SK157

- 1 暗褐色土 : ローム粒子微量含む やや縮まり欠く
- 2 暗褐色土 : 1より明色 ローム粒子やや多く含む やや縮まりあり

A区SK160

- 1 暗褐色土 : ロームブロックを含む

第247図 A区土壌 (14)



A区SK172

- 1 黒褐色土 : ローム粒子少量、炭化物、焼土粒子微量に含む 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック若干含む 締まり強
- 3 暗黄褐色土 : ロームブロック主体に褐色土混入 締まり弱

A区SK173

- 1 褐色土 : ローム粒子、炭化物微量含む 締まり強
- 2 褐色土 : ローム粒子多く、ロームブロック若干含む 締まり強

A区SK184・185

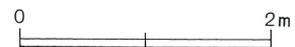
- 1 褐色土 : ロームブロックやや多く、ローム粒子少量含む 締まり良く、粘性やや有
- 2 明褐色土 : ロームブロック多く含む 締まりをやや欠き、粘性やや有
- 3 暗黄褐色土 : ぐすんだローム土 締まり良く、粘性高し
- 4 褐色土 : ロームブロックを少量含む 締まり良く、粘性やや有
- 5 明褐色土 : ロームブロックやや多く含む

A区SK186

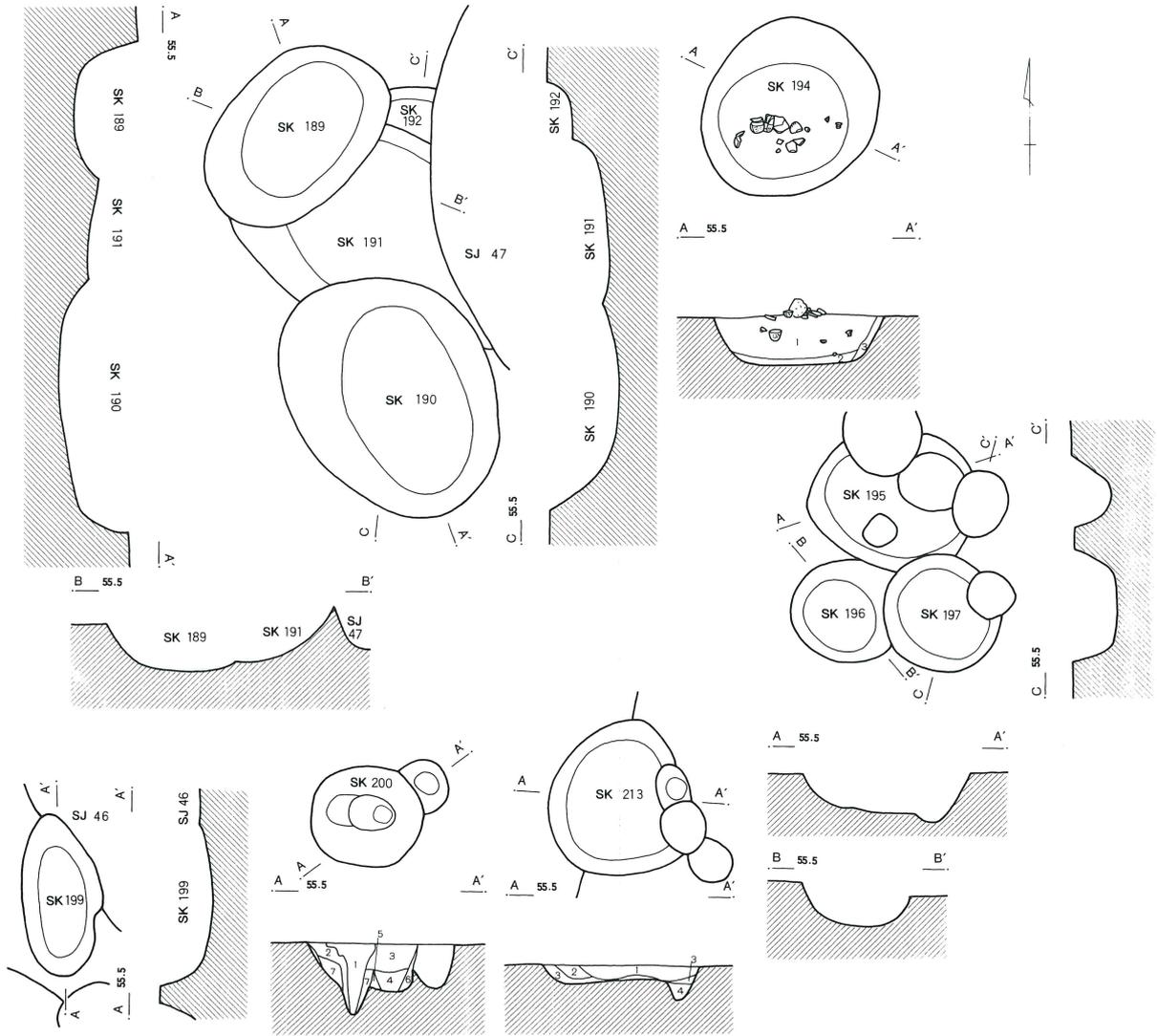
- 1 暗褐色土 : ローム粒子、ロームブロック微量含む 締まりをやや欠き、粘性やや強
- 2 褐色土 : ローム粒子やや多く含む 締まりをやや欠き、粘性やや強
- 3 暗記褐色土 : ロームブロックやや多く含む 締まりをやや欠き、粘性やや強
- 4 暗褐色土 : 1層より暗色 ローム粒子微量含む 締まりをやや欠き、粘性やや欠く

A区SK187

- 1 暗褐色土 : ローム粒子が非常に多く、ロームブロックが少量、焼土粒子が微量、炭化物が少量含む 強く締まっている 埋土
- 2 暗褐色土 : 1層より色調明るい ローム粒子少量含む ソフトロームがブロック状に流れ込む
- 3 暗褐色土 : ロームブロック多く、炭化物少量含む



第248図 A区土壌 (15)



A区SK 194

- 1 暗褐色土 : ローム粒子多量、焼土粒子微量、炭化物少量含む 粘性有り、堅く締まっている
- 2 暗褐色土 : ロームブロック多量に含む
- 3 暗黄褐色土 : ローム主体に褐色土含む 締まりよし

A区SK 200

- 1 黒褐色土 : ロームブロック微量含む
- 2 暗褐色土 : ロームブロック微量含む 締まり、粘性やや欠く
- 3 暗褐色土 : ローム粒子微量含む
- 4 暗褐色土 : ロームブロックやや多く、ローム粒子微量含む
- 5 暗褐色土 : ロームブロックやや多く含む 締まり欠く
- 6 黒褐色土 : ロームブロック少量含む
- 7 暗黄褐色土 : ロームブロック微量含む 締まり、粘性やや欠く

A区SK 213

- 1 黒褐色土 : ローム粒子少量、焼土粒子・炭化物微量含む 締まり強
- 2 暗褐色土 : ローム粒子やや多く、焼土粒子・炭化物微量に含む 締まり強
- 3 暗黄褐色土 : ローム粒子多く、焼土粒子・炭化物微量に含む 締まりやや強
- 4 暗黄褐色土 : ローム主体に褐色土含む 締まり強



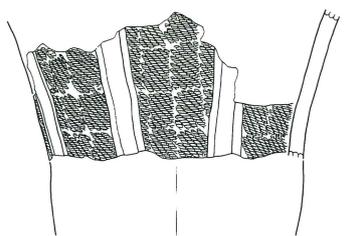
名 称	図版番号	所 在	長径 (m)	短径 (m)	深度 (m)	主軸方向	遺 物 図 版
SK1	第234図	I-12	1.40	1.01	0.19	N-85° -W	第255図
SK2	第234図	I-11	1.10	0.90	0.29	N-40° -E	第255図
SK3	第234図	I-11	0.90	0.70	0.15	N-23° -E	第255図
SK4	第234図	H-11,I-11	1.35	1.00	0.20	N-8° -W	第255図
SK5	第234図	H-12	1.62	1.10	0.20	N-9° -E	
SK6	第234図	H-12	0.95	1.00	0.20	N-42° -E	
SK7	第234図	H-12	1.10		0.25	N-33° -E	
SK8A	第234図	I-10	1.10		0.58	N-18° -W	第255図
SK8B	第234図	K-13	1.20	1.05	0.26	N-34° -W	第255図
SK9	第234図	I-10	1.15	0.78	0.22	N-4° -E	第255図
SK10	第234図	I-10,I-11	1.79	1.50	0.20	N-17° -E	第255図
SK11	第235図	H-10	1.05	0.89	0.17	N-68° -W	第249,256図
SK12	第235図	D-4	1.40	0.90	0.25	N-57° -E	第256図
SK13	第235図	D-4	1.49	1.35	0.45	N-67° -W	
SK14	第235図	H-10,H-11	1.52	1.10	0.20	N-39° -W	第256図
SK15	第235図	D-4	1.64	1.24	0.40	N-48° -W	
SK16	第235図	H-8	2.09	1.94	0.11	N-46° -E	第256,257図
SK17	第235図	G-8	2.10	1.49	0.22	N-15° -E	第257図
SK18	第235図	H-8	1.70	1.20	0.20	N-11° -W	第257図
SK19	第235図	H-7,H-8	2.23	2.20	0.25	N-45° -E	第258,259図
SK20	第235図	G-9	0.99	0.87	0.25	N-88° -W	
SK21	第236図	G-9	1.35	1.10	0.55	N-9° -W	第259図
SK22	第236図	F-8,G-8	1.20	1.15	0.34	N-83° -E	
SK23	第236図	F-8,F-9	2.10	1.75	0.17	N-85° -E	第259図
SK24	第236図	F-9,G-9	2.14	1.65	0.15	N-34° -E	第260図
SK26	第236図	G-7,G-8	0.95	0.80	0.20	N-27° -E	第260図
SK27	第236図	G-4	1.25	1.00	0.40	N-51° -E	
SK28	第236図	F-8	1.42	1.05	0.35	N-15° -E	第260図
SK29	第236図	H-8	1.20	0.80	0.15	N-81° -E	
SK30	第236図	H-8	0.95	0.85	0.15	N-66° -E	
SK31	第236図	E-5	(19.0)	1.05	0.15	N-79.5° -W	
SK32	第236図	F-9,G-9	2.10	1.70	0.15	N-37° -W	第260図
SK41	第236図	F-8	(1.40)	1.40	0.20	N-68° -E	
SK33	第237図	F-8	(2.00)	1.55	0.25	N-75° -E	第249,260図
SK34	第237図	F-8	(2.05)	(1.65)	0.25	N-10° -E	第260図
SK35	第237図	E-5	1.45	0.75	0.25	0°	第260図
SK36	第237図	F-10		1.05	0.35	N-30° -W	第260図
SK37	第237図	F-10	1.00	0.90	0.18	N-30° -W	
SK38	第237図	F-9	2.35	1.50	0.15	N-30° -W	
SK39	第237図	F-9	2.15	1.55	0.15	N-57° -E	第261図
SK40	第237図	E-9,F-9	1.95	(1.60)	0.20	N-60° -E	第261図
SK42	第237図	E-8,F-8	(2.20)	1.75	0.15	N-72° -E	第249,261図
SK43	第237図	F-8	1.75	1.55	0.20	N-53° -W	第261図
SK44	第237図	F-5	1.25		0.40	N-45° -E	
SK45	第238図	G-7	(1.20)	1.15	0.30	N-11° -E	第261図
SK46	第238図	F-9,F-10	1.55	1.40	0.30	N-11° -E	第249,261図
SK47A	第238図	F-5	1.10	0.95	0.25	N-53° -W	
SK47B	第238図	E-8	1.35	0.97	0.20	N-28° -W	
SK48	第238図	G-12	1.90		0.20	N-70° -W	第262図

名 称	図版番号	所 在	長径 (m)	短径 (m)	深度 (m)	主軸方向	遺 物 図 版
SK49	第238図	G-12	1.20	1.05	0.25	N-9° -W	第262図
SK50	第238図	G-12	0.90	0.90	0.30	N-30° -W	第262図
SK51	第238図	H-11,H-12	1.65	1.30	0.30	N-34° -W	第262図
SK53	第238図	F-9	0.90	0.55	0.20	N-52° -E	
SK54A	第238図	F-5	0.95	0.75	0.25	N-10° -E	
SK54B	第238図	F-9	1.00	0.75	0.30	N-25° -W	
SK55	第238図	F-9	0.45	0.72	0.15	N-66° -W	
SK56	第238図	G-7	1.20	1.10	0.25	N-12° -W	第262図
SK57	第238図	G-7	1.20	0.95	0.30	N-58° -W	第262図
SK58	第238図	G-7	1.35	0.70	0.35	N-28° -E	
SK59	第239図	G-7	(1.45)	1.00	0.35	0°	
SK60	第239図	G-7	1.20	0.80	0.30	0°	第262図
SK61	第239図	G-7	1.60	1.10	0.27	N-28° -E	
SK62	第239図	E-7,F-7	1.45	1.25	0.29	N-65° -W	第262図
SK63	第239図	F-7	1.30	1.00	0.33	N-23.5° -W	第262図
SK64	第239図	F-7	1.10	0.95	0.95	N-80° -E	第262図
SK65	第239図	E-7	(1.70)		0.35	N-86° -E	第262図
SK66	第239図	E-7	(1.15)		0.40	N-58° -E	第250,262図
SK67	第239図	E-7	2.15	1.80	0.45	N-65° -W	第262図
SK68	第239図	G-7	1.10	0.80	0.22	N-14.5° -E	第263図
SK69	第239図	E-7	0.75	0.80	0.20	N-29° -E	第263図
SK70	第239図	F-7	1.40	1.40	0.20	N-29.5° -W	
SK71	第239図	G-6	1.66	1.50	0.17	N-61° -E	
SK72	第239図	F-5	(1.00)	0.90	0.35	N-41° -W	
SK81	第240図	F-7	1.05	0.85	0.25	N-51.5° -W	
SK73	第240図	G-6	1.10	0.85	0.44	N-12.5° -W	
SK74	第240図	G-6,G-7	1.50	1.05	0.25	N-34° -W	
SK75	第240図	H-6	1.45	1.35	0.22	N-55° -W	
SK76	第240図	H-6	1.20	0.90	0.25	N-23° -E	
SK77A	第240図	F-6,G-6	1.80	1.50	0.50	N-11.5° -E	第263図
SK77B	第240図	I-10	1.10	0.88	0.34	N-48° -E	
SK78	第240図	H-9	1.32	1.18	0.25	N-3.5° -E	第263図
SK79	第240図	E-5	1.50	1.00	0.35	0°	第263,264図
SK80	第240図	E-5	1.35	1.20	0.35	N-38° -W	第264図
SK82	第240図	G-4	1.40	1.26	0.33	N-62° -E	
SK87	第240図	E-5	1.35	0.75	0.35	N-4° -W	
SK99	第240図	E-5	0.85	0.73	0.55	N-1° -E	
SK83	第241図	G-5	1.40	1.05	0.20	0°	
SK84	第241図	F-5	1.40	1.30	0.25	N-52° -W	第264図
SK85	第241図	F-5	1.05	0.95	0.32	N-25° -E	第264図
SK86	第241図	G-4	1.70	1.15	0.42	N-60° -E	第264図
SK89	第241図	E-7		1.05	0.20	N-29° -W	第250,264図
SK90	第241図	D-6,E-6	1.65	1.40	0.40	N-9.5° -W	第264図
SK91	第241図	E-6	1.30	1.13	0.40	N-13° -E	第264図
SK93	第241図	F-6	0.95	0.85	0.50	0°	
SK94	第241図	F-6	1.65	1.25	0.30	N-64° -E	
SK95	第241図	F-6	0.80	0.80	0.42	N-63° -W	第264,265図
SK96	第241図	D-6	1.70		0.30	N-26° -W	第265図
SK97	第241図	D-6,E-6	1.50	1.35	0.50	N-10° -E	第250,265図

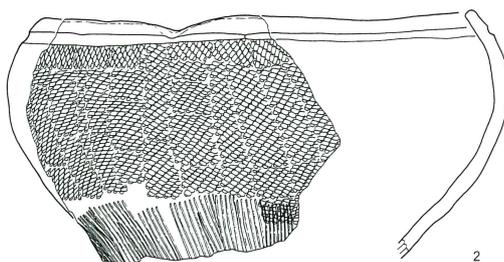
名 称	図版番号	所 在	長径 (m)	短径 (m)	深度 (m)	主軸方向	遺物 図 版
SK98	第241図	E-6	1.35	1.20	1.10	N-18° -E	第251,265,266図
SK100	第241図	E-7	1.35	0.94	0.40	N-4° -E	第251,266図
SK101	第242図	E-5	2.50	1.90	0.75	N-1° -E	第252,266図
SK102	第242図	E-6	2.50	2.15	0.30	N-26° -W	第252,266,267図
SK103	第242図	E-6,F-6	1.70	1.50	0.46	N-35° -W	
SK104	第242図	F-6	1.37	1.20	0.62	N-8° -W	第267図
SK107	第242図	K-13	1.06	1.00	0.25	N-53.5° -W	
SK108	第242図	L-13	(1.20)	0.95	0.30	N-28° -E	
SK109	第242図	L-13	0.60	0.60	0.15	N-9.5° -W	
SK110	第242図	L-13	1.15		0.42	N-25° -W	
SK111	第242図	K-13	1.00	0.80	0.33	N-52° -E	第267図
SK112	第242図	E-4	1.20		0.35	N-81° -W	第267図
SK113	第242図	E-4	1.90		0.30	N-19° -W	第267図
SK88	第242図	F-6	(1.30)	1.05	0.29		第264図
SK156	第242図	E-5	1.80	1.00	0.45	0°	
SK114	第243図	E-4	1.45	1.00	0.30	N-93° -W	第267図
SK115	第243図	E-5,F-5	(1.30)	1.30	0.30	N-52.5° -W	第267図
SK117	第243図	F-5	1.10	0.95	0.30	N-50° -E	
SK118	第243図	F-5	1.00	0.95	0.90	N-6° -W	第267図
SK119	第243図	E-5	1.50	0.90	0.40	N-57° -E	
SK120	第243図	E-6	1.85	0.93	0.30	N-15° -E	第268図
SK121	第243図	E-6	1.65		0.30	N-69.5° -E	第252,268図
SK122	第243図	E-6	1.05	0.65	0.40	N-15° -E	第268図
SK123	第243図	E-6	(1.10)	0.85	0.45	N-22° -W	
SK124	第243図	E-6		0.85	0.35	N-13.5° -W	第268,269図
SK125	第243図	E-6	1.15	0.95	0.42	N-9.5° -E	第269図
SK126	第243図	E-6	1.16	0.82	0.48	N-90° -E	
SK168	第243図	E-5	(1.25)	0.95	0.32	N-17° -E	第273図
SK127	第244図	E-6	1.17	0.95	0.25	N-4° -W	第269図
SK128A	第244図	E-6	1.25	0.85	0.64	N-3° -E	第253,269図
SK128B	第244図	E-5	0.65	0.65	0.65	N-1° -E	第269図
SK129	第244図	E-6	1.45	1.15	0.30	N-23° -E	第253,269図
SK130	第244図	E-6	1.23	0.95	0.20	N-9° -E	第269,270図
SK132A	第244図	E-6	1.15	0.80	0.50	0°	第270図
SK132B	第244図	F-6	1.20	1.00	0.25	N-4° -E	第270図
SK136	第244図	D-5	1.15	0.85	0.22	N-11° -W	
SK137	第244図	D-5	1.05	0.70	0.32	N-2° -E	第270図
SK138	第244図	D-5	1.40	0.95	0.25	N-6° -E	第270図
SK139	第244図	D-5	1.70	1.40	0.22	N-19° -E	第270図
SK140	第244図	D-5,D-6	1.35	1.00	0.20	0°	第270,271図
SK142	第244図	D-5,E-5	1.45	1.35	0.60	N-54.5° -W	第271図
SK143	第244図	D-6	0.80	0.75	0.40	N-65.5° -W	
SK193	第245図	E-5	1.47		0.50	N-60° -E	
SK144A	第245図	E-4,E-5	2.20	1.90	0.42	N-52° -W	第253,271図
SK144B	第245図	E-3	2.50	2.00	0.15	N-40° -W	第253,271図
SK145	第245図	D-5,E-5	1.35	0.85	0.35	N-32° -W	第253図
SK146	第245図	D-5	(1.65)	1.00	0.50	N-27.5° -W	第271図
SK147	第245図	D-4,E-4	1.45	1.00	0.35	N-5° -W	第271図
SK148	第245図	F-4,G-4	1.85	1.25	0.18	N-15° -W	第271図

名 称	図版番号	所 在	長径 (m)	短径 (m)	深度 (m)	主軸方向	遺 物 図 版
SK149	第245図	E-8	0.90	0.80	0.20	N-83.5° -W	
SK150	第245図	E-6	1.45	1.00	0.50	N-48° -W	
SK151	第245図	D-6	1.20	1.15	0.50	N-12° -E	第271図
SK152	第245図	D-6,E-6	2.05	1.10	0.60	N-11° -E	第271,272図
SK164	第245図	D-5,E-5	1.82	1.35	0.47	N-76° -W	
SK153	第246図	C-4,D-4	1.70	(1.45)	0.40	N-42° -W	第253,272図
SK154	第246図	E-3	1.65	1.40	0.50	N-12° -W	第272図
SK155	第246図	E-5	1.75	1.25	0.60	N-54° -W	第272図
SK157	第246図	D-6	(1.25)	1.15	0.35	N-2° -E	第272図
SK158	第246図	G-9	1.50	1.35	0.10	N-22° -E	第272図
SK160	第246図	E-3	0.95	0.95	0.65	N-37° -W	
SK161	第246図	G-4	(1.05)	0.90	0.41	N-87° -W	
SK162	第246図	F-4,G-4	1.40	1.20	0.55	N-64° -W	
SK163	第246図	G-4	1.30		0.40	N-19° -E	第272,273図
SK165	第246図	D-5	1.60	1.25	0.42	N-38° -W	
SK166	第246図	D-5	1.80	1.60	0.53	N-21° -W	第273図
SK167	第246図	E-5	1.00	0.80	0.47	N-53° -E	第273図
SK169	第246図	D-5					
SK171	第247図	D-5	1.60	0.95	0.55	N-31.5° -W	
SK174	第247図	D-5	1.50		0.40	N-17° -W	第274図
SK172	第247図	D-5	2.10	1.75	0.45		
SK173	第247図	D-5	1.95		0.25	N-27° -W	第274図
SK176	第247図	E-7	(1.40)		0.55	N-19° -E	
SK177	第247図	B-2	1.05	0.90	0.35	N-67.5° -W	第274図
SK178	第247図	B-2	0.75	0.60	0.25	N-12° -W	第274図
SK179	第247図	C-2	1.40	1.30	0.30	N-32° -E	第274図
SK180	第247図	B-3	1.55	0.75	0.25	N-28.5° -W	第254,274図
SK181	第247図	C-2	1.10	0.90	0.30	N-36° -W	第274図
SK182	第247図	C-3		0.85	0.35	N-94° -W	第274図
SK184	第247図	I-12,I-13	1.95	1.40	0.30	N-64° -E	第274図
SK185	第247図	I-12	(1.55)	1.25	0.25	N-27° -W	第274図
SK186	第247図	I-13	1.25	1.10	0.17	N-21° -W	
SK187	第247図	H-12	1.35	1.20	0.80	N-64° -W	第254,274図
SK188	第247図	E-7	1.05	1.30	0.60	N-17° -W	第274図
SK198	第247図	E-7	0.90		0.55	N-58° -E	第274図
SK189	第248図	D-4	1.70	1.20	0.47	N-40° -E	
SK190	第248図	D-5	2.10	1.70	0.60	N-40.5° -W	
SK191	第248図	D-4,D-5	(2.60)	1.60	0.35	N-48° -W	
SK192	第248図	D-4					
SK194	第248図	D-3	1.55	1.37	0.42	N-29° -E	
SK195	第248図	D-4	1.35	1.25	0.35	N-23° -E	
SK196	第248図	D-4	(0.96)	0.90	0.50	N-5° -E	
SK197	第248図	D-4	1.00	0.95	0.35	N-39° -E	
SK199	第248図	E-6	1.30	0.70	0.30	N-92.5° -W	
SK200	第248図	G-9	0.95	0.80	0.60	N-87° -W	
SK213	第248図	E-5	1.30		0.30	N-4.5° -E	第274図

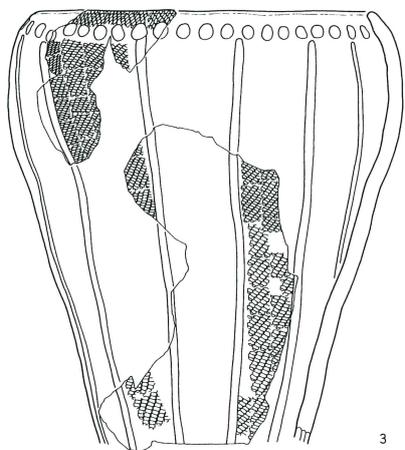
第249图 A区土坑出土土器(1)



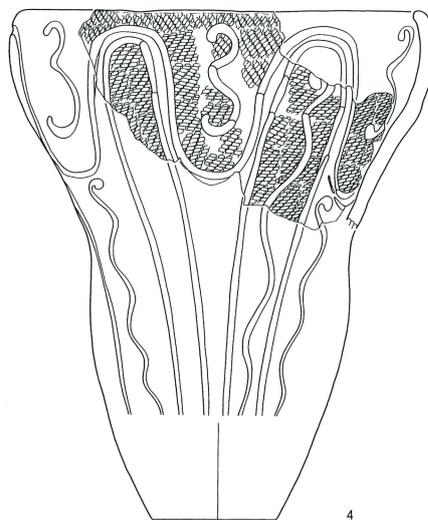
1



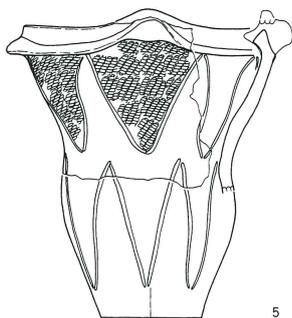
2



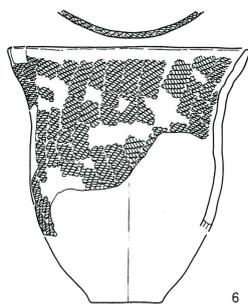
3



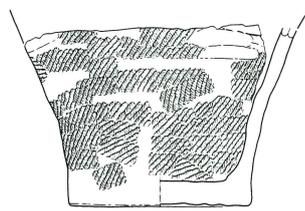
4



5



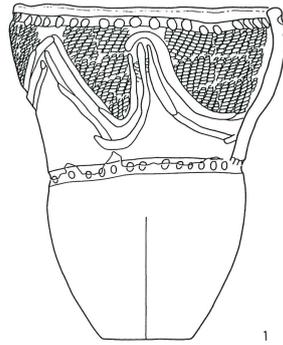
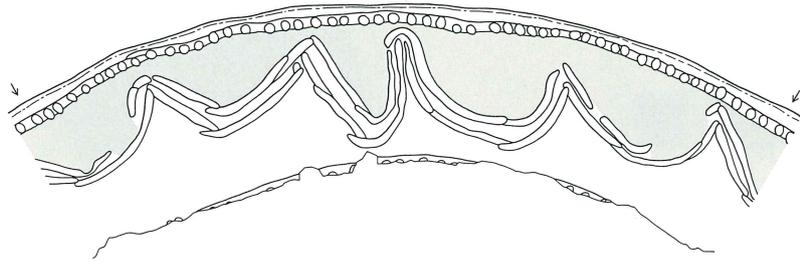
6



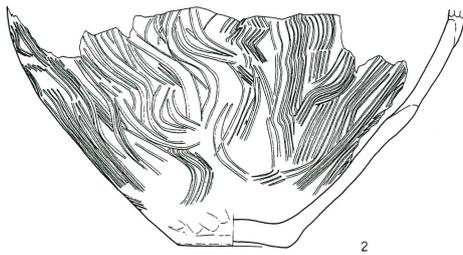
7

0 10cm

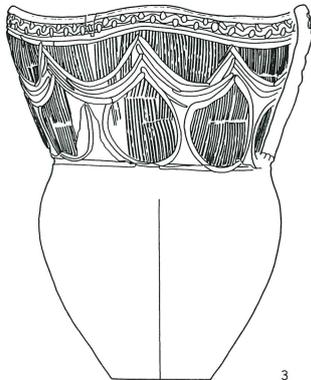
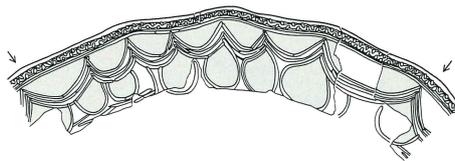
第250图 A区土壟出土土器(2)



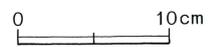
1



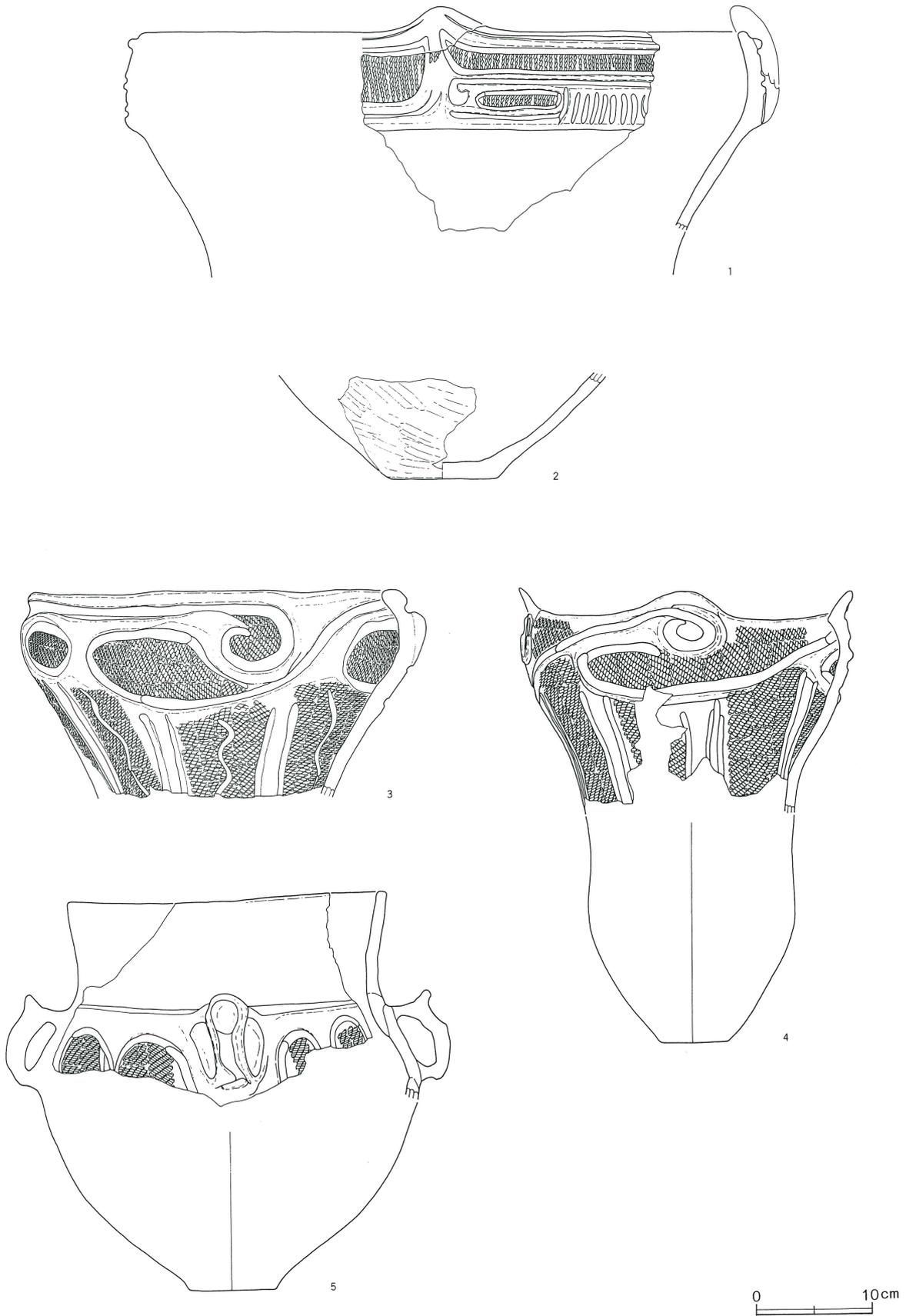
2



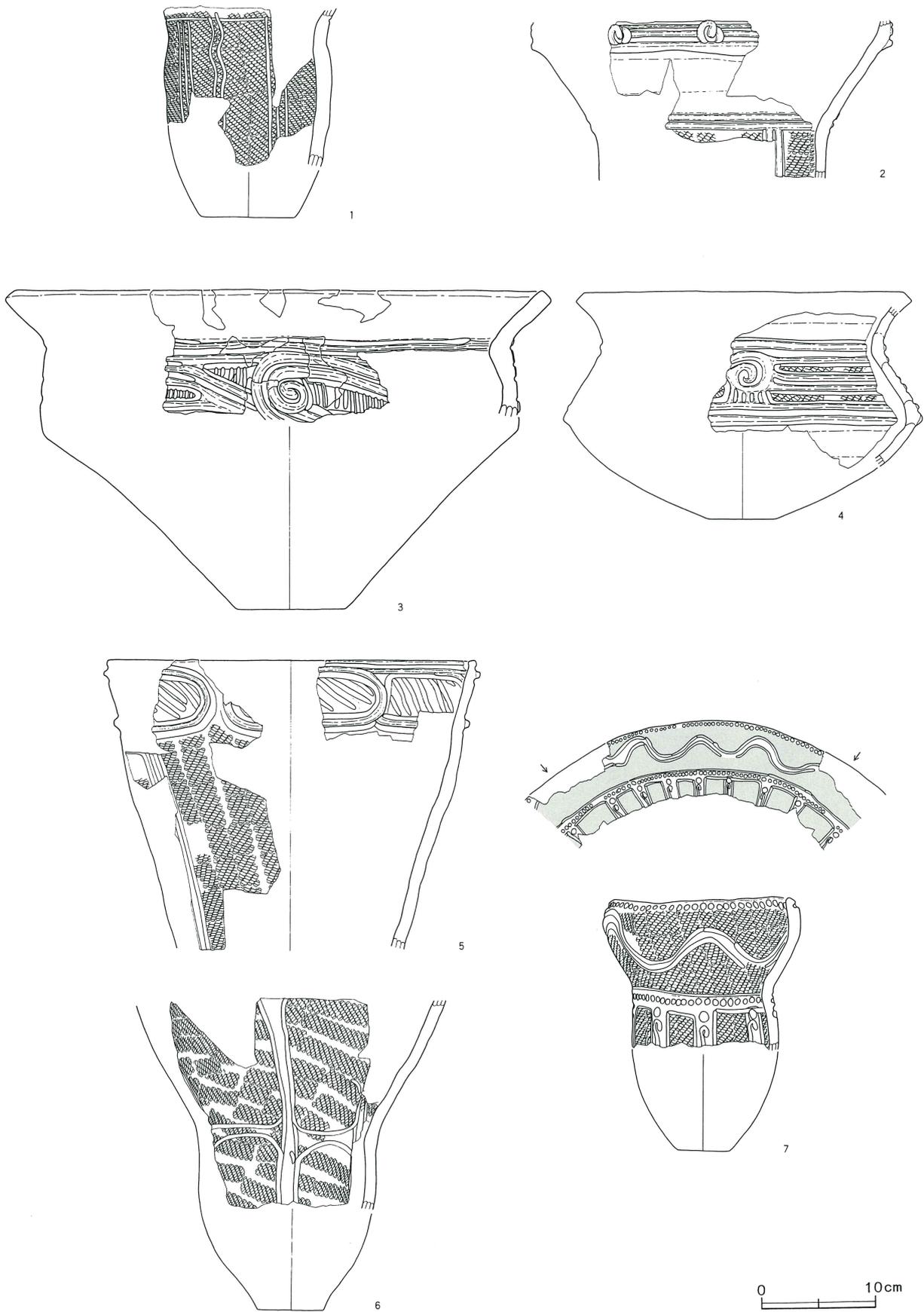
3



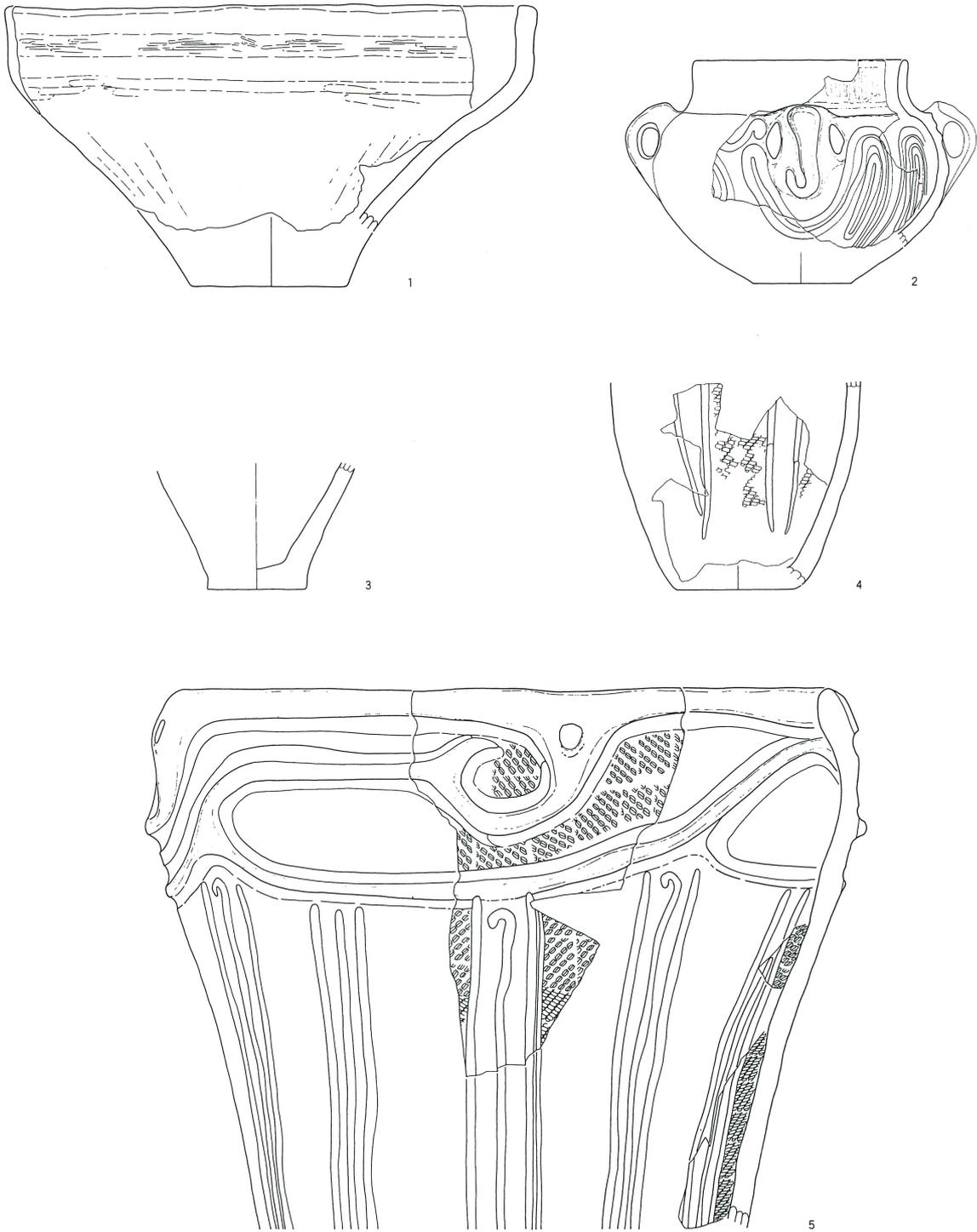
第251图 A区土坑出土土器(3)



第252图 A区土坑出土土器(4)



第253图 A区土壤出土土器(5)



0 10cm